

総務部

- (一) 左ノ諸件ニ関シ「メモランダム」ニ接受セリ
- (二) 全國金融統制會ニ関シ報告提出ノ件
- (三) 朝鮮人及中国人送還ニ際シ鉄道輸送中MP同乗ノ件
- (四) 日本俱樂部存続ノ件(許可)
- (五) 海軍大學ヲ華族會館及三條公邸即邸ノ使用ニ關スル件(許可)
- (六) 聯合軍區藥品分配ノ件
- (七) 中央氣象台其他ニ關スル件
- (八) 「セント」無線電信局ニ關スル件
- (九) 野村生命「ビル」明渡ノ件
- (十) 新通貨発行要許可ノ件
- (十一) 慈善團體ニ關スル報告提出ノ件
- (十二) 補助金問題ニ關スル報告提出ノ件

0001

- (三) 大島大使一行一七〇〇名七日早朝浦賀入港予定、出迎自由ナリ、右一行中一五〇〇名、米忠誠ヲ誓ヒザリシニセナリ
 - (四) 恩給停止ノ件ニ関シ、当方第一部長官ヨリGHQニ訊ネタルニ「一時金ノ拵出シ之ヲ停止シ既ニ発行セシル定期預金ニ返還セシムトコトナリ」
 - (五) 大蔵省ヨリ、右ニ関シ本日も当方ニテ打合セアル答ナリ
- 第一部
- 「民需轉換」関係書類ハ内務省調査部ヲ通シ特殊物権処理委員會ニ出サル様
- 海軍大學ヲ建物使用許可ノ旨ヨリ「メモ」披露ニテ承知セルカ右使用者、既ニ決定シ居ルヤ
- (厚生省ヨリ、当方ニテ)
- 第二復員省
- (一) 支那派遣軍復員受入機關今般福岡市二日市町宝製作所内ニ移轉セリ
 - (二) 商工省ハ、先般才願ヒ置キタル父島向「アンモニア」(在同島米軍倉蔵庫用)

0002

終戦連絡中央事務局

輸送ノ件、C.L.Oヲ通シ至急G.H.Qノ許可證明書取付ケラルル様御手配アリ度

裁判會社側用意済、父島行ノ船五日ニ出港スル由ナリ、右ニ間ニ合フ様致度シ

(三)C.L.Oハ、既ニ收容セラレタル戦争犯罪人ノ名簿ニ併シ收容所情况ノ如キモノ宛
行願ハマシキヤ (家族ノ多)

第二復員者

(一)米軍ニ依ル通信検査ノ件、其後先方ニ付宜シタルニ海軍通信検査ヲ通シ行
ハルモノニ対シテハ、検査セズトノコトナリ

(二)在内地台湾人ノ送還ノ件ニ関シ「マンソン」ト連絡セル処「マ」西三日中ニ正式
「リポート」ヲ以テ右送還許可スヘント言ヘリ、就テ「~~表~~」^表「台人動搖」ヲ考慮
シテ右正式「リポート」以後ニ致度シ

農林省

尚右送り出シ地ニ付目下G.H.Qニテ考究中、由ナルカ内話ニ依リ、鹿児島ノ外ニ浦
有力ナリ、当方トシテ現ニ高座工廠ヲ控エ居ル次第モアリ、鹿児島ノ外ニ浦
賀ヲ強ク希望ス、浦賀實現スル様至急C.L.Oヨリ御交渉願フ(五部事項)

終戦連絡中央事務局

本各者委員會開催時刻午後四時頃ニ変更願ハサルヤ(一同反対)

商工省

(一)進駐軍將兵ニテ所在ノアルヨル工場ニ來リ飲料用トシテ「アルヨル」ヲ要求セル
事例ニ、ニアリ(静岡、茨城、千葉)本件書類ニ纏々持参セリ(四部ハ)

(二)高島港入港禁止ノ件、去ルニ十三日第六軍命令ヲ以テ米軍船舶入港
ノ理由ニ依リ二十四日以降本邦船舶ノ高島港(九州)入港材止セラレタル也、該地
ニ、貯炭四噸アリ(ヨークスニナル燃炭ナリ)之カ封鎖、痛キ付右六軍命
令ニ

(三)第一復員者ハ、燃料本部ノ藏書五千冊アル由ナル也、当方大阪工業試験
所ニテ右買取ヲ希望シ居レリ、斡旋方ヲ願ヒス(第一復員者、取次クヘシ)

内務省

佐世保地区ニ於ケル食糧品腐敗ノ件(モツツナ佐ノ件)、失般總務部ヨリテ話シ
アリタルニ依リ早速取調タルカ何分モ直接ニ食糧營團カ扱ヒ居ルコトニ
モアリ未タ詳細判明セス

0003

0004

終戦連絡中央事務局

農林省ヨリ、事情当方ニテモ調査致スヘシ

總務部ヨリ、内務省移管セシ米軍需物資ニテ露露シ儘所在ニ累積シ居ル事
例多クアリ、米側手前モアハ内務省ノ強カ分カ方望マシ

司法省

府中ニ於ケル暴行台湾人ノ件(十七名逮捕、護送中五名逃亡、MPT協力追捕中)
本日全部ヲ起訴セリ、台人代表本日東京地方検事心ノ許ニ陳情、目下會見中
海運總局

米軍船舶ハ日本船員乗船ノ件、過般第六軍ヨリ京都事務局ヲ通シ在
神ノ当テ檢閲ニ対シ、米軍F.S型十隻、L.S.T二十四隻又及「タンカ」四隻
ニ付、日本船員計七百名ノ配乗手配方指令アリ、名古屋ニ在ル七隻又ノ米船
中去ル二十四日第一船ニ乗込ミテ見タリ、右ノ勞務提供ノ一種ト容シセラルル
也(引揚輸送ノ否ヤ不明)給與問題等目下研究中、海軍側トモ
連絡致スヘシ

(總務部ヨリ、米本國筋ニ帰還輸送ニ米兵使用反対ノ空ニ取アリ)

0005

逓信院

(一)海軍檢閲ニ依ル通信ニ檢閲ナキ旨先程オ訪シアリタル如ク陸軍檢閲ニ依ルモノ
ニ対シテモ同断ト存スルモ各々調ベ見ルヘシ
(二)南方軍電報トシテ、失般陸軍ヨリ披露アリタル私信通信材禁止ノ件、右
解除ニ関スル対GHQ交渉ハ、C.L.O.ニオ頼ヒスルオヨロシカラン、当方側面
ヨリ協カスヘシ

終戦連絡中央事務局

0006

(了)

終戦連絡中央事務局

十二月一日

官職	氏名	官職	氏名
内閣	岡井俊	運輸省	河上一郎
文部相	千代延三男	船政所	井上英夫
逓信相	河地良英	内務省	山本正三郎
少子局長	宇野浩	逓信局	力石健治郎
厚生省	池田善澄	復興院	八田昌明
農務省	日守水一郎	逓信院	真家直三郎
商工省	本日早苗		
大蔵	野中一		
内閣	野中英二		
司法	宮川藤吉		
情報	西田實		
運輸省	伊崎吉人		

0007

終戦連絡中央事務局

昭和二十五年五月二日

各省連絡委員会
出席者 日向連絡員 外務省経済局 片一渡員自
片一渡員自 片一渡員自 情報局
運輸省 渡野隆
二日向連絡員 片一渡員自 片一渡員自
一、片一渡員自 米軍本部没収二書二件
二、片一渡員自 九州港務局 片一渡員自 片一渡員自
三、片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自
四、片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自
五、片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自
六、片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自
七、片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自
八、片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自
九、片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自
十、片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自 片一渡員自

0008

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0124

終戦連絡中央事務局

(四)大島大使一行明日浦賀入港ス(昨夜「マンソン」ヨリ)
 (五)朝地課長ヨリ。二十八日午後五時半当方總裁「マーシャル」ト會見。食料問題及
 社會不安ニ関スル「モ」ヲ「ミ」手文ニ南群ヨリノ食料輸入。北群ニ於ケル居留氏情況
 等ニ関シ懇談セリ。尙承知ト通。今モ外アリタル如ク戦争犯罪人「リス」ト弁
 表アリタリ。本月十二日夜十二時迄ニ出頭。右不能ノ場合ニ事前ニ通知スルコト必要ナリ
 第一復員省
 (一)支那派遣軍ヨリ電報ニ依リ。今般聯合軍側ヨリ日本軍將兵及一般居留氏ノ郵便
 物差出ニ関シ指令アリ。現地ヨリ差出(「野停郵券」ヲ捺ス)許可アリタル由ナリ
 内地ヨリ現地宛差出モ当然ヨロシキモノト存ス
 (二)商工省ハ。過般重ネテオ領ニ置ノ父島向「アンモニア」ノ件。統判會社ヨリモ督促
 アリ至急許可證取付ケラレ度
 (三)商工省ヨリ。本件「アメリカン・クラブ」ノ「キングス・フォード」大尉ニ連絡済ニテ既ニ手配アリ等
 第二復員省
 (一)青島ヨリ大和田主計大佐「LST」ニ帰還セリ。報告要旨左ノ通

0011

終戦連絡中央事務局

十月十九日「LST」三隻第一回分トシテ出港セル。先方取扱寛大ニテ相当量ノ物品携行
 許可セラレタリ「LST」(五十噸内外)ニ特ニ復ル所ナキ爲荷物トシニ寢タリ。船内炊飯
 不能ニ付乾パント罐詰ノミ。便所ニ自由ナリ(女子ヲ兼セサルハ此ノタメナリヤ)米兵奉賞
 各様。時計ヲトラシタル。例モアリ。青島方面ハ路軍中ニ日本將兵相当數居リ
 (司令部ニモ居レリ)優遇セラレテ模様。重慶軍中ニハ居ラズ。留氏中商賣
 関係者ニテ現地ニ殘留希望ノモノ相半アリ
 (二)第一節ノ工場價格評價ノ件ニ関シ。右ノ賠償ノタメノナリヤ否ヤ先方眞
 意再應オ確メアリ度
 (三)第五艦隊関係主腦者代名トノ通
 Commander North Eastern Japan Force R. Allen, F.T. Worbridge
 " Southwestern F. G. Fabrice
 " Saoto Nagasaki Area Group Commander G. Van Deus
 " Kure Matsuyama R. Allen, F. P. Farnsted
 " Misaki Kote) Nakajima Kote)
 " Osaka Nagoya Commander J. I. Bottom

0012

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0:26

農林省

終戦連絡中央事務局

0013

(一) 國有財産ノ処分禁止ノ指令アレハ、食糧増産ノ為メ國有林野ヲ貸與(井下ヲ前提トス)スル場、右許可ヲ要スルヤ否ヤ、G.H.Q.ニオ確メ願フ。(二部引受)

(二) 軍用地使用ノ件、代々木練兵場及ナリマス飛行場ヲ使用致度、右可能ナリヤオ確メ願フ。(二部引受)

(三) 内務省ハ、京都ニテ台人學生四十人府廳、對シテ食料増配ヲ強要シ居ル也、警言奉倒無カノ趣ナルニ付、テ、督勵アリ度ニ

(四) 厚生省ハ、大島大使一行ト共ニ歸國スル由ナルニ、世十五百名ニ付、專方興味アリ、右檢査、上陸等、次第オ知ラセ願フ

情報局

(一) 商工省ハ、昨日本席ニテ申シ上ゲタルコト、G.H.Q.ヨリ石炭事情聴取シ度キニ付、本曜日午後九時人ヲ寄越セシ度キ旨申越アリ、差キリ石炭統制會ヨリヨリ人ヲ向ケテ、勞務関係ニ及ババ更メ人選スルコト可然ト存ス云々

(二) 右ニ閣下、米價、日本側ニ於テ食料問題ニ比シ石炭問題ニ大騒ギシ居ル

未タ食料事情ニ余裕アル證據ナリト一部解釋シ居ルヤ見受ケラル、心付キ迄
通信者

終戦連絡中央事務局

0014

通信檢閲ノ件、陸海軍撤戻ヲ通スルモノニ對シテ、檢閲ス但シ陸海軍係
通信ニテモ、通信院ヲ通スルモノニ付テ、檢閲ス
(3)



終戦連絡中央事務局

十二月三日

終戦連絡各省委員会出席者名簿		十二月三日	
官職	氏名	官職	氏名
内閣	岡本 俊	情報局	今井 正
文部省	小島 龍一	官務省	今野 龍一
物産省	三宅 正	航空省	井上 英夫
"	安部 公治	復興院	八田 昌明
才二	宮崎 雲	逓信院	真家直三郎
自衛隊	中 哉男	官内省	三浦 義男
農務	日野 山	外務省	坂本 史
"	西尾 房		
高三省	本日 早苗		
大蔵省	村中 七郎		
内務省	大田 英夫		
司法	宮川 藤吉		

0015

終戦連絡中央事務局

十二月四日

終戦連絡各省委員会会議事録

総務部

左ノ件ニ関シ「メモランダム」接受セリ

(1) 神奈川県「ナガサキ」飛行場解放ノ件(不許可)

(2) 戦争画視察(藤田嗣治)GHQ側同行者名(二人)通知ノ件

第一部

(1) 教員審査機関設置ニ関スル当方案成リタルニ付関係者ニ配布スル檢討上

意見見アラバ別途申出アリ度

(2) 大蔵省へGHQヨリ要テ書籍中当方ニテ調達不可能ノモノアリ、右ノ方テ預ヒス

第二部

(1) 農林省へ「ホップ」ノ品種ニ関スル新研究ニ付報告方求メラレアリ、可然取計シ

度(文書手交)

(2) 現下石炭事情ニ於テ隘路打開ノ目的ヲ以テGHQ Dr. Collinsノ要請ニ基キ昨日関係者停官及当業者協議シ一應対策ヲ樹テタルガ更ニ檢討ヲ加フ

0016

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0128

ル等明日午後一時ヨリ農林部ニハ号室ニ於テ會議開催ス。コトヨリ依頼ニテ
 右會議ニ各省最後決定ヲ與ヘ得ル責任者トシテ特ニ左ノ向ノ出席ヲ希望アリ
 タルニ付オ傳ヘ願フ

海運總局長官、大蔵省主計局長(勞務省貸金肉題)、厚生省勤務局長、
 商工省燃料局長、農林省食糧管理局長、内務省管理局長(物資給與問題)
 (情報局ヨリ、本件ニ當リテGHQ(企画部)ニテト諾合中ノモノト別口ナリト存ス)
 第一復員省
 (在内地)
 CLOニオ訊ネ致度シ、台湾人ニ対スル内地人並給與ニ付テハGHQヨリ正式指令
 アリ。ニ次算ナレヤ
 (總務部ヨリ、ナン、當方ヨリ一方的申入レナリ)

商工省
 GHQ市民検閲部調査課長「リンドバーグ」中尉ヨリ一九四一年一四五年ノ期間
 ニ於ケル当省大臣、次官、政務次官ニ付夫々ノ出生地、現住所、履歴概要、海外旅
 行經歷等照會越セリ、同様事例アリヤ(陸軍情報局、遞信院ヨリ、類似ノ

0017

閉合セラレケルモノトアリ、但シ内容簡單ナリキ)又右ニ如何ナル目的ヲ以テ照會ナルヤ
 何等ノ事聞キ及ヒモニトアラバ承知致度シ(總務部ヨリ、聞キ及ヒ居ラス)

大蔵省
 東京都長官ヨリ都財務局長宛「東京都公債ノ元金及利子支拂中止方」
 通牒發セラレタル処、右ノ本邦財政再検討ニ関スルGHQノ指令ヲ誤解セル結果ナ
 ト存ス、別途内務省ト打合せ致スヘシ

内務省
 (一)某筋ヨリ入手セル北鮮地方鉄道局長ノ書信ニ依リ、該地方居留邦人近ク帰
 國ノ可能性大ナルヲ以テ受入準備願フ云々トノコトナリ、右ニ依リ察スレバ
 現地ニ於テ「ソ」聯側ト何等交渉行ヒ居ル模様ナリ、眞偽何レトスモ右ニシロ
 ニテ特合ニ置アリ度(右書信總務部へ手交)

(二)經濟局ヨリ、先刻日室社員來リ十二月三日ヨリ「ソ」軍撤收ヲコラゲオヲ朝鮮
 ニテ陣キタル事ヲ語リタリ

(三)台北州ヲトシテ所在ノ某製紙工場ヨリ東京事務所へ電話ニテ「今般新政府指示

0018

終戦連絡中央事務局

0019

ニ依リ工場運轉開始(務間官廳用批製造)ノ運ビトナリタル也終戦前内地ヨリ積出予定ノ工場用資材ミテ未着ノモノアリ右輸送ノ爲飛行機(支那機)ヲ出スヘシト旨連絡アリタル由ナリ詳細更ニ二部ト打合せスヘシ

司法省

戦争犯罪人ニ指名セラレタル塩野孝彦病氣ノタメ入所遅ルヘシ松阪廣政ノ故障ナシ尚入所手續ニ関シ後刻内務省ニオ訊ネ致度

情報局

石炭労務問題ニ関スルニハ中村トト詰合ニ昨日申上ケ置キタルカ昨日同中尉ヨリ五日ノヲ知オテ放送者推薦方申越アリ本日モ同中尉ト會ヒ種々懇談セルカ本件労務募集ヲシテ實効アラシムル爲ニ、当方ノミニテ無理ナリ関係者方面ノ協カヲ希望ス

航空局

(一)本日コレヨリシイダール大佐ニ會ヒ民間航空禁止ニ付談合スル結果明日報告致ス

(二)飛行機運轉切符發賣ス精々抑利用アリ度

終戦連絡中央事務局

0020

逓信省

司令等ヨリ要テ出テ関係法令ノ翻譯ニ着手シ居ル也大量ニテ期限ニ間ニ合フ見込ミ立メス弱リ居レリ

管理局

(一)在支那官廳関係文書ノ取寄セ可能ナリヤ(五部ヨリ)G.H.氏此種申請アリタル様存スルモ詳細調へ見ルヘシ

(二)厚生省ハ、引揚却入ノ定届ケ荷物(「タッキー」如キ)ノ運賃負担関係未決定ナル也当方トシテ陸地ヨリノ鉄道運賃等ハ、援護會辺リノ負担ミシテ貴ニ度ノ右厚生省社會局長ニオ話し致シ置キテリ返事早ク戴キタシ

RA'-0147

0:30

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会出席者

十二月四日

官職	氏名	官職	氏名
外務省	岡井 俊	航空局	中野 実
文部省	千代延 三男	後興院	橋本 隆
逓信省	三浦 義男	追信院	奥山 直三郎
農林省	宮田 重基	官如省	三浦 義男
商工省	本日 早苗		
大蔵省	村中 七郎		
内務省	大田 英太郎		
司法省	宮川 隆吉		
逓信省	了井 俊		
運輸省	今井 栄文		
	西毛 一郎		

0021

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会議事録

十二月五日(水)

○中村公使ヨリ戦争犯罪人ノ收容情况、行ルヘキ裁判ノ内容、收容所ニ於ケル待遇状態、辯護人及通譯問題等ニ関シ説明アリ但シ右ノ本席限リトサレ度キ旨申添テ

総務部

(一)左ノ諸件ニ関シ「アモ」接受セリ

(イ)引揚用トシテ艦艇十隻ノ建造完竣方ニ関スル件(許可)

(ロ)帰還軍人ニ対スル地方当局ニ於ケル持戻リ金取締強化ノ件(許可)

(ハ)焼跡整理ノタメ軍用タンクノ改造ニ関スル件(實驗許可)

(ニ)長友ヨリ大森拘置所ノ收容ノ件

(ホ)戦争犯罪人中米俘虜收容所勤務者殘務整理ノ入所遅延許可申請ノ件(不許可)

(ヘ)米兵休養所ニテ日比谷公園使用ノ件

(ニ)GHQ宛テノ件ニ関シ覺悟提出セリ

比島向在内地在留邦人救済物資輸送ノ件

第一節

0022

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

警察制度改変件ニ関シ十月十九日警保局長ワトノ代得ト懇談セリ、警保局長
 再建ニ対スルソノ意見トシテ注目スヘキ点ヲ示シ通
 (1) 従来「民衆敵」タル警察ヲ今後「民衆ノ友」タルガハカラス、然ラザレバ将来日本民
 衆ハ「天皇ヲ戴ク民主主義」ヲ離シ「共產主義」ニ走ルヘシ
 (2) 警官ハ民衆ノ公僕トナルコトニ依リ現在ノ失シタル威カヲ回復スヘシ、右ハ警官
 ノ待遇改善ト相俟テ行ハル要アリ
 (3) 留置中或ハ拘留中ノ待遇ヲ改善スヘシ
 (4) 日本警察ノ再建ニシテ米側トシテモ多大ノ関心ヲ有シ且協力ニ各ナラス之カ存ニシ
 警保局長側トシテ密接連絡樹立ノ設置ヲ希望ス(右連絡ニシテ現在「スミス」大尉
 当リ居リ相対円滑ニ行キ居ル旨第一節ヨリ附言アリ)
 第一復員者
 (1) 昨日浦賀ニ出向キ同地情況ヲ視察シ帰来セル米側方課員ノ談ニ依リ、上陸復
 員軍人ニ対シテ着換服ノ給與行キ渡ラズ、長途ノ航行ニ依リ垢ミミレ頭髪芒々ナ
 レモ散髪設備モナシ、上陸亦一歩ノ明朗ナル氣分モ忽チ不平不満ト変ル云々トノ由ナリ

右改善方俟待者ノ協力ヲ希望ス
 (2) 極メテ最近滿洲ヨリ帰来セル人ヨリ及聞左ノ通
 ○当初「ソ」聯軍ノ暴虐相当ナリシモ「ゲイ・パー・ワイ」及「ソ」聯警察等入滿スルニ
 及ヒ鎮靜ニ復セリ。滿人ノ日本人ニ對スル態度ヲ見ルニ「ソ」聯ヨリ結局日本ノ方カ
 ヲイトヒ氣付キ最近ハ好感ヲ寄セ居レリ。通信問題トシテ日本銀行券カカ一般ニ
 流通シ居ル實情ナリ。在留邦人ノ生活情況ヲ見ルニ一般ニ金ニカカルモ爾来一
 地ニ定着シ居リタル者ハ優遇セラレ居リ反之外地ヨリ飛出シ轉々セル者ハ其ノ間
 擄奪等甚キ目ニ遭ヒタリ、一般ニ良家ノ子女ノ如キおでん屋ナド營ミ居レリ。警
 拘留中ノ將校ニ外出許可アリ又帶刀モ許可セラレアリ(本矣特ニ叙トセラレ度)
 (3) 右對米施策上何等御参考迄)
 (4) 米側要求ニ基キ各種翻譯ニシテ各者共惱ミノ種ナルカ右翻譯樹立ヲ米側ニ
 設ケシムル譯ニシテ參ラザルヤ、但シ右ハ私見ナリ
 (5) 先刻中村公使ノ訪談有益ニ拜聴セリ、今後モ本席ヲ利用シ各方面ヨリ
 有益ナル訪談ヲ聞キ度シ

第一復員者

(一)大島大使行出迎ノ件、昨日準備セルカ徒勞トナリタリ、予定変更、情報ノ錯誤ニ、困リ居レリ、GHQトノ連絡ヲ明確ニセシ度又今更ノ錯誤ニ付テモ之カ理由ヲGHQニ責任者ニ確メシ度、(一)復員者ヨリモ同意書表明アリ

(二)昨日中村ヲ將「マンセント」他用會談セル復員輸送用艦艇ノ管理問題ニ言及シ「右艦艇、全部可及的早急運輸者ニ移管スル様要請シタル上本件、自分(マ)ヨリモGHQニ申果スヘント云ヘル由、関係者御令置相成度

(三)先般申上ケ置キス「インデアナポリス」号撃沈セル伊ノ五八潜水艦長明日木更津ニ赴キ追テ日取決定ヲ俟ケ「ワシントン」ニ於ケル裁判ニ参ル旨、華府滞在、十日乃至二週間ノ予定(本件特ニ情報局ニテ承知置アリ度)

(四)終戦時潜水艦情況、二十七隻佐世保ニ集結、内大型ニ隻米軍ニ引渡シ、三隻英ヘ引渡ノ旨

(五)「ハスキ」大佐目下日本ニ於ケルB29基地ノ調査ヲ進メ居リ現ニ赤濱飛行場滑走路ニ遺シ置カレアリ、右基地調査米ノ対ソノ策戰準備ト存ス

0025

大蔵省

金融制度調査會設立セルルコトナリタリ右ニ金融制度整備改善ニ關スル諮問機關ニシテ之カ構成及設置要領ヲヤシ(略)尚右設置ニ付特ニGHQヨリ「ボコダン」シツリアンナリ(本會メンバーニ各階層ノ者ヲ網羅スル様要請アリタリ)

内務省

(金野民内ナリ)

(一)米軍ニ依ル武器彈藥処理ニ際シ三重縣下ニ於テ死者一名、負傷者數十名ヲ出セル事例アリ同様「ケリス」今後モ相当生スヘキニ右殉職者ニ対シ何等保護方法ヲ構スル要アルヘン関係者ノ所研究ヲ願フ

(二)復員者ヨリ、四國ニ於テモ同様事例アリ、(一)赤ヨリ、福岡ニテモ事例アリ

(三)神奈川県在ノ米軍部隊帰国ニ當リ「ガープ」ヲ遺シユクヤノ噂アリ、何等オ聞キ及ビノコトアリヤ

(四)復員者ヨリ、右賣渡ノ噂アル由ナルカ怪シキモノナリ、尤モ賣渡サバ当事者双方共嚴密訓ニシテラルトノコトナリ

0026

終戦連絡中央事務局

司法者

(一) 先般申上げ置キタル札幌ニ於ケル華人労務者暴行ノ件、今般現地米軍ヨリ右日本側ニテ裁判スルコトニ賛成申越セル由。

(二) 米國ニ於ケル最新ノ軍法會議法及軍刑法、コトキストGHQニアラバ借用致度オ確メ願フ。GHQニ所有シ居ルコト判明セバ正式文書ヲ以テ借用申入ルヘシ海運總局

過般申上げ置キタル日本船員ヲ米船舶ニ乗船セシムルノ件、右、第六軍ヨリノ話ニテ正式「メモ」ヲ受取リタル譯ニ非ス詳細目下神戸統制會ニ付照會調査中ナリ、何レノ船ニ乗船スルヤ判明セザルモ目的ハ引揚輸送ノタメニ非ス、亦軍用貨物運搬ノタメナラン

航空局

昨日GHQ參謀長附ロッド大佐ヲ招致シ受ケ方係官同大佐ト談合セル由ヨリ米國ノ航空輸送會社「明春頃日本へ進出シ来ル見込ナルニ付従来本邦ニ於ケル專業ノ營業成績、航空路ノ内容、整備員通信士等募集ノ可能性等ニ

0027

終戦連絡中央事務局

付情報提出ヲボメラレタリ、尚「ロ」本件營業ニシテ引合ハ空軍ニ於テ經營スヘシト云ヘリ。(本表公表控ハシレ度)

朝海課長ヨリ

○ロ今「ロ」ニ會ヒタリ、米軍管轄地域ニ変更アル模様(本表毎トサレ度)、山形ニ於ケル裁判権行使問題ノ件、右八軍ノ訓令ニ基ク由ナリ、善方申入置キタリ

○昨日「マーンヤル」外務大臣ト會談、恩給、戦犯罪人及石炭問題ニ関シ談合セリ

○当ナ翻譯課ヨリノ希望ヲ傳ヘス、各者ヨリ持テ来ラルモノ、ニシテ内容意味不明、冗長ニ居ルモノアリ、今後ハ必要事項、要領ニ限ラシ度シ

○内務省へ、長崎若松喉誌ヨリ書信アリ、同人ノ努力認メヤリ願フ

○第八軍ヨリ「ロ」石炭問題ニ関シ九州へ赴ク模様

○LSTニ依ル輸送順調ノ由

了

0028

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0147

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省本員會出席者名簿		十二月五日(水)	
官職	氏名	官職	氏名
審議室	岸井 俊	秘書長	井上 邦子
文部省	小島 龍一	復興院	八田 昌明
逓信省	三宅 良英	建設院	高橋 貞三郎
逓信省	宮崎 勇	官内省	三浦 義雄
逓信省	土 歳 田	大蔵省	野村 浩一
逓信省	渡田 重恭		
逓信省	本田 早苗		
逓信省	松中 幸三		
逓信省	宮川 藤吉		
逓信省	河井 宗之		
逓信省	河毛 一郎		

0029

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員會議事録		十二月六日(木)	
総務部			
(一)	在諸件ニ関シテモラシムト接受セリ		
(二)	「デーゼルオイル」轉賣及其、使途割当ニ関スル件		
(三)	在芬蘭日本公使館ノ記録文書等ヲ聯合國側ニ引渡ノ件		
(四)	在土耳其古栗原大使ノ帰國引揚ニ関スル件		
(五)	GHQ指令中宮内省関係事項ニ関スル件		
(六)	第一復員省海軍省当時所有ノ自動車及「トラック」等使用方ニ関スル件		
(七)	海軍大興業建物ヲ女子學習院ニ使用ノ件(不許可)		
(八)	證券取引所ノ所有財産ノ移轉ノ件		
(九)	在東京「アング」警察官独自寮明渡ノ件		
(十)	死亡朝鮮總督府官吏ノ昇進ノ件ニ付GHQト交渉ノ経緯ニ関シ内務省ニ對シ説明アリ		
(十一)	朝鮮課長ヨリ		

0030

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0135

0031

(1) GHQ「アムステルダム」ヨリ第一復員者ニ付シ L.S.T. 百隻又貸與スヘキ付日本船員ノ配乗手配方詰アリ同者意向トシテ大体二十五隻ニ右船員ヲ乗船セシムル趣ナル也之カ給與、養成教育等ノ問題早速ニ生スヘシ右運輸者ニ於テ予メ研究置アリ度

(2) GHQト交渉中ノ重要事項ニシテ直チニ新聞ニ掲載セラルル事例少カラス甚ダ都合悪シロ今モ賠償委員ト面談ノ節如斯機密ノ漏洩シカモ不曲セル記事ノ掲載、日本ノタメニモナラザル旨注意セラレ同感ナリ右各主管者ニ於テモ夫々上層部ニ徹底シ置カレ度シ

第一節

軍需物資ノ引受ニ付テ GHQ ↓ 内務省 ↓ 特殊物権処理委員会ナル正當聖路アルニト御承知ノ通ナル也此種物資ニシテ引受未済ノモノニ付各個人ヨリ直接 GHQニ交渉シ或ハ各者ニ於テ之ヲ斡旋スルカ如キ事例アルモ右ハ必ス内務省ヲ通シ更ニ内務省ヨリ ↓ C.L.O. ↓ GHQトスル様指導方関係ノ向ニ周知セシメラレ度

0032

第一復員者

(1) 昨日申シ上ケタル滿洲情況印刷セルニ付配布ス

(2) 南京電報ニ依リ、十一月九日鹿兒島島向出港、二、八五名搭載各自三〇「キロ」荷物及寢具其他携行ヲ許サレ居ル由ナリ、先方検査宜大ノ趣

(3) 塘沽外務電ニ依リ、榮典是九月二十日着計ニ、四七名天津向出發セル由ナリ

(4) 武器彈藥処理ニ際シ事故発生ニ付テ、昨日内務省ヨリオ詔シアリタルガ十一月三十日岡山ニ於テモ火藥爆発シ負傷三名家屋倒潰等相当ノ被害ヲ出セリ

第二復員者

(1) 本日「トラス」島ヨリ歸來セル春山大佐ノ談ニ依リ、該地配給甘藷二〇〇瓦、米一〇〇瓦、生活ニ比較的樂ト由ナリ

(2) L.S.T. 貸與ノ件、先刻朝海課長ヨリオ詔シアリタル通ナリ尚右ニ周聯シ過般海運總局ヨリ同様日本船員乘込方第一軍ヨリ指示アリタル旨オ詔シアリタルカ此種指示 GHQ一本建トスル方都合ト存ス

大蔵省

RA'-0147

0136

終戦連絡中央事務局

0033

当省及内務省係官同道GHQニ付財政再建ニ関スル「メモ」中ノ「エージェンシー」及
 「インストルメンタリイ」ノ語義ニ関シ金融機関カ右ニ合マルヤ否ヤ訊ネタル也
 普通銀行ニ合マズ特殊銀行中政府貸付其他ノ場合ニ合マル云々トノ説明ヲ
 得タリ
 司法者
 (一)岩成豊雄ノ件ニ関シ、当々ヨリ身柄要テ書提出スヘシ
 (二)米軍「カンプ」刑務所自動車ニ衝突シ之ニ損傷ヲ與ヘタル儘逸走セル「ゲイズアリ
 右程度ノ事件ヲGHQニ申入レ可ナルヘキヤ
 (一)奇ヨリ、右程度ナリト當方ニテ取上クルヨリモ現地限リトシ「ローカルコマンド」ニ申入
 レタラバ「ヨロシカラシ」
 情報局
 多摩川撮影所(大映)中島飛行機ニテ使用シ来レル処之カ引掛ヒ未済ナリ、
 中島飛機陸軍省関係ニナリシ次第アレバ別途第一復員者ト相談致シタシ
 海運總局

終戦連絡中央事務局

0034

昨日当方長官ライダール「クレーム」ノ後任ト存ス」ト會談「シ」ヨリ
 (一)港灣及船舶二十四時間ヲ労働ニ戻シ従来續行シ来レル各週報告ニ之ヲ中止
 シ爾後ハ運送會ノ事務トス
 (二)在比島船舶ニ十一隻備船ノ件ハ諸合ニ進ミタルモ not available ト理由ニ
 依リ打ヤリトナリタル
 旨詰アリン由
 (了)

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡各者委員会出席者名簿

十二月六日(木)

終戦連絡中央事務局

官職	氏名	官職	氏名
審議官	岡井 俊	司法	宮川 藤吉
文部省	千代田三男	情報	西田 寛
一級参事	三池中徳	運輸	合井 栄三
	北川 忠雄		河毛 一郎
第三信託局	柳 力	航空局	井上 忠夫
厚生省	横大路 俊一	復興院	八田 昌明
農林省	日野 水一	逓信院	土真宗直三郎
参事	西角 高彦		
	本田 早苗		
大臣	梅村 公成		
	大田 英太郎		
内務省			

0035

終戦連絡会議

才一部 指令番号(一般命令才一部) 第六項の九日廿四日付
司令官 覚書ニ對シテ注意ヲ示ス

才一部復原

- 一 在(ア)ニホシ、軍隊ニ給與シ、悉ク地方ニ轉動セシム
- 一 シンクアリ
- 一 油質上流ノ才ニ在リ、通洋及シ、カウエストシ、ヲ轉旋セシム
- 一 賠償ノ因ニ説明アリシ

各者ノコトニ示ス

一 聯合軍ニ需要豫知ノ件、表ニ大臣ノ旨、第四部ニ示ス、各者連絡会議、於テ詳細ニ説明ス、コトニ示ス

一 東京中央卸賣市場、何ノ同ノ内務省、對シ、コトニ示ス

一 朝鮮、日本在信託ノ生命、對シ、同ノ陸軍(コトニ示ス)一部

0036

RA'-0147



CENTRAL LIAISON OFFICE

官職	氏名	官職	氏名
外務省	佐藤健輔		
陸軍省	三原良英		
海軍省	柳田義夫		
逓信省	安田信馬		
商工省	本田早苗		
内務省	大田英太郎		
情報局	今井正		
司馬	高橋重吉		

各省連絡委員会出席者名簿 (三月九日)

0038

海軍省
根江吾六、遠柳、栗崎、刑務所、引渡、
ウエー、ク、鳥、赤橋、十、十、口、ヒ、カ、ワ、丸、ニ、ラ、帰、送、了

0037

RA'-0147

0139

終戦連絡各省委員會議事録

十二月七日(金)

終戦連絡中央事務局

総務部

- (一) 大諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ
- (二) 戦争犯罪人リスト(近衛公以下)
- (三) 建物徴発ノ件(三井本社、東亞同文書院、國民体育館以下)
- (四) 北支ヨリ帰還ノ将兵及一般邦人携帶持帰り金ニ関スル件
- (五) 石炭増産ニ関シ措置ヲ指令及右措置概四十八時間以内ニ報告ノ件
- (六) 朝海課長ヨリ
- (七) 本連絡會議ノ運行方法ニ関シ率直ニ希望申シ上テ、議事進捗並ニ機密保持ノ点ヨリ顧ミルモ出席者ハ各事務局局限リ於テタクトモ應答ノ出來得ル責任官トシテ願フレラ一定致度各位ノ協力ヲ期待ス
- (八) 賠償問題ニ関レテハ目下各方関係者間ニ於テ協議ヲ進メ居ルカ右ニ至ル迄過敏「ホール」トシ談合ニ續キ「マックスウェル」ニ付種々詰シタル経緯申シ上テベシトテ右説明報告アリ

0039

第一復員者

(一) 石炭廳設置ノ件、新聞ニテ承知ノ通

終戦連絡中央事務局

(一) 在外部隊及一般邦人中十一月十一日現在ニ於ケル帰還者数(海運總局調)	陸軍々々(軍唐々合々)	三〇二、五五九
	海軍々々(同)	二二、二八六
	一般邦人	一八五、〇八四
合計		五〇九、九二九
(二) 現在朝鮮ニ残留シ居ル陸軍隊人数(長部)	京城(連絡事務局)	一四(菅井ヲ得以下)
	釜山	六〇(又保田ヲ得以下)
	勤務隊	五〇〇
	特務病院	八〇
合計		六五四
右以外全部引揚済		

0040

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0140

終戦連絡中央事務局

0041

(三)比島に於ける山下大将裁判の證人トシテ同地ニ赴キ今般帰來セル人々ヨリノ及聞ニ依リ
右裁判並辯護振ハ公正ニシテ且熱心ナリ但シ通譯者カ「市民権ヲ有スルニセ」ニテ
日本語理解ハ小學校ニ三年ノ程度ニ過キス為ニ證人ノ言等充クニ徹在セ
サル憾ミアリタリトノ趣、右通譯ノ件ハ今後モアルコトナラハ遺憾ナキ様致度シ
尚同地ニ於ケル我僑虜ノ待遇ハ漸次良好トナリ居ル由

厚生省

CLOへ「ボルネオ方面ノ天然色映画アリトコトナリ、オ借り出來ザルヤ
(情報局ヨリ、右朝海課長柳存知ノコトト存ス、管理局ヨリ、余リ面白キモノニアラス)

高工省

(一)九州方面石炭事情視察「ゴラード」大佐ニ當者ヨリ僑官同行ノ件
(二)國際契約等停止ニ関スル当方案成リタルニ付配布ス、右案ニ付西三日中法
制局ニ於テ説明ヲナス予定ナリ、尚本件修正方ニ付曩ニ海運總局ヨリ
柳申越ノ莫別途同局ト打合せ致スヘシ
(三)廢止法律提出方ニ関シ(一部ト打合せ)

終戦連絡中央事務局

0042

内務省

(一)大森策策鴨等收容所入所心得ノ如キモノアラバ戴キ度シ
(司法省ヨリ、当方ニテ多少取纏メタルモノアリ差上グヘシ)

(二)建物徴発頻ニ付ルル也指令中所在場所ノ曖昧ナルコトアリ困惑ニス
(總務部ヨリ、四部ニ付確ムル様サレ度シ)

(三)梨本宮ノ件其後如何相成リタルヤ
(宮内省ヨリ、十二日入所サル旨ナリ、本件新聞発表ニハ困リタリトテ経緯説明)

情報局

(一)石炭問題、自下當方ニモ米側ト詰合中事項ナレバ失刻披露アリタル石炭
増産ノ「メモ」処置振當方ニモ付連絡アリ度(二部事項)

(二)米側ヨリ在外日本將兵ノ為映画制作製スルニ付之カ資金調達方申越ア
リ、右何レノ省ニテ引受ケラルルヤ、米側ニ本件調整方CLOニ一應
相談スヘキ旨言ヒ置キタルハ追テ何等照會アルコト存ス

(三)昨日申シ上ゲタル多摩川撮影所ノ件、失刻等一復員者ヨリ別個伺ヒタ

終戦連絡各省委員會出席者名簿			十一月七日(金)		
官職	氏名	官職	氏名	官職	氏名
文部省	小島 浩一	逓信院	真室 直三郎		
一復	三池 中佐	復興院	橋本 善次		
二復	宮内 勇	司法	宮川 藤三郎		
大蔵	野村 浩一				
内務	西角 良彦				
労働省	今井 孝三				
運輸省	今井 孝三				
	石上 輝夫				

終戦連絡中央事務局

0044

ル所ニ依リ、商工省関係事項トコトナルカ何レニスルモ出来得ルナラバ本件
 各省間内話トシテ早急解決セシメタシ

海運總局
 米國ニ於ケル(海運)機構表ノ如キモノナキヤ
 (總務部ヨリ、外務省政務局ニ照會セシ度)

航空局
 降雪ノ為來週ヨリ青森着陸セズ、札幌ノ積雪程度ニテ差支ナシ

附記、 第一復員者ヨリ、大島大使一行中ヨリ本日及来週月曜話ヲ聞ク予定
 第二復員者ヨリ、右半大明日、興味アル莫連テ披露ス

(了)

終戦連絡中央事務局

0043

RA'-0147

0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

十二月八日(土)

終戦連絡各省委員會議事録

総務部

左ノ件ニ関シ「メモランダム」接受セリ

(1) 建物微発ノ件(日本製鉄高橋分室大同商事其他)

(2) 機雷掃海用日本舟艇ノ修理ノ爲舞鶴及大湊工廠使用ニ関スル件

第一部

築鴨收容所入所者ニ対スル持込禁止品目配布

第五部

「マリアナ」方面帰還邦人用被服LS T五十隻ニテ輸送ノ件「マンソン」大佐ヨリ第一復員省ニ詰アリ。右ニ付來ル十二日午後二時ヨリ協議致度厚生内務海總局管理局ヲ召集領ヲ

第一復員省

(1) 南方總軍司令部ノ昭南移轉ノ件ハ最近寺内元帥ノ健康スグレザル爲「マウン」ト「バテン」ヨリ中止許可ノ指令アリ右移轉ハ行ハズ

0046

(2) 昨日三時善通寺米軍兵舎ヨリ発火一棟焼失死亡一名重傷一名軽傷五名ヲ出セリ被害者ハ何レモ米軍ナリ

(3) 内務省ハ爆撃調査團「ホツ」大佐ヨリ米側ニテ特攻機映画ヲ作製スルニ付日本將校用飛行服装一式二組同下士官兵用モノ八組ヲ來週月曜日迄ニ

調達アリ度キ旨依頼アリ御配慮願フ

(四) 最近

滿洲ヨリ歸來セル某將軍ヨリ及聞タル所左ノ通

○奉天方面十一月十六日ヲ以テ武器接收終了セリ右接收ニ當リ「ソ」軍ノ監理不行届ナリ爲相手数ヲ滿人ニ盗マシ治安悪化ニ拍車ヲ掛ケタリ。一般治安ニ関シテハ地域廣大ニ過グル「ミ」ラス「ソ」軍ニ余リ熱意ヲ認メ得ス多シ滿人遂次増長ノニ氣味ナリ。工場ノ主要機械「ソ」軍ニ依リ相當徹底セラル統制ノ下ニ取リハズサレソ聯本國ハ送ラレタリ。滿洲内ニ潜伏ノ一部復員者ニ対シ「ソ」軍ハ再調査ヲ行ヒ呼ヒ集ルル予定ト由。○「ソ」軍及滿人ニ依ル暴行ノ噂程ニ非ルモ男子ノ強制労働(配給米一日合程度)女子強姦通例ナリ。擄奪ニ當リ「ソ」軍ハ時計、軍服、銃、靴、道具、現金、モノ、殘スモ滿人ハ更ニ貪婪ナリ。北滿開拓團ノ

0045

終戦連絡中央事務局

0047

引揚悲惨ナリ現在大連ニ一万六千アルハ既ニ四百名死セリ又營口地方ヨリ
 是迄立退キ現在安東ニ在ル留民モ悲惨ナリ ○一般ニ定着シ居リタル者
 生活ニ金カカルモ樂ナリ但シ官吏警察官吏等ニ對シテ圧迫甚シ
 第二復員省

(一)從來海軍ニ所有ノ飛行機及部品等、米軍ニ於テ一應全部横須賀ニ集メ
 タル上本國へ船ニ輸送スル模様ナリ

(二)最近米軍航空関係ニ異動アルシク各艦隊長官參集會議續行中
 ナリ、本情報取扱特ニ枚トサレ度シ

(三)運輸課長渡辺大佐最近各引揚港ヲ視察シ歸レル談ニ依リ、復員艦艇乗
 員ニ對スル休養設ノ皆無ナルハ遺憾ナリト由、追テ詳細同大佐ヨリ報告アルヘシ

(四)本日小島少將(大島大使一行ト共ニ歸朝セリ)ヨリ及聞左ノ通

○在米中見ノ米紙論調、日本政治家ノ昇座ナリ(例ハ戦争責任問題ニ
 於ケルカ如キ)ト断シ在リ、原子爆彈ニ關スル投書多ク右爆彈ノ使用、米國
 民ノ恥ナリト如キモノアリ。独逸敗戦ノ原因ハ「ヒトラー」カ軍特ニ陸軍閣

終戦連絡中央事務局

0048

係ニ裏切ラレタルニアリ。コレハ私見ナルカ最近話題ノ「ヒトラー」ト「エヴァ」ブラウン」ノ件
 噂ノ如キ事案アリタリトスルモ右ノ最近ノ短期間ノコトナルヘシ、尤モ右様噂ノ
 一部独青年層ニ着在スル「ヒトラー」信奉者ニ對スル「ソ」聯ノ策動ナルヤモ知レス

商工者

(一)情報局ハ、例ノ大映撮影ノ件、中島ニ付算シタルハ既ニ先月中疎開準備ヲ
 終リ之カ許可申請中ニシテ大映社長ニ於テ了解シ在ル趣、本件ノ寧ろ撮影所
 現業員ノ騒ギナラン、本日更ニ調査致スヘシ、當方係官整理部總務課
 安部事務官ナリ

(二)一般保障ノ問題ニ關聯シ仁科研究所ノ件、四部ト打合スヘシ

運輸省

(一)青函連絡船増強ニ關シ「コバツス」代持(等八軍)ト鐵道トノ調整ニ當リ
 居ル)ヨリ向後六ヶ月間、計画報告方ヲマラレタルニ依リ別紙ノ通報告
 致シ置キタリ(別紙配布ス) 尚鐵道ニ關シテハ從來情報些細ナリシ爲
 格別披露セサリシモ今後相当重要ナルモノモアルヘキニ付適時本席ニテ

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

報告致スル

(一) 羽田飛行場ノ擴張追加工事ニ関シ、本件ニシテヨリ東京部へ街連絡アリシ模様ナル処、今般港湾局ヨリ此種事項、今後同局ヲ通セラレ度キ旨申出アリタルニ付、右ニ御了承領ヲ航空局

(二) 最近「定期飛行」ニ欲航多キ処之カ原因ニ付「ケリー」中尉ト談合セルカ要スルニ現在該飛行ニ従事シ居ル米側「パイロット」技師(特ニ着陸技術)未熟ナルコト其ノ原因ナリ、既ニ三台コクシ未タ整備終ラズアルモ來週ハ過グレハ事情緩知スルニ

(三) 本會會議ニ於ケル議事々頂ノ外部洩防止ニ付テハ、朝海課長ヨリモ再ニオ話しアリタルカ各位ノ一層抑留意ヲ望ム、当方関係事項トシテハ民間航空禁止ノ件漏洩シカケル事例アリ云々

(四) 第一復員者ヨリ、本會議々場ヲ変更シタル一賛成者多シ(第一復員者ヨリ、公表差控、モノ、特ニ其ノ旨念ヲ押サレ様)

0049

終戦連絡中央事務局

官職	氏名	官職	氏名
議長	岡井俊	"	河毛一郎
一任	千代延五郎	後任	井上忠良
二任	三浦良英	後任	橋本虎之助
三任	宮内勇	後任	原島直三郎
四任	川崎蔵男		
五任	日野九郎		
六任	本田早苗		
七任	村野七郎		
八任	宮川藤吉		
九任	佐野幸三		
十任	今井幸三		

0050

終戦連絡各省委員會議事録

十二月十日(月)

終戦連絡中央事務局

総務部

- (一) 在諸件「関シ」マモランダム」接受セリ
- (二) 俘虜虐待(内地朝鮮及比島於ケル)戦争犯罪人指名ノ件(リスト披露)
- (三) 農地制度改革ニ関スル件(各項目指示、内容概ネ法案ト同シ)
- (四) ハア氣象觀測所ト連絡用トシテ駆戦艦使用ノ件(許可)
- (五) 日本政府及在外日本使臣間通信停止方ノ件
- (六) 岡部大将ノ轉任ニ関スル件(不許可)
- (七) 日本ニ於テ凍結セシムル朝鮮関係資金、移動其他操作禁止ノ件
- (八) 在外日本使臣ノ宿舍費用等負担ノ件(松島次官ヨリ問合せ回答)
- (九) 三井本社建物使用ノ件
- (一〇) 朝海課表ヨリ
- (一一) 賠償問題ニ関シ昨日外務次官「マクスウェル」ヲテモアト會談セリトテ右内容披露、本件交渉経緯、機密漏洩ノ虞特ニ注意相成度ト附言ス

0051

終戦連絡中央事務局

0052

四 横浜鈴木公使「アイケルバ」カト會談、第八軍ニ依ルテ第八軍接收、十二月三十一日ヲ以テ行ハル由

(ウ) 去ル八日、共產党大會ニ於ケル戦争犯罪人「リスト」発表ノ件ニ関シ若干情報ヲ得居ル也本件共產党及「GHQ」間ノ連繫事情並前記大會ノ模様内務省ニ於テ御承知ナリヤ

第二部

(内務省ヨリ) 右大會ニ「当方」及警視廳現場立會ヒ致シタル「承知」居ルコト存ス

第一復員者

石炭増産ニ関シ早急措置ヲ指令アリシコト御承知ノ通ナル也本件ニ関シ昨日十一時半因係存官「GHQ」ニ赴キ打合せヲ遂ケタリ應答要領配布ノ上説明アリ

(一) 北支情報 停戦後十一月末日迄ニ判明セラル我々損害左ノ通
戦死一、三、四七 負傷一、〇、八二 行衛不明一、〇、四〇 其他若干匪軍地区ニ走リタルモノアルモ今後「LST」ニ依ル帰還目途モ付キタルハ跡ヲ絶ツヘシ
尚酒井中将以下五万ノ將兵匪軍ニ投シ居ル旨新聞報(朝日)アリタルモ右様事

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0146

實ナレ、爲ニスル在報ナラン

終戦連絡中央事務局

0053

(一)「マニラ」收容所情况 山下大将裁判ノ證人トシテ該地ニ赴キ此ノ程帰レル人ヨリ及「聞」ヲ通
 收容所「マニラ」市南方面四〇キロ廣大ナル草率地ニ在リ眺望佳ナリ陸海軍人、軍法及
 一部居留民合計五乃至六千人收容セラレ居リ五乃至六千名單位ニ各「キャンプ」ニ分レ
 各「キャンプ」六百名中隊ニ分ル一幕舎收容五〇名程度、幕舎整然トシテ設備ヨレ
 生活状態ヲ見ルニ食事一回付米五勺、酢「キハツ」ミルク「コーヒ」砂糖若干、日ニ煙
 草四本、給與状態最近改良セラレタリ、一般ニ對シ特別勞役ノ如キニトナシ、週一
 回内地ニ書通信可能、毎日朝日縮冊週報ヲ讀ミ居ル 尚收容將校ノ名
 前判明シ居ルニ付要アラハ自公(天野)マテテ照會アリ度

第二復員省
 (一)青島ヨリ引揚帰還セル人ノ談ニ依リ、現在中國海軍ニ、重慶(福建海軍)、中國
 陸軍ニ於テ所有シ居ルモノ及同政治部ニ於テ所有モノ、三市統アルトノトナリ
 (二)在内地台湾人ノ件、現在ハリオ海兵團ニ八五〇名居リ(当初二五〇)更ニ増加
 スル勢ニアル也食糧増給ヲ要ス(農林省ヨリ何算言質ヲ聞ハタルヤニ及聞)

終戦連絡中央事務局

0054

送時不穩ノ形勢ニテリ 抜本的ニ送還以外ニ解決ツカサルベキモ 主管部(五部)
 ノ盡力ヲ望ム

(三)LST一〇〇隻貸與ノ件、本件ヲ承知通ノ経緯ニテ素々運管會所轄事
 項トシ存スルモ米側ヨリ特ニ旧海軍関係ニテ二十五隻引受方詰アリシ次第ニ鑑ミ右実
 現ノ為目下当方主務局ニ於テ極力努力中ナリ、米側一一隻付士官三「セイラー」
 一七名ヲ要スシ居ルモ右ニテ、船動カナルヘク少クトモ 二、三倍ノ要員ハ必要
 ナリ、右要員ノ教育等モ早急ニ考慮ノ要アリ、右二十五隻以外七十五隻ニ付テ
 運輸者ニ於テ午邊レニナラヌ様ニ眞剣ニ措置セラレ度シ 尙前同詰シアリシ
 「マリアナ」五十隻ハ当然本件百隻ニ含マルモノト了解ス

(四)福留中将南西太平洋方面臨時出張視察談ヲ通
 昭南方面八千人集結、第一船今般内地到着ノ次第ハ即承知ノ通、第二船
 一万人搭載ニ十日出航ノ予定ナリ、目下昭南ニ南方所在ノ總船舶集合
 シ居リ合計四万噸内外ト見積ラレ、一年十五万人程度送還可能、英海軍
 ノ助力ヲ使ツモ丸三年ニカカルベシ、情况ヨリ考ヘラルル送還順序ノ如シ

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

西部「エーギア」、濠北、三万五千程度、百%「マリア」にて栄養失調、濠洲側取扱復讐的にて食料殊ニ悪シ

シヤワ方面、八千人先月二十日以後連絡杜絶、救出ヲ要ス

インドネシア、比較的良好ナルモ該地土人日本兵器ヲ多数所持シ居リ日本人ニ対スル感情ヨロシカラス

「ホルネオ」、土人関係右ニ同じ救出ヲ要ス

昭南方面、最も良好ナリ、某島ニ二十万人集結シ居リ自治出來得ル様食糧其他ノ補給ニ努カシ居リ(英海軍援助アリ)台湾及泰ヨリノ米持込ニ交渉中ナリ

現地我軍人ノ統制ヨロン要キタル労働ニ積極的ニ協力シ居レリ尚引揚船乗組員合計約二万五千入アル也終戦時無統制ニ陥リ為ニ華僑其他ニ依リ船内秩序ヲ破リタルモ現在ニ秩序回復シタリ

英軍ノ日本軍取扱公正ナリ我士官ニ対シテモ敬禮ヲ強要又「スーヴェニール」ヲ強要セタキ

0055

終戦連絡中央事務局

(田)爆撃調査團ノ調査海軍関係終了約五十噸ニ及ブ資料ヲ米本國ニ持テ歸リタリ

(六)十一月末日迄ニ於ケル各船ニ依リ揚揚者数ヲ通(運航課調)

陸軍	二九二、〇二一
海軍	四四、二五六
一般邦人	三五〇、〇九九
合計 六八六、九四六	

(七)十一月二十日、三、三四〇名ニ対シテ行ヒタル協論調査ノ結果ニ依リ三、一七四名(即チ九五%ノ天皇制支持ナリ)

(八)当方運航班員各引揚收容所ヲ視察シ歸レル談ニ依リ引揚船ニ勿論一船中ニモ赤化分子相当ニ入り込ミ居ル由ナリ(本件公表控ハラシ度シ)

大蔵省

外資局内ニ賠償課設置セラレタリ(八日)總務課長兼務、杉山事務官兼務

司法省

現在札幌刑務所ニ華人勞務者ニシテ既決一七名未決一四名收容

0056

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0148

終戦連絡各省委員会出席者名簿 十二月十日(月)			
官職	氏名	官職	氏名
審議室	角井俊	航空院	井上輝夫
文部省	千代延三男	後援院	橋口隆
一後	尾田良策	真室員	尾形健一
二	宮内省	官内省	尾形健一
原業者	横大次 俊一		今井和治
農林省	渡田金葉		
大臣	河野三郎		
内務省	北野三郎		
司法	宮川藤吉		
情報	西田英		
運輸省	今井栄次		
	河毛一郎		

終戦連絡中央事務局

0058

シ居ル也今般シヨリ右未決上告中(強盗強姦殺人)ノ某ノ身柄引渡方要平越セリ右当方ニテ裁判致度シシロヲ通シテ依頼スヘシ

航空局

土曜日ロードト談合航空運業成績提出シ置キタリ其ノ際「ヨリ国内定期」ニテ引合ヲ否ヤ質問アリ大阪一東京一〇円程度(現在九五円)ニテ引合ヲ旨答ヘ置キシカ先方一五〇円位ヲ考ヘ居ル模様ナリ

遞信院

終戦検閲ノ件、札幌、仙台、東京、大阪、福岡ニ於テシテ倒レ依ル電信院行シ居ルト御存知ノ通ナルカ右以外ニ移動検閲班活動シ国内電信ニ対シ検閲ヲ行ヒツツアリ御合ニ置アリ度(本件トセラシ度)

官内省

十一月一日当省ニ終戦連絡室設置セラレタリ 尾形、今井両事務官紹介ス

(3)

終戦連絡中央事務局

0057

RA'-0147

0149

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

十二月十一日(火)

終戦連絡各省委員會議事録

総務部

- 大ノ諸件ニ関シ「メモランダム」ヲ接受セリ
- (イ) 吳ノ物品ヨリ引揚ノ乗船人数訂正ノ件
- (ロ) 工場ノ民需轉換許可申請様式ノ決定及申請先ニ関シ回答ノ件
- (ハ) 在「テヘン」帝國公使館及領事館文書ヲ米英代表ニ引渡ノ件
- (ニ) 留山海軍中佐及中川海軍少佐逮捕ノ件
- (ホ) 日本水路部使用ノ参考書類提出ノ件
- (ヘ) 鮮人引揚費用トシテ日本側負担分回答ノ件
- (ロ) 徴収取消ノ件、国産自動車建物、海産物工業協會地下室冷蔵室、日光自動車工業會社建物
- (ケ) 呈製原料閉鎖ニ関シ日本側責任者及本件ニ関シ執リタル措置通報ノ件
- (コ) 地理調査協會、陸地測量部ヲ内務省へ移管ノ件
- (ク) 工場民需轉換申請様式指示(第八軍ヨリ)

0059

終戦連絡中央事務局

- (イ) 南鮮ノ帰還希望者中某ニ対シ右希望不許可ノ件
- (ロ) ロイボルト商會ノ資金解除ノ件

第一部

過般各省ヨリ提出相成リタル行政機構表(括弧内ニ報告シタル処先方ニ更ニ戦時中ノ介ヲ承知シ度ニトシト付テハ)一日現在ノモノ前田同様ノ要領ヲ以テ明後日迄ニ提出願フ

第二部

軍需工場ノ民需轉換許可申請様式ニ関シテ、ロ今總務部ヨリ披露アリタル如ク今般之カ統一決定ヲ見タル次第ナル処右ニ至ル迄ノ折衝経緯概要説明申上ノハンギン(内務省ヨリ、十一月二十七日附ヲ以テ長野縣廳「生産許可」(轉換ニアラス)申請様式ヲ歸下ニ布達セルカ右ニ別個ノモノナリ)

二部ヨリ、何レトスルモ今回第八軍ニテ統一セル旨ナリ

日本船舶、日本領海運航ニ関シ從來必要ナリシ諸手續十一月十五日以後不要ト

0060

RA'-0147

終戦連絡中央事務局

ナリル旨指令ニ接セリ、詳細関係者ニ連絡致スヘシ

第一復員者

鹿児島上陸地支局ヨリ電報ニ依リ、現地米軍ニ引揚上陸地ニ関シ軍隊ニ鹿児島一
般ニ加治木へ上陸スル様申シ居リ又揚陸ノ部隊ニ上陸当日中ニ出発スル様要求
シ居ル趣ニシテ本島ニ付テ目下現地ニ於テ米側ト交渉中ナルカ右中央ニ於テモ
取り上ケヤリ度ク厚生省ノ仰盡カヲ希望ス

第二復員者

過日集鴨收容所へ持込ニ禁止品目表頂戴セルカ右ニ如何ナル経緯ニ基キテノ
決定ナルヤ

(一部ヨリ、及間ニ依リ、従来差入レカ民主的ナラザリシ結果ノ措置ナルヤノ事ナリ、詳シク
ハ中村公使ニオ訊ネアリ度シ)

情報局

天皇判ニ関スル輿論調査ノ件、当方外廓團體タル日本輿論研究所ヲシテ過日
牧野、廣瀬、徳田三氏ノ座談會ヲ開催之ヲ放送セルメ右反響ヲ約四千通

0061

終戦連絡中央事務局

ノ投書ニ依リ調査シタルハ九五%ノ天皇判支持ナルト判明セル次第ナリ、右次第
近ク当方總裁ヨリ閣議ニ報告^(外)、英譯シテマ司令部ニモ提出ノ旨ナリ

海運總局

石炭、杭木等ヲ夫々朝鮮及支那ニ輸出セル事例アルト御承知ノ通ナルカ右運賃
乃至貨物代金等ノ支拂関係、如何相成リ居ルヤ、当方トシテ、具体的ニ決定シ
度キ場合アリ、差等ノ措置ナリト決定シ賞ヒ度ク仰研究ヲ願フ

(一部ヨリ、従来折衝ノ印象ニ依リ、右ニ總テGHQト日本政府ノ取引ナリ但シ
支拂問題ニハ觸レタルコトナシ)

大蔵省ヨリ、立替押ヒ及來年度ニ於テ予備金ニテ賄ヒ得(●)シト●思料サ
ルルカ、具体的決定ハ、C.L.O.四部事項ナリ)

(3)

0062

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会出席者名簿		十二月十一日(火)	
官職	氏名	官職	氏名
審判官	上野 浩	運輸省	河毛 一郎
文部省	竹井 俊	復興院	中上 正夫
一後	牛代 延三男	復興院	八田 昌親
二	宮崎 勇	復興院	土原 重三郎
厚生省	榎 大経 俊一	宮内省	今井 秋次郎
農林省	日比 水 了		
大蔵省	阿部 七 中		
内務省	高 中 多 二		
司法省	宮川 藤 吉		
情報局	西田 寛		
運輸省	今井 寛文		

0063

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会議事録		十二月十二日(水)	
総務部			
(一)	た、諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ		
(二)	送還軍人五七六名搭載鹿児島出港明優丸幹施方ニ関スル件		
(三)	「ハッソ」ヨリ十一月末横浜入港予定船ニ搭載、邦人九〇名受入準備ノ件		
(四)	米軍要求物資ノ調達方ニ関スル件		
(五)	朝鮮信託使用人ノ体給支辨ニ関スル件		
(六)	大同商事建物徴発ノ件		
(七)	軍人ノ除々一般國民ノ榮養情況調査方指令ノ件		
(八)	南朝鮮ニ外資員派遣ノ件(不許可)		
(九)	華鮮人引揚ニ関聯シ主要停車場ニMP増加配置ノ件(鐵道局長申入ニ対シ回答)		
(十)	支那ヨリ帰還邦人ノ送金名替受領書持帰リノ件(差支ナシ)		
(十一)	解体財閥及會社ノ株證券資本等移轉禁止ニ関聯シ更ニ具體的事項指令ノ件		

0064

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

(一) 京都事務局秋山公使ヨリ電話ニテ同公使第一軍「コールドウ」少佐ト談
合セヨリ、鮮軍人引揚ニ関シ日本側中央及地方当局カ實際執リ居ル措置カ熱
意ヲ欲ス居ル莫ク第一軍「甚クシク」不滿ヲ感ジ居リトテ之カ誠意対処方要請シ
援護局ノ早急発動並鮮軍人ニ対スル引揚方法ノ徹底周知方ニ付示唆アリタル
旨申越セリ。厚生省、内務省ノ御盡カヲ望ム

第一部

梨本宮今朝八時半出頭セラシタリ、本件ニ差当リ米側ニテモ発表差控アルモト
存ス右発表アル迄ニ本席限リ含ミトシ置カレ度シ

第一復員者

(一) 學校敷地問題ニ関シ四國ヨリ電報アリ、別途文部内務省ニテ御協議願フ
(二) 十一月七日毎日新聞ニ北鮮避難民ニハ度線ヲ通過シ金山着云々ノ記事アリタル
カ右ニ三ハ度線ヲ脱シ京城ニ收容中ノ者ノ誤リナリ、該地ニ列車未通ノ旨ナリ
(三) 海運總局へ、十二月中ニ於ケル艦船使用状況作成セル也聯合軍協力ノ船舶
四、五十隻アルヘキモ詳細不明ナルニ付右御調べ願フ

0065

商工省

(一) 昨日海運總局ヨリ物貨問アリタル朝鮮、香港向石炭ノ運賃及代金支拂ニ関シ
判明セル所在ノ通

(二) 朝鮮向ノ分ニ付テハ鶏林社(以前日本人經營)ヨリ敷金十万円ヲ受領シ居ル

(三) 其他香港向ノ分「日出炭」ヨリ立替拂ツレ居レリ

(四) 就テハ大蔵省及シロ四部ニオ訊ネ致度シ右(四)ノ立替「何レ」向ヨリ掛ヒ込ミ
世貢ヘルヤ

(大蔵省ヨリ、本件当方ニ話アリタル際、当方トシテ、日銀ノ立替ヲ黙認シ然ル上明年
度予算ニ於テ之ヲ差引クガ針ナリモノトテ解ス右四部ニ於テモ承知ノコト存ス
總務部ヨリ、根本問題ナルニ付上層ニ(大蔵次官↓当方次長)通セシ度シ大蔵
省ヲ解ス)

○尚運賃ニ関シ

海運總局ヨリ、運賃會ニ金ナシ
一部ヨリ、石炭代金ヲ支拂フ者カ運賃ヲ掛フニ非ヤ云々

0066

RA'-0147

0153

終戦連絡中央事務局

内務省

去ル八日共産党大會ニ於ケル戦犯入リスト発表ノ件、口頭ニテ早口ニ讀ミ上ゲタル
爲大略シカ判明シ居ラサル趣ナリ。

情報局

第一相互以テ号室カミカワ氏ヨリ一九四一年十二月二十七日勅令第一三四六号提出アリ度
キ旨電話アリ(目的不明)右ニ停虜情報局官制ナルニ付第一復員者ニテ可
然、却取計ニシテ(了承)

航空局

(一)民間航空禁止問題ニ関シ、昨日「ライダール」不在ナリシ爲「ラ」次席「バーンズ」
ニ會ヒ談合セルカ其ノ際「バ」ニ研究所設施ハ賠償ノ対象トシテ米國ニ持
テユクヤノ口吻ヲ減ラセリ、右ニ過般接受セシ施設轉換不許可ノ「メモ」ニ閣聯
スルモノト察セラル
青森飛行場ノ使用中止ニ付米側、許可ヲ取付ケタリ、郵便物等ニ落下傘ニテ
落ス様タノミ置キタリ

0067

終戦連絡中央事務局

近ク航空燈台ニ変更アルヘク追テ「メモ」出スヘシトノコトナリ

(二)最近米側ニ富山飛行場ニ付同飛行場ニ於ケル格納庫ノ戦時後
收容能力、燃料貯蔵力等ニ関シ極メテ周密ナル調査ヲ行ヒタル趣ナリ

(了)

0068

RA'-0147

0154

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戰連絡中央事務局

終戰連絡各省委員會出席者名簿		十二月十二日(水)	
官職	氏名	官職	氏名
善後局長	角井 俊	運輸局長	河毛 一郎
文部大臣	牛久保 忠三郎	樺太島	井上 越夫
一級	三池 良秀	内務省	川口 嘉三郎
二級	宮田 勇	復興院	八田 昌明
厚生	横大路 俊一	逓信院	真田 良三郎
農林	日野 水三郎	宮内省	今井 秋次郎
商工省	本田 早苗		
大臣	杉山 元		
司法	宮川 藤吉		
情報局長	今井 栄		
運輸局長	今井 栄		

0069

終戰連絡中央事務局

終戰連絡各省委員會議事録

十二月十三日

總務部

- (一) 左ノ諸件ニ関シメモランダムヲ接受セリ
 - (二) 中央航空研究所ヲ民間用ニ轉換ノ件(不許可)
 - (三) 交通施設修理復旧ノ爲ニ復員軍人(海軍技術者)使用ノ件回答
 - (四) 海底電信敷設艦霧島丸ヲ吳松山間修理ニ使用ノ件
 - (五) 浦澤ケイ次郎即明渡ノ件
 - (六) 財閥関係諸會社ノ資産凍結ニ関スル件
 - (七) 日本人及嘗テ日本ニ居住セル在外外国人家族ト郵便ニ関スル件(再開不許可)
 - (八) Employment Policyニ関スル件(国籍、信仰、社會的地位ニ依ル勞働差別不可、華鮮勞務者ノ日本人同様取扱、復員軍人ニ対ス復失の取扱不可等)
 - (九) 復員船カ外國港ニ於テ使用スル外貨取得ノ件ニ関シ回答
 - (十) 左ノ件ニ付GHQ宛覺ヲ提出セリ
- 米國ヨリ棉花ヲ輸入シ米向同製品輸出ノ件

0070

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0155

第一節

(一)復員技術者ノ轉換ニ関シテハ今日ハモ披露ニモアリタル如ク(總務部(一四)本件ニ関スル当方申入レハ大体ニ於テ全部許可セラレ居ル次第ナリ)

(二)Employment Policy 指令ニ関シ(總務部(一四)右日本政府ニ於テ採レル措置報告ノ要アル也)厚生者希望ニ依リ各者別本席ニ持テ寄リ当方ニテ取纏ムルコトト致スヘシ

第一復員者

(一)昨日内務省ヨリオ詔シアレハ四國ニ於ケル學校用ニ敷地使用ノ件昨日マンソンニ詔シタル也マレハ自今ヨリ早速第一軍ニ電話スヘノ尚GHQニ対シCLOヨリ正式申込マレ度シト言ヒタリ内務省ハ承知相成度

(二)天津電報

(三)江ノ島九七日塘沽発秦皇島寄港ノ上會博多入港ノ予定蒙疆地區引揚民一八三五名搭載

(四)LST三隻十一日発佐世保入港ノ予定北京居留民一八七七名天津

0071

九一五名搭載

(一)支那總軍來電ニ依レハ今般何應欽司令部ヨリ中國及日本間貿易調査團トシテ軍政部兵工省揚副所長以下十一名(技術専門家ヨリ成ル)ヲ派遣一行ハ飛行機ニテ十五日頃本邦到着ノ予定ナル旨連絡アリシ由ナリ

右ハ賠償ニモ関係アルモノト存ス尚一行ハ日本所在ノ各工場、化學工業、電力、通信、金庫、造船、自動車、製油等産業全般ニ亘リ調査スヘシ

ノコトナリ

第二復員者

(一)GHQヨリ中村中將ヲ通シ一九三八―四五年ノ期間ニ於ケル工作機械発注リストヲ提出オ指令越セリ

(二)伊五八号潜水艦長橋本中佐十二日ワシントンニ到着セリ(星條旗紙記事)

(三)戦争犯罪人裁判ハ既ニ四五ヶ所ニ於テ行ツタルモ之カ内容ニ関シ未タ何等ノ通告ニ接シタルコトナシ米側ニ於テ一部ウヤムヤニ葬リ去ル悞アリ今暫ク見送りテ尚通告ナキ時ハ「フォツシユ」スル要アルベシ

0072

0156

本件自分(宮崎)ヨリモ中村公使ニオ話し致シ置クベシ

(四) LST百隻貸與ニ関聯シ二十五隻海軍引受ノ件、右未夕正式ニ決定セル譯ニハアラス米側ニ二週間後正式決定スヘト言ヘリ尚先方ハ横須賀及呉ニLST一隻死ヲ置キ乗員教育用ニ充ツル意圖ナル趣

(五) 在内地台湾人ノ送還ニ関シ昨日米側許可取付ケタリ正式「メモ」今明日中CLOニ参ルヘシ(沖繩人ニ付テモ明年一月ヨリ送還開始トノコトナリ)

右準備トシテ当方駆逐艦那智月ヲ十八日出港シ得ル様用意シアリ就テ送還台人ノ割振方CLOニ於テ考案アリ度当方希望トシテ「ハリオ」海兵團ノ六〇名ヲ最初ニ送り出シ度シ

尚右送還ニ当リ從來ノ經驗ニ徴スルモ船長ノ苦勞一再ナラスMP同乗ノ件等自分(天野)ヨリ牛場課長ト相談致スベシ

(米側希望モアリ本件発表ニ当分控ヘラレ度シ)

農林省

昨日農政局長NRS「ギルマーケン」ニ會ヒ農地制度ニ関スルGHQ指令ト

0073

議會上程ノ調整改正案トノ關聯ニ付矢方意圖ヲ訂セル也「ギ」農地委員會ニ不在地主加リ居ル未夕封建的色彩拂拭サレ居ラザル證據ニシテ其カ政府案ニテ不允ナリ右議會ヨリ撤回レ根本的別個案ヲ提出スヘト言ヒタリ仍テ局長ヨリ我方事情説明ノ上撤回云々ヨリモ寧ろ今回政府案ヲ以テ第一歩トシ更ニ根本的改正ニ進ムコト然ルヘキ旨述ヘ先方モ納得シタル趣ナリ(本件発表控ヘラレ度シ)

大蔵省

(一) 三三六會社資産凍結ノ件本日新聞発表アリタルカ本件ニ波及スル所多シ仍テ本朝当方係官「ウイラー」ニ會ヒ米側方針ヲ訂セル也「ウイ」本件指令ノ趣意ハ財閥解体ニ關スル曩ノ指令ヲ完全ニ履行セルル爲ノ手段ニシテ日本經濟ヲシテ萎縮セルルカ如キ其ノ意トスル所ニアラス本朝ニ付日本側意圖アラハ申出アリ度シト語レリ

尚本日午後当方部長更ニGHQニ赴キ懇談ノ旨ニテ右結果何等新聞発表ヲ考慮シ居レリ

0074

RA'-0147

0157

終戦連絡中央事務局

0075

(三)朝鮮及香港向輸出セル石炭ノ代金及運賃ノ件、昨日種々オ話シアリ
 タルカ其後帰者ノ上場方責任者ニ付外資局及主計局トモ連絡確カメ
 る結果本件代金及運賃ハ今般設置セラルル貿易廳資金特別會計
 ヨリ支拂ルルコト判明セルニ付右ニ付承知アリ度シ
 司法省
 大島大使一行ト共ニ帰國セルニ世中差シ当リ二人雇ヒ入レ度シ
 (管理局ヨリ承知セリ有能ナル者アリ、農林省ニテ、既ニ雇ヒ入レタリ、希
 望ノ向ニ付申出アリ度シ)
 逓信省
 (一)聯合軍ヨリ差出郵便物ニ付先般來話合ノ結果此ノ程差出種目及
 右野送経路等ニ関シ決定ヲ見タリトテ説明アリ
 (二)一般郵便物ノ検閲ニ付近ク變更アルヘシ暗号通信ノ如キモ許可サル
 ル模様ナリ、詳細追テ報告致スヘシ
 管理局

終戦連絡中央事務局

0076

厚生省ニ引揚居留民接護會設置セラレタル也受入地ニ於テ從來
 本業務ニ従事シ居リシ縣廳関係ノ者 [] 右ニ好感ヲ抱カス
 現ニ浦賀ニ於テ「サボナー」(男子四五名)ノ如キ等ニ出テ引揚民ヲ
 困惑セシメタリト聞キ及ベリ、右徹衣御取調方内務省及厚生
 省ニオ願致度シ

了

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会出席者名簿		
官職	氏名	氏名
審判官	小島 浩	井上 越夫
文部省	小島 浩	八田 昌明
第一種省	三池 英一	小島 浩
第二種省	宮内 俊一	宮川 藤志
厚生	横内 俊一	尾形 健一
農林	日野 水	
商工省	幸田 早苗	
大蔵	杉山 元	
内務	大田 英次	
情報局	西田 寛	
運輸省	今井 栄文	
	河毛 一郎	

十二月十三日(木)

0077

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員會議事録	
総務部	十二月十五日(土)
大諸件ニ関シ「モロシム」接受セリ	
① 台湾人送還開始方ニ関スル件	
② 十一月三十一日ヲ以テ第一軍團係事務ヲ第八軍ニ引継ギノ件(右ニ應ジ在京都復員連絡事務局解散ス)	
③ 本間中将ノ比島司令官在任中ニ於ケル指揮権範圍問題ノ件	
④ 血盟團(神奈隊)ニニ五事件、米内大將松平宮相殺害陰謀事件等々ニ関スル調書提出方ノ件	
⑤ 司法省ヨリ右ノ内米内大將トアル「岩佐」ノ誤リナルヘシ	
⑥ LSTニ依ル北支邦人引揚ノ件	
⑦ 大阪「ビル」内ノ部屋及地下室徵用ノ件	
⑧ 「レニ」ト商會ノ資金凍結ニ関スル件	

十二月十五日(土)

0078

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

(1) 戦争犯罪人トシテ存廢差行者十名通告ノ件
 (2) 大日本生右協會建物徴発ノ件
 (3) 主要食料品ノ保有量通報方ニ関スル件
 (4) 日本銀行ヨリ報告提出ノ件
 (5) 阿波丸事件ニ関スル日本政府要事ヲ米本國ニ傳達ノ件
 (6) 在新瀉市鮮人勞務者ノ移動ニ関スル件(回答)
 (7) アスカニア株式會社ノ資財凍結解除ニ関スル件(回答)
 (8) 米軍使用人ノ列車切符購入ニ関スル件
 (9) 釜山向石炭輸出振報告方ノ件
 (10) 神道ニ関シ各種措置方指令ノ件(内容概略披露、本件ノ影響スル所
 廣シ、十六日米同時ニ発表ノトナリ居ルニ付ソレ近シ公表差控ヘラレ度シ)

第一部
 Employment policies 指令中第五項報告ニ関シ、各省該事事項十七日迄ニ御提出相成度

0079

終戦連絡中央事務局

第五部
 (1) 台湾人送還問題ニ関シ明後十時開始者召集セラレ度シ
 (2) 朝鮮ヨリ引揚氏ノ荷物釜山ニ滞留シ居リ右引取方ニ付牛場課長「ハウ
 エル」ニ話セル迄、C.L.O.ヨリ覺提出アリ度シトノトナルニ付午配スヘシ

文部省
 忠臣藏、十代萩等上演禁止ニ関スル交渉経緯伺ヒ度シ
 (總務部ヨリ、特ニ指令アリタル譯ニアラス情報局指導ニ依ルモノト存ス
 情報局ヨリ、調査ノ上御返事致スヘシ)

第一復員省
 (1) 父島來電ニ依リ、十三日九時五十分米海軍一個大隊進駐シ來リ「ミニ
 ツ」ノ名ニ於テ小笠原諸島行政權ノ全面的接收及其ノ完全占領ヲ声明
 セル趣ナリ
 (2) 「パラウ」及滿洲情報抄考迄配布ス
 (3) 目及聞ニ依リ、聞方法(非合法)ニ依リ奄美大島ニ日本人續々歸リツツア

0080

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0160

り復員軍人ノ帰リ得ス鹿児島附近ニ蝟集待期ニ居ルトコトナリ之等復員軍人ノ何時頃帰還シ得ル見込ミナリヤ伺ヒ度シ

(厚生省ヨリ調査致ス)

(四)東海軍管区ヨリ報告ニ依リ米軍ニ依ル爆撃取扱ワルキ為一般ノ人及民家等ノ被害相当生ジツツアリ右損害賠償問題一般トシテ特殊物種処理委員會辺リニテ取リ上げセザルニ

(内務省ヨリ)死者ニ付テハ從來共厚生省戰災保護ニ於テ扱ヒ居ル也

其他場合ニ關シテ米軍側ニ依ル賠償ト關聯シ先ツ國內問題トシテ日本

政府ニ於テドノ程度迄本件賠償ヲ引受クヘキヤ及何レノ省ヲシテ主務者

トスルヤノ基本的ニ決マラズ早急決定スル要アリ右本席意見トシテ強ク

上司ニ仰傳ヘスル様特ニ厚生省ニテ願ヒス(厚生省有了解ス)

厚生省

内務省ハ浦賀検査所大友検査官ヨリ第八軍「ソセン」ヨリ「ポスト」予防薬「サイローム」ノ使用許可アリタル也右薬品ハ鹿児島陸軍「忠海」

化工所ニテ製造シ居リタル由ニ付右取調方及消毒用酸素「瓦期」マスクノ調達可能性ニ盡報方ニ依頼越シタリヨロシク仰願ヒス(内務省有了解)

大蔵省

(一)財政再建ニ關スル指令中政府代理機関ノ操作要許可ナル項目アルコト御承

知ノ通ナル也此種各省關係機関及團體ニ付~~ニ付~~之カ具體的決定

ニ際シ種々疑義生スヘキヲ以テ右当方ニ於テ一括「リスト」ニ取纏メ予メ米側

ニ提示シテ了解付ル様致度ニ付左ノ二項ニ該當スルモノアラバ御知ラセアリ度

(未週火曜日迄ニ願フ)

①政府出資五〇%以上ニ及ビ居ル團體(地方團體出資ニシテ政府「コント

ロール」モノ及補助金關係ノモノヲ除ク)

②右様團體ニシテ融資ヲナシ居ルモノ(住宅営團ノ如キモ含ム)

(三)産業資金ノ封鎖問題ニ關シ昨日当方企画課長産業資金課長及

三菱重工ニ井化學聖理部長同道 Rydman (「マーケット」ノ民間顧問)

及「ハットフィールド」ト談合我方事情説明ノ上本件包括的解除希

終戦連絡中央事務局

望申入レル也「ボー」必要アラバ個々ニ付解除スヘク右措置ヲ針近ク指令
スヘト言ヒ包拵解除シ之ヲ否定シタルカ軍需品代金ノ全額封鎖(本件債銀
支拂支障アリ)ニ付テ「不当ナル困難ヲ與フル意圖ニ非サル」旨言明セリ
尚「ボ」自今「独逸」於テ同様問題ヲ処理セル経験ヲ有スルカ独ニ於テ五
週間全面的封鎖ヲ強行シタルモ何等支障ナカリキ本件措置ニ依リ日本
経済ニ大混亂生スヘト「思」ズト附言セリ

司法省

(一) CLO 一部ハ陸軍関係監獄吏員全部引取り度キ也右: *Emplyment*

Police = 抵觸スルヤ

(一) 一部ヨリ類似「ケース」海運總局関係ニアリ別段ノユトナカリシモ本
件上司ニ通スヘシ

(一) 恩給ノ件大蔵省ニテ取扱ヒ居ラルヤ

(大蔵省、然リ、種々照會殺到シ些カ困却シ居レリ寧ロ一括CLO
ニ於テ取扱ルル様願ヘマジキヤ御令ニ置相成度)

0083

終戦連絡中央事務局

航空局

前回申上ゲタルカ如キ「パイロット」ノ技術未熟ニ依ル機数ノ不足及「ク
リスマス」ヲ控ヘ居ル関係上現在特ニ北海道方面故航多シ終戦開
係緊急要務者ノ為ニ「当」方極力便宜取計ヲ様努カシ居ルモ右様
事情ノ為遺憾ナルユト多シ「クリスマス」過クハ多少緩和スヘシ

管理局

前回申上ゲタル浦賀ニ於ケル縣廳係員「サボター」ノ件、三日間
缺勤ノ上昨日ヨリ出社シ居ルモ「ダ」レ氣分トノユトナリ嚴重調査方
重ネテオ願ヒス

了

0084

終戦連絡各省委員會議議出席者名簿 十二月十五日(土)

官職	氏名	官職	氏名
大藏大臣	上野 浩	運輸省	河毛 一郎
文部大臣	小島 龍一	復興院	井上 達夫
逓信大臣	三宅 良英	宮内省	今井 秋太郎
農林大臣	池田 盛彦	逓信省	真家 直三郎
商工大臣	本 日 早 苗	干原 市	半井 素生
司法大臣	宮川 藤吉		
情報局	西田 実		
運輸省	今井 素生		

終戦連絡中央事務局

0085

終戦連絡各省委員會議議事録 十二月十七日(月)

総務部

- (一) 左諸件「関シ」モ「シ」ム「接」受セリ
- (1) 海軍保有物権轉換ニ関シ個人申請ニ件ニ対スル回答
- (2) 神田所在 Y M C A 建物明渡シノ件
- (3) 朝鮮人某ノ「ミシン」持帰リノ件
- (4) 本所所在山田自動車庫明渡シノ件
- (5) 一九四五及六年度、第一及第二追加予算報告ノ件
- (6) 帝國大公使及館事館ノ文書財産ノ保管引渡シノ件
- (7) 舞鶴地域ニ於ケル朝鮮人送還ノ件
- (8) 日本水路部発行水路圖ノ複製提出ノ件
- (9) 昇海軍工廠ノ作業再開ニ関スル件
- (10) 一九四一及二年度日本年鑑五十部提出ノ件

終戦連絡中央事務局

0086

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

(四) 厚木飛行場附近ニ宿営中ノ台湾人送還ニ関シ措置方指示ノ件
(戦生及生手報告書第14号)
尚戦争犯罪人逮捕ニ関シ指令ニ接シ居ルモ未タ披露ノ運ヒミ至ラス

(三) 朝海課長ヨリ

(イ) 石炭問題ニ関シ明日石炭廳長官GHQ主務官ト會見スヘシ内容ニ債銀引上、
勞働争議解決及食料配給ノ三眼目ニ亘リ行ハル苦ナリ

(ロ) CLOニ設置セシ食料輸入委員會第一回會合來ル金曜日ニ開催情報交換等
先ツ行ハル予定ナリ

(ハ) 賠償問題ニ関シ去ル金曜日GHQ主脳部ト會見セリトテ米側意密及會談
印象ニ付報告アリ

(ニ) 交渉中ノ機密事項漏洩ノ件、再三申シ上ゲ置ノ通「交渉ヲ纏メル爲ニ途中漏洩
ニ大禁物」ナル旨上達方重ネテオ頼ヒス、最近事例トシテ朝鮮ヨリ米十丁石輸入ノ
発表ノヤキコトアリ

第一部

(一) 神道ニ関シ廣汎ナル指令アリタルコト尙承知ノ如キ也右ニ至ル迄ノ経緯申シ上ケル

0087

終戦連絡中央事務局

トテ從來米側ト折衝ヲ通シ内容的ニ予テ予期シ居タル所ニテ政府軍トモ大差ナ
ク且時間的ニ今回指令カ此カ突然ノ感ヲ與ヘタル旨説明アリ

(二) 戦争犯罪人收容情况(十一月十日現在) 俘虏産待ニ依ルニ百名中二二六名入所
其他所在不明外地勤務及病氣ニ依リ五十数名未タ入所セス、要路者五九名中
病氣一五外地勤務七未入所

第二部

(三) 近衛ムノ死因ニ青酸加里ニ依ルモノノ如シ

「メモ」披露ニアリタル生糸及生糸製品ノ目錄提出方ニ関シ明日午前十時農林商工
ト打合セ致シタシ

第五部

厚木附近宿泊台湾人ノ優先送還實施「プラン」説明アリ

第一復員省

(一) 南方總軍來電ニ依リ「アングマン」「ニコバル」地区邦人三四名全部男ナリ
又南方地域ニ於テ資金ノ凍結「ナキモ」日債殆ント使用シ得ス今後ノ見透シ

0088

モ付カザル由ナリ

終戦連絡中央事務局

0089

(一)最近「マレー」「スマトラ」情况極参考迄配布ス、要スルニ該地方ニ於ケル英人ニ依ル邦人虐待、復讐言的ニシテ相当甚クシキモノアリ当初二部支那人モ之ニ共同ニテ
 補助シシカ最近ニ見事テ午ヲ引キ居ル程ナリ、尚右配布書ニ記載ナキモ印
 度人、概シテ邦人ヲ徳トシ、復シテ援助シ居ル由、反之「インドネシア」「ジャワ」人、悪
 威ヲ抱キ居リ殊ニ「ジャワ」ニテ、殘虐行為ヲ伴ヒ居ル趣ナリ
 (二)十一月二十七日以前ニ於ケル西貢附近情况左ノ通

英軍、印内政ニ関與セス又日本軍ヲ早急帰還セシムル方針ナリ、越南独
 立運動旺ナリ越盟党主体トナリ治済ナル運動ヲ為シツアリ屢々聯合軍トノ
 間ニ流血事ヲ生ス聯合國側ニ日本軍ヲシテ右討伐セシメントシ日本軍板ガサミトナリ
 困リタルコトアリ、「カンボヂヤ」「ラオス」ニ伊ニ服従スヘシ、終戦事務ニ大体順
 調但シ食糧事情ニ漸次逼迫シ聯合國側ヨリ米ヲ貸シ居ル

茅ニ復員者

(引揚ニ依ル当文運務部)

(三)十二月末茅六軍解消ニ伴ヒ京都事務局一本建トナル也改メテ業務強化

終戦連絡中央事務局

0090

ノ要アルヘシ当方人事都合モアリ何等決定アラバ早キニ承知致度ノ自分(天野)
 ヨリモ古内課長ニオ話し致スヘシ

(二)外地ヨリ引揚ゲ来レル沖繩縣人ノ世話ニ沖繩縣人会ノ如キ自治団体ニ任セ
 タルモノナリヤ或ニ政府ニ於テ為シタルモノナリヤ沖繩ノ帰居未タ不明ナル折柄
 右取扱振厚生者ニテ何等決定ノミトアラバ承知シ度シ

(原生者ヨリ集團的收容施設物色中ナルモ適當ナルモノ難シ、縣人会奔
 走シ居ルモ無カナリ、当分悲惨ナル情態續クヘシ)

大蔵省

(一)財政再建ニ関スル指令●事項^中の預金五千円以下ノモノニ付封鎖解除方申
 請中ナリシ也及②再預金ノ件ニ付指定期限延長方申請中ナリシ也右何レモ
 近ク指令ヲ以テ許可アルヘシトコトナリ

(二)新種煙草「ピース」及「コロナ」明春ヨリ自由販賣ノ件一昨日許可取付ケタリ
 (三)例ノミニ大商社資産凍結ノ指令、量ニ大蔵省ヨリ提出セル申請書ニ対
 スル回答ナリ右申請書入用ノ向ニ仰申出アリ度

情報局

演劇禁止ノ件ニ関シ昨日文部省ヨリ照會アリタル事項ニ付申シ上ケ
 兼ニ「寺小屋」上演禁止セラレタル御承知ノ如キナル也今回「忠臣蔵」ニ付テハ
 松竹側ヨリ自発的ニ執リタル措置ニ付テ是方ハ全然閑與シ居ラス 尤モ此種上
 演禁止ノ映画演劇ニ関シテテ米側ヨリ指示(命令ニアラス)ニ接シ居ルモ
 現在検閲指導ノ両面ニ於テ全然無カナル事トシテハ實際上閑與シ得ザル
 事情ニ付 尚米側ニ依リ指導検閲ニ付テハ相当微妙ナル問題伏在シ居リ
 業者側ニ對シテハ検閲強化ヲ経験サセラツツアル実情ナリ、「ラガオ」ニ付テモ
 事情ニ同様ナリ

(了)

終戦連絡中央事務局

0091

終戦連絡各省委員出席者名簿(十二月十七日)

官職	氏名	官職	氏名
事務局長	井上 勉		
運輸局長	伊藤 吉人		
情報局長	今井 正		
司法大臣	宮川 藤吉		
内務大臣	伊中 英三		
大蔵大臣	朝日 七郎		
農林大臣	井野 隆一		
厚生大臣	橋本 達一	宮内省	今井 秋次郎
二	宮内省	復興院	八田 尚明
一	宮内省		
事務局長	長 隆		

終戦連絡中央事務局

0092

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡各省本員會議事録
十二月十八日(火)
終戦連絡中央事務局

- 左ノ諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ
- (1) 中央電信局、市政會館、中央電話局、建物中夫々一室徴發ノ件
- (2) 引揚却入ノ事表示補助円持帰リニ關スル件
- (3) LSTニ依ル朝鮮人送還ノ件
- (4) 宝塚劇場徴發(日本劇場ニ取消シ)ノ件
- (5) 野村生命建物徴發期限延長ノ件
- (6) 外國本店ヲ有スル會社發行ノ株式取引許可申請ノ件(不許可)
- (7) 政府借入レ金ニ關スル件(大藏省問合セニ對スル回答)
- (8) 生糸及生糸製品目錄ニ關スル件(九月一日現在ニ在ケル情報提供ノ件)
- (9) 船舶運營會改組ニ關スル件
- (10) 伊太利大使館書翰傳達ノ件
- (11) 瑞西公使館書翰傳達ノ件(在加モントリオール在住邦人送還ノ件)

0093

終戦連絡中央事務局

- (12) 日本人引揚着ニ對スル救済支拂ノ件
 - (13) タイセイ海上保險會社ノ業務開始ノ件(大藏省問合セニ對スル回答)
 - (14) 京都地方裁判所石原判事罷免ニ關スル件
- 第五部
- 送還台湾人一五〇〇名京雲丸ニ乗船セルルコトニ決定セリ、同船出帆ノ未定ナリ
- 第一復員省
- (1) 本間中将ノ裁判近ク開始セルルヘキ処、曩ニ山下大將裁判ニ從事セル濱本通譯ヲ再々使用シ度シ右レロヨリGHQニ意欲打診願ハマシキヤ
 - (2) 四國ニ於ケル學科用敷地ノ件、GHQ側ヨリ軍用建物ヲ學科用トシテ使用スルコトニ付米軍トシテ之ヲ拒否スルハ非ルモ此種裁斷ノ權限ハ當該下部軍團ニ移シ
 - アレバ右軍團トシテ之ヲマシ度キ旨申越アリ内務省、文部省右ニ御了解アリ度シ
 - (3) 予テ申上ケ置キタル米軍火藥取扱不始未ニ依ル事故發生ノ件、本日も過渡期ニ
 - 其ノ事例アリ、損害賠償ノ件進捗シタルヤ、特殊物權處理委員會並リニテ考
 - 慮シ貫ハサルヤ

0094

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0167

終戦連絡中央事務局

(内務省ヨリ、当方氣ヲ採ミ居ルモ未ダ具体的ニ持ラス。但シ右委員会、本件ニ関

係ナシ)

第三復員者

「ヤップ」島ヨリ引揚帰來セル石本中佐ノ報告ニ依リ、同島邦人引揚、本年申ニ完

了但シ現地沖繩人ニ名残留セルヤモ知レザル由

高工者

聯合國市民ニテ日本ニ於テ個人トシテ商賣ヲ始ムルニ^{當リ}何等問題アリヤ實ニ米國

人(インディアン)某右様希望アリ企業許可令等ニ、当然関係ナキモノト思考ス

ルモ爲念伺ヒ度シ

(總務部ヨリ、第二部其輪課長ニ連絡マシ度シ)

京都地方裁判所石原判事罷免ノ件ニ付判明シ居ル矣申レ上ク

陸軍技術大尉某引越ノ際荷物「トラス」ニ滿載シテ所在ノMP兵檢シ柳行「李

終戦連絡中央事務局

0096

ト言ヒテ、檢事局へ引渡シタリ、檢事局ニテ取調ヘタル也。同大尉、復員早キノ身

体ニテ且ツ廣島ニ於テ原ノ煙彈ニ依リ妹ヲ失ヒ之カ始末ニ多少氣モ轉倒シ

居リ又手榴彈ニ終戦前各部隊ニ於テ夫々令與所持シ居リタルヲ其儘所持

シ居タルモノニテ別ニ害心ヲ認メス仍テ二百円ノ罰金ニシタル次第ナリ。然ル也

米側ヨリ持承知ノ如キ與テ出ダタルモノニテ米側ニ右判決ヲ以テ輕キニ失スト

云フモ此種法定刑^{後條}三月以下罰金二百円以下ニテ罰金トシテ最高ナリ

(通常ヨリスレハ十内程度カ相場ナリ)況ヤ米側ノ方ヲ[○]十五ヶ月懲役ノ

如キ論外ナリ、如斯キ調子ニテ判付セラルルニ於テ日本ノ裁判行ヒ得サルヘシ

本件擴大セリ相当上層部ノ問題トナルヘシ

尚「本件」[○]ナリキ[○]ノMP注意カ主任檢判事ニ達シ居リタルヤ否ヤ

不明ナルモ追テ判明スヘシ

航空局

本件曾弥部長ニ連絡済シ

(一)民間航空禁止ノ件ニ関聯シESS「バーン」少佐ト談合セル也「心」ヨリ

0095

終戦連絡中央事務局

各飛行場内施設ヲ良好ナル状態ニ於テ保存シ置ク様(財産トシテ所有シ居ル此種物権ニ付テハ從來言及セラレ居ラザリシモ)又從來其ノ要ナシト了解シ居リ
シテ製作者技師名簿ヲ提出スル様要キセラレタリ
(二)航空局廃止ニ関係シ目下米側ト下文交渉ヲ進メ居ル也今後航空局ヲ廃止スルモ航空保安ニ関シ或種ノプランヲ設置スルニ付概ネ米側了解ヲ取付ケタリ(本件公表差控ヘラレ度シ)

遞信省

(一)大東亞戦争ハ鉅一守軍字句使用禁止トナリタル也本件関係法令中ニ右字句使用シテモノアリ当然改ビセラルコト存ス
(内閣大東亞戦争調査會ヨリ、本件名称ヨリテ既ニ問題ナリ、本件目下法制局第一部長任ニテ審査中ナリ詳細同局ニ照會セバヨロシカラシ
(二)C.L.O.ハ、各省連絡事務局ト直通電話架設ノ件、右架設場所具體的ニ取纏メ指示アリ度シ其上ニテ本件早速午配致スヘシ
(總務部ヨリ、本件三部ニ課ニテ扱ヒ居レリ)

0097

終戦連絡中央事務局

大藏省

(一)三三六社資財凍結ノ件ニ関シ本件ニ於テ若干纏メタル次第モアリ多數御希望アラバ近ク本件ニ付本方主催會議致シ度シ(農林商工希望)
(二)各省連絡官ヲC.L.O.内ニ置ク件、如何ナリタルヤ
(總務部ヨリ、主務部ニ訊ネ置クヘシ)

宮内省

皇太后陛下沼津ニアラセラルル也禁衛府護衛隊ニ対シ三島所在MPヨリ同護衛隊カ武器ヲ所持シ居ル(携帶シ居ル譯ニアラス詰所ニアルモノナリ)ヲ不審ナリトシ右許可證ノ授示(護衛隊所有セズ)ヲ亦メ再應取調(音ニ殘シテ引上ゲタル趣ナリ)右様コトニ從來ナン記テ三島MPニ対シ何等指令ヲ達スル様GHQニ仰支涉願ハザルヤ
(總務部ヨリ、一部ニ課ニ連絡セラレ度シ)

3

0098

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員會出席者名簿		十一月十八日(火)	
官職	氏名	官職	氏名
審議室	上野 浩	司法	宮川 藤吉
事務局	中村 長一	情報局	今井 正
文部省	今井 正三男	運輸省	今井 栄文
一徳者	三徳 良夫		河毛 一郎
二徳者	宮内 勇		井上 輝夫
厚生省	横大 三 俊一	通信院	真家 直三郎
農務	日守 小 三郎	宮内省	尾形 健一
高 二	西角 良 彦		
	本白 早 富		
大 差	カノ 栄 三		
	村井 七 郎		
白 八	松平 三 郎		

0099

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員會議事録		(十一月十九日、水曜日)	
総務部			
(一)	大ノ諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ		
(二)	暗号書使用ニ関スル件(差支ナシ、復員者ヨリ問合せニ対スル回答)		
(三)	朝鮮銀行券印刷用紙積出ニ関スル件		
(四)	陸軍算七技術研究所使用ニ関スル件(許可)		
(五)	台湾電力會社調査ニ係ル比島水力発電ニ関スル資料提出ノ件		
(六)	メタルアルコール販賣取締強化ノ件		
(七)	京都事務局ヨリ「目下天候不良、為博多及佐世保ヨリ出航停止、同地收容所ニ帰鮮者殺到混雑シ、此ニ処今般算六軍側ヨリ同方面ノ輸送停止ニ伴フ政府手配方ニ付指示アリ云々」ナル旨電報アリ、追テ五部ヨリ連絡アルヘキモ右厚生、運輸省、御承知アリ皮シ		
第五部			
(一)	奄美大島、八重垣島其他ニ対シ内地ヨリ内貨ヲ送り皮シ		
(二)	在内地台湾人學生ニ対		

0100

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

0101

台湾ヨリ送金セシメ度シ④沖繩人送還ノ尚早ナリノニ趣旨夫々覺ラシテGHQニ申入レタリ

(一)台湾人送還ニ関シ細目指示「メモランダム」接受セリ

第一復員省

(一)在朝鮮義務整理官ヨリ「米軍要率ニ基キ京城連絡官ニ近ク引揚、釜山ニ当カク残留」スヘキ旨電報アリタリ

(二)支那派遣参謀長ヨリ「内地送還問題ニ付支那側ニ滿洲、北支、蒙疆方面ヲ早ク片付ケ度シトノ意向ニテ其ノ態度好意的ナリ本島爲ニスル匪軍等宣傳ニ迷ハサル様」トノ旨電報アリタリ

(三)昨日モ申上レタル例ノ爆破損害賠償ノ件、当方主任官内務省係官ト打合せノ結果此種火藥等ミテ未タ内務省ニ引渡シ済ミ居ラサルモノニ依ル損害ニ対シテ復員省ニ於テ之カ賠償ニ当リ然ラサルモノニ付シテ内務省地方局之ニ当レコトニ決定ヲ見タリ

(内務省ヨリ、右決定ノ恐ラク予算ニ関シテノコトナリ、本件賠償ヲ政府ニ於テ

終戦連絡中央事務局

0102

引受クルヤ否ヤ未タ決定シ居ラス)

農林省

(一)神道ニ関スル指令ニ関聯シ、從來皇室ニ奉米ノ爲毎年一月該当村ヲ指定シ府縣ヲ通シ指導シ來レル処右ノ今今回ノ指令ニ抵触スルヤ

(總務部ヨリ、地之民ノ自發行爲トシ政府及府縣ニテ「タツケ」セザレバヨロシカラシ、尤モGHQニ訂ス、却テ教範ノ悞アリ、何レトスルモ一部長ニ通セラシシ)

(二)教育機関職員採用ノ爲、審査機関設置ノ件、其後GHQトノ話合ヒ如何ナリセリヤ

(總務部ヨリ、一部四課長ニ付聞キ置ノヘシ)

大蔵省

(一)三三六社資産凍結及財政再建ニ関スル指令ニ関シ現在迄ニ判明セル莫ニ付当方解釋明日午後二時当方關係課長ヨリ説明致スヘシ(本勸銀ニ階ニ字室)

(二)昨日貯蓄局ニ「ロシア」人某來リ資金凍結解除ノ件ニ付累々申立テアリタルカ要領ヲ得ス且ツ此種最良決定、米側ニアルヘキヲ以テ右ロシア人ヲGHQニ赴カシメ

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

然ル也。之ヲ以テ責任轉嫁及事務妨害ナリトシ。当方責任者ノ罷免ヲ要シ強硬談判ニ來レルカ奔走結果本件ノ今限^{トスルモ}但シ今後同様ケースアラバ速時責任者罷免致^{トス}テトノ言質ヲトシ^{トス}落着セリ。尚考テ迄司法省

(一)石原判事罷免事件ニ関シ。本件ニ極メテ注意ナリ云々ノM.P.注意ノ警告示近^ニ通ジ居リタルモ当該判事ニ違シ居ラザルニト判明セリ故ニ本件責任ハ新ニ警告察側ニ移ルヤモ知レス右内務省ニ於テ予メ御含ミアリ度シ尚及聞ニ依レハ本件^{判事}對スル石原判事ノ態度多ク米側ハ證據ヲ害シタルヤノコトナルモ右ノ判決ノ公正ヲ信スル以上当然ノ態度ト存ス
(二)南方ヨリ帰還者中例^ハ司政官等ニテ赴任シ在リタル各者関係者アル場合右関係者ニ對シ早キニ連絡シ貫^ハマシキヤ
(三)復員者ヨリ。現地「キャンプ」ニ於ケル相互隔絶。上陸地二十四時間内出發等ノ事情ニ依リ右連絡^ハ實際^上困難ヲ伴フ。受入態勢ノ整理ト併ヤ厚生省ヨリニテ極力預^ヒ度シ

0103

終戦連絡中央事務局

逓信院

横濱ニ於ケル戦争犯罪人裁判始マル也。右二件ハ海外電報急増(毎日五万通)(語ナラズヤ)ニ上ルヘントノ趣ナリ)ニ目下全國ヨリ人ヲ集メヤリ居ルカ忙殺サレ居レリ
「クリスマス」ニ休ミナルヘキモ其後^{如何}

(總務省ヨリ。二十五日^ハ休ムヘシ以後^ハ續行スヘント存スルモ判明セ^ハテ告知ラセスヘシ) 宮内省

昨日申シ上ケタル禁衛府護衛隊ノ武器所持ノ件。現地詰合ノ結果従来通りノコトニ内滿解決セリ

管理局

昨日ノモ^ハ披露中^ニアリタル「B表補助田」ト^ハ何ナルヤ
(大蔵省ヨリ。A、B等地域別ニ発行セル米軍々票ナリ)

了

0104

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会出席者名簿 十二月十九日(水)

官職	氏名	官職	氏名
大藏省	中村長一郎	運輸省	河毛 一郎
農林省	日野水 一郎	船官官	井上 建夫
商工省	本田 良三	海陸院	真家 直三郎
大蔵	野村 七郎	官田省	尾形 健一
司法	宮川 藤吉		
情報局	今井 栄三		
運輸省	今井 栄三		

0105

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会議事録 十二月二十日(木)

総務部

- 左ノ諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ
- (1) 釋放政治犯人ニ対スル選舉權恢復ニ関スル件
- (2) 日産「ビル」徵用ニ関スル件(不徵用保障ニ難シ)
- (3) 米軍ニ依ル道路使用ニ関スル件(情報トシテ通告)
- (4) 商工資料各週並各月ニ提出ノ件
- (5) 本件提出方法ニ付明日午前十時関係者協議致度ニ付参集アリ度シ
- (6) 濠洲軍麾下島嶼ニ所在ノ日本軍引揚ノ件(回答)
- (7) 沖繩縣人送還ノ件(GHQニテ立案中ナリ)
- (8) 瑞典公使館書翰傳達ノ件(在サンタゴ帝國公館建物明渡シノ件)
- (9) 台湾人引揚ノ件(基隆及内地諸港間ニ連絡船運行開始)
- (10) 本邦業者ノ南鮮渡航ノ件(不許可)
- (11) 財閥閉鎖機關発行ノ公債償却ノ件(大蔵省照會ニ対スル回答)

0106

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

第五部

終戦連絡中央事務局

従来北支引揚輸送ニ従事シ居リタル江之島丸以下ニ船今後上海方面輸送ニ当ルコトナレルハ右従来通北支輸送ニ充テラレ度キ旨現地希望アリ本件ニ付其輸課長G.H.Q.(ハニエル)ニ赴キ申入レモ当分ニ予定通上海方面ニ使用スヘシトコトナリ尚其際同課長及間ニ依リ「シアトル」ヨリ「ルマアノシ」号二十九日横浜或ハ浦賀ニ入港陸軍関係(倉庫ナリシ)ハ。セ。七。名搭載同シク「シアトル」ヨリ「マドソニア」号二十日横浜入港海軍関係「ニ。〇。名搭載(何レモ米船)ノ趣

第(復員者)

(一)西貢來電ニ依リ該方面所在ノ將兵三〇方「レバンガラン」島其他ニ移駐スルハ早速農耕ヲ始ムル要アリ又テ野菜種子等出采得レバ次回便船ニ輸送シ貴ミ度シトコトナリ農林省ハ可然抑牛配顧ヲ

(海運總局ヨリ船繰リ調査ノ上オ知ラセ致スヘシ)

(二)南方軍來電ニ依リ東印度ニ在ル聯合軍側ヨリ日本部隊、軍政官其他個人ニ對シ所有ノ通貨、金銀地金及貴重品ノ提出ヲ指令アリ將來ノ措置

0107

未詳ナル趣

終戦連絡中央事務局

第(復員者)

「ベレンタイ」に後任「マンセン」ヲ將

司法者 (進行)

戦争犯罪人裁判情况判明次第逐時報告スヘシ

航空局

代議士ノ「定期飛行」搭乗ニオコトワリ居レリ

0108

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

十一月二十日(木)

終戦連絡各省委員名簿		十一月二十日(木)	
官職	氏名	官職	氏名
審議官	山本 俊	運輸省	河毛 一郎
文部省	川島 勲一	好意局	井上 建夫
一復有	天野 正	復興院	八田 昌明
	比川 少佐	通信院	小宮 直三郎
厚生	横大路 俊一	官内省	尾形 健一
農務	川口 一		
商工	本間 早海		
大蔵	杉本 巳中		
内務	大田 栄三		
司法	長谷川 幸四郎		
運輸省	今井 榮文		

0109

終戦連絡中央事務局

十一月二十日(土)

終戦連絡各省委員會議事録		十一月二十日(土)	
総務部			
左ノ諸件ニ関シメモランダムヲ接受セリ			
○国技會使用ニ付米軍監督ノ件			
○海外同胞援護會員ノ支那渡航ニ関スル件(不許可)			
○伊豫部辯護士南鮮渡航ノ件			
○持許局建物徴収除外ノ件			
○舞鶴ニ於ケル音響爆彈製造ニ関スル件並引綱製造ノ件			
○日比谷公會堂使用ニ付米軍監督ノ件			
○在鮮台湾人(三一名)及琉球人(五名)ノ送還ニ関スル件			
○米国宛電信輻輳期間中電報通信社ノ臨時業務取扱ニ関スル件			
○下関三菱「トロン」ニ於ケル引揚用鋼鉄船建造續行ニ関スル件			
○在内地「マリヤナ」「マレーヤル」「カロン」土人送還希望者調査ノ件			
○米兵不法行為ニ関シ回答ノ件(證據不充分云々)			

0110

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

- 十月二十五日大正天皇祭ニ國旗掲揚ノ件(差支ナシ)
- 在輕井澤外人某ノ出版費用支拂ノ件
- 伊太利大使館公金使用方ニ関スル件
- 政府官吏及一般職員ノ俸給並賞與増加方ノ件
- 霞ヶ浦造船會社以下十會社ニ於テ製造許可ノ件
- 養蚕業監督公共機關設置ノ件
- 米芥六三七部隊ニテ使用通譯ノ俸給額ノ件
- 大藏省預金部ノ信用貸出限度ニ関スル件
- 復興債権発行ノ件(差支ナシ)
- 國債貯金制度廢止ノ件
- 羽田飛行場明治ビル海上ビル等七六ノ建物徵收ニ関シ受取書提出ノ件
- 一九四一五年ノ期間中陸軍ニ対シ「トラクター」工作機械等ヲ提供セル工場「メーカ」名報告ノ件
- 藤代友信(朝鮮小學校校長)ノ所持金八千円ノ所在報告ノ件

0111

終戦連絡中央事務局

- 南方英軍占領地下ニ於ケル日本將兵ノ通信ニ関スル件(英軍ニ移席セリ云々)
- 加奈陀公使館建物徵收ノ件
- 五十嵐海産物工場徵收ノ件(其ノ予定ナシ)
- 米軍ニ対スル出版物用紙供給ノ件
- 台湾人送還ヲ概トシテ「インドネシア人(五ニ名)送還」ノ件(当分見合ハスヘシ)
- 引揚邦人ノ通債、證券等ノ持込(検査?)方ニ関スル件
- 日本銀行券印刷ニ関スル件
- 風害罹災者ニ対スル納税軽減方ノ件
- 在釜山鐵道事務所迄連絡船費用送金ニ関スル件
- 南鮮渡航ニ関シ許可方針ノ件

第一部

大正天皇祭ニ於テ國旗掲揚「モ」接受ニ至ル迄ノ経緯ニ関シ本件國旗掲揚問題ニ一般的ニ未タ決定シ居ラス個々的ニ米側ヲ解リ取付ケ居リ從テ正月

0112

RA'-0147

0176

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

0113

元日ノ際ニ付テ改メ許可取付要アル旨説明アリ
 (情報局ヨリ) 大正天皇祭ノ件ニ発表(差支ナキヤ) (一部差支ナシ)
 尚従来米兵ニ依ル国旗引下シ事件ヲ調べ見ルニ右ニ記念品欲シヤノ行為ニシ
 テ別ニ悪意アル次第ニアラザル模様ナリ
 第一復員者
 (一) 台湾現地軍ヨリテ「趣旨電報アリタリ」
 「在台湾邦人引揚ニ関シテ、当地現地軍及中國側ト間ニ於テ予テ内交際ヲ
 進メ居リタルコト此際中央ニ於テモ忒合ミアリ度右結果今般ニカ實現ヲ見
 タル次第ニシテ差当リ基隆ヨリ五千、高雄ヨリ四千、L.S.Tニ依リ送還スヘク
 一般邦人入會々一月中十八万、二月十五乃至二十万位送還ノ予定ナルニ付
 受入準備手配アリ度シ云々」
 (二) 支那方面情況ニ関シ若干纏マリタル情報入手セルニ付報告ス
 中國側態度大局的ニ非常ニ好意アリ、軍總員一三二万五千中本月十日
 迄ニ九四万五千武装解除完了セリ、保有食料尙後約一ヶ月ニ不安ナシ

終戦連絡中央事務局

0114

武装解除セラレる部隊ニ概ネ中國側勞務ニ従事シ居ル処更ニ邦人技術者
 七万四千(内軍用伴四万)徴用セラレ居ル。一般居留民中ニ一部尙共匪ノ漏
 中ニ在ルモノアルモ他ニ大体平穩ナリ、食料住宅及物價高騰等諸事情ニ依リ
 生活ニ漸次窮乏シツツアリ、共産党匪ノ活動旺シナリ現在近ノトコロ大シク
 トナキモ長引ケル問題ナラン 新聞(朝日)所報ノ如キ日本軍ノ共産軍ヘノ
 大々的参加ノ事実ナラズ (追テ印刷ノ上配布致シ度)
 大蔵省
 左ノ營團ニ付令般ニ付令ヨリ「バランス」提出方オキララタルニ付關係者
 ヨリ傳達ヲ願ヒス(報告ニ營團ヨリ直接当方ヘ)
 住宅營團(復興院) 帝都高速度(運輸) 農地開発(農林省) etc
 商工省
 差当リ石炭問題ニ付テナルが当方係官ニシテ各炭場ニ急遽出張ノ要屢
 タアレル乗車制限ノ存意ニ任セス終戦事務一般ニ遊滞ヲ未ス例ケカラス
 文下ノ量ニ爆撃調査團通譯ニ付シテ付令ヨリ発行シ賞ヒタルカ如キ

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

0115

「バスポート」(増結車用)入手出来まじきヤ
 (運輸者ヨリ、何等便法考慮致スヘシ)
 司法省
 札幌ニ於ケル「一等五殺害ノ件、二十日犯人逮捕セリ、不良少年
 三人ナリ、現地米軍モ好意的ニ協同セリ」
 情報局
 当方報導部國際課ニ対シ今般米側ヨリ●三國同盟締結ヨリ開戦ニ至ル
 迄ノ期間ニ於ケル陸海軍令部、參謀本部、大東亞省、
 秘密院等々ニ付、其ノメンバー及在任期間等報告ヲ要スアリ、右ノ
 当方引受ケルモノニ関シテ「C.L.O」ニ願ヒ度ノ其ノ旨米側ニモ言ヒ置キ
 タリ、C.L.O 符合置相成度

終戦連絡中央事務局

0116

○上海方面事情ニ関シ土居重正氏ヨリ報告アリ要旨大ニ通
 (同氏「曩ニ華中鉄道ニ勤務、現在華中帰国却人聯絡部長ニシテ中支第一回引揚
 二一八四名ト共ニ二月四日上海発同八日加治木ニ上陸帰国セリ)
 上海ニ於ケル終戦情報、八月八日夕刻逸早ノロシア人及ユダヤ人ノ筋ヨリ傳リ翌九
 日ニ号外近出ル有様ニ支那人街ニ一斉ニ支那旗及若干米国旗ヲ掲ケ近ノ米軍進駐
 ノ説傳リ騒然タリシカ日本憲兵隊強圧鎮靜セリ、十四日總領事館ニ集合シ陸下
 放送ノ旨申渡サレ翌十五日ノ夜放送ニ依リ終戦ノ事實ヲ知レリ、当初、左シエ波瀾無カ
 リシモ漸次不穏ノ形勢觀取セラレニ日ニ重慶飛行機ニ千台飛來スホ旨通達ニ接
 セリ
 九月末ヨリ蘇州河彼岸地区ノ却人(金拵々、高官ノ居住地区ナリ)ホンモ
 地区ニ集結ヲ開始シ十月十三日迄ニ定了、上海全區ヲ四区ニ分ケ夫々居住ヲ定メ(右
 ニ依リ移動シタル者上海全區ノ人ニ分カノ一)
 右河向ノ地区ヨリノ移轉ニ際シ「カレンブリダ」及泗川路橋ノ傾斜路ニ於テ貨物滿載
 車ノ「スピード」落ケルニ乘シ荷物旺ニ溢マレ治安悪化シ一同不安ニ駆ラレ居ル折柄
 十五日中國軍ヨリ却人居留民代表者ノ出頭令セラレ「仇ヲ以テ仇ニ酬ヒザル」旨ノ言明

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

ヲ得些カ安心セリ。中国側幹部、事實右言明、通り好意親目的ナリ然レモ下層部ニ徹底セザル憾アリ。群盗(女子供ヲ混ヘ)十名ニ達スルモノアリ五列縦隊ニテ押しサク。横行頻々多シ。一時支那巡査派遣セシ稍治安恢復セルモ忽チ悪化シ自衛措置ヲ構シシ地域いたシシ被害ナカリシモ放任シアリシ地区ハ被害者数々全邦人ノ一割程ナルヘキモ甚クシク荒サレタリ。但シ其後ニ至リ中国憲兵約一五〇名警備ニ就クニ及ヒ治安再ヒ恢復シ現在ニ於テ生命ノ危険ノ如キ全クナシ(尤モ下層民ニ依ル日日常ノコトナリ)彼等憲兵ノ大部ハ大學生乃至中等生以上卒業者ニテ素質良ク其ノ思想ニ於テ今後ノ日華提携親善ヲ強ク念トシ居リ日本人ニ対シ同情的ナリ中国「インテリゲンチヤ」親日的ナリト彼等ニ言ヒ居リタリ。邦人ノ生活状態、終戦ト同時ニ各商店會社銀行等本邦関係モノ一斉ニ封印セシタル為經濟活動一時停止シシ就中困難ナリシ工場関係ニテ職工退職金尙題ニ絡々工場主對筆工ノ対立ナリ(一〇三億円必要ナリ)右関係険悪化シツラアリタル也中国側調停ニ入り現在ハ一段落ヲ形ナルモ之カ各邦人一般ニ相当ノ經濟上打撃ヲ受ケタリ。尚商店ニ対スル封印ノ未ダ其儘ニテ商品モ亦其儘ナルカ右ノ何レ

終戦連絡中央事務局

国家賠償ノ一奇ニ充テラルナリ及聞ヒ居リ。食料事情ニ付テハ終戦時軍手持分ヨリ各自四〇キロ宛介與セラレ十一月一杯ヨリ九ヘキモ以後ハ保障ノ限リニアラス。物價ハ終戦時一時下落セルモ遂次高騰シ現在ハ終戦時ノ約五倍ナリ。邦人ノ大商人ハ露天商、行商或ハ上層ノ最低職業タル空瓶買ヒ漁リ等生活ニ迫リ居ル有様ナリ。引揚事情、引揚船來航ノ風評再ニ立消エトナリ最後ニ明優丸予定ヨリ二週間遅レ海ノ來航セリ。持帰リ禁制品ハ武器、寫真機、金、銀、寶石、株券、必要以上ノ煙草及食料(粥食ニ日分ニ許サル)、書籍(手帳ノ如キハ一字デモ書イテアレバダメナリ)其他、持帰リ許リ品目ハ下等筆、鉛筆、時計、洗面具、毛布、敷蒲團、掛蒲團、冬服、夏服、靴、タオル、其他、但シ重量五〇キロ(約八貫)以内ト限ラル。但シ右検査ハ程嚴重ナラズ尤モ小切手(終戦当時大藏省布達ニテ三万円迄送金許可セラレタルモノ)ヲ没收サレタ者多シ。船中、米舟二十一名同乗、当初ハ喧シカリシモヤカテ胡カトナレリ。上陸後、米舟ニ依ル荷物交換ノ実ニ欲シキモノ探シナリ、本舟ニ付テハ

終戦連絡各省委員会出席者名簿 十二月二十二日(土)		
官職	氏名	官職
警務局長	岡井俊	運輸省
警務局長	上野浩	復興院
文部省	山島勲	河毛一郎
文部省	云也直英	八田昌州
第二信託局	柳井力	真家直三郎
厚生省	志本利克	尾形健一
農務省	井野隆一	
大蔵省	村中七郎	
商工省	本田早苗	
内務省	松平義三	
司法省	宮川兼士	
情報局	今井正	

終戦連絡中央事務局

0120

現地米軍幹事モ話シ置キタルニ付今後改善サレヘシ
 列車、貨物車ヲ仕立テ買ヒタルカ便所ナク悲惨ナリ。辨当トシテ給與セラルル乾
 パンモ直ニナクナリ以後、文字通り飲マヌ食ハヌ悲惨ノ極ナリ。改善方切望
 二堪ヘズ
 尚陸海関係以外一般通信不可能ナル也上海方面ノミニ一世帯ニ付一枚ノ葉
 書許可セシ私約八万枚持参シタル次第ナリ

終戦連絡中央事務局

0119

終戦連絡各省委員会議事録

十二月二十四日(月)

総務部

- 左ノ諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ
- (1) 内務省引渡シタル旧軍所持品中藥品使用ヲニ関スル件回答(許可)
- (2) 窮民救済用物資ノ配給方法指示ノ件
- (3) 船舶引揚及解体作業ニ大湊、舞鶴、吳、佐世保諸港使用ノ件(佐世保ヲ除キ許可)
- (4) 日本「ミラ」間無線電信許可ノ件(米軍公電用トシテ)
- (5) 米軍マニラBト日本銀行券引換ノ件(許可)
- (6) 明年一、二月ニ対スル「ガゼル」オイル及「ケロゲン」地区並用途別割当指示ノ件
- (7) 下十條東京陸軍工廠建物徴発ノ件
- (8) 在「マカオ」邦人ノ救済ニ関スル件(葡政府ニ依頼スルニ付)
- (9) 高橋海澤倉庫有樂町ニ「アイズ」建物徴発ノ件
- (10) 在外邦人ニ対スル出港地ニ於ケル金券没收ニ関シ回答ノ件
- (11) 弥生神社徴発除外ノ件

第一部

神道廢絶「メモ」ニ基キ執スルヘキ具体的措置中疑問ノ点ニ付 G.H.Q. Band 大尉ニ
 質シタル所ヲ参考トシテ申上レテトテ神職、奥給、祝祭日、国宝取扱、神社管理ニ係リ、固
 有地、神社廢絶止後ノ事務、神道研究、講座設置等諸件ニ関シ説明アリ、尚各省ニ
 於テ採リタル實際措置及疑問ノ点等ヲテスル方ヲ通セラレ度ニ旨附言ス

第二部

財産税ニ関シ疑義、意見アル向ニ二十日迄ニ各負責関係部局長ニ於テ取纏メ
 文書ヲ以テ主税局ニ連絡セラレ度ニ、右大藏省主税局ヨリ、傳言ナリ

第五部

(1) 沖繩人送還指令ニ関シ毎日新聞、「日本領土ヨリ除外スル」ナル記事ヲ掲ケ在ル
 カ右ニ余計ナコトナリ、沖繩人ニ飽ク迄日本人トシテ取扱ヒ居ル旨「グレイマー」言明セリ
 (2) 台湾人ノ丸ビル事務所襲撃ニ関シ、曩ニ「G.H.Q.宛届ケ置キタル」今般本件「
 聯合國トヨリ本政府ノ問題ニ非ザルヲ以テ日本警察等ニ於テ取締リ可然キ旨正式
 「メモ」ヲ得タリ立テ、今後台、鮮人取締、右趣旨ニテ内務、司法省ニ於テ強行セシ度

第一復員者

(一)西貢來電ニ依リ「一般邦人」マライニ在住方ニ付テ聯合軍側ニ申入レ置ルル也
 今般戰前在住者ニテ且「マライ」ニテ生レタル者ニ付右在住許可アルヘキ旨回答
 ヲ得ル趣ナリ

(二)南方總軍宛該方面ニ通信「可能ナリヤ、内々個人ニ移送ノ如キ、如何」
 (遞信院ヨリ、先般接受セル「メモ」ニ「軍ニ英東南アジア軍ニ移送云々トノミニテ曖昧ナ
 ルモ該方面ヘノ通信「建前上」可能ト存ス

總務部ヨリ、右「メモ」ノ印象ニテ「不可能ナリ」
 第一復員者ヨリ、内容地送ニ付テ、過般身方ニモ其ノ話アリタルカ「一場合面白カラサ
 ルニ付中止スルコトセリ」

第二復員者

(一)御眞影、宮城送拜等(学校ニ於ケル)「神道」メモニ関係ナキヤ
 (二)「茅」部ヨリ、ナシ

(三)横濱ニ於ケル戦犯入裁判見聞ノ印象談トシテ中村少将ヨリ及聞タル所ニ依リ

通譯、辨護何レモ良好ナリ殊ニ三日目通譯「当リタルニ世々尉」如キユレ以上ノモノ
 「キ」難シ、史中評判「ル」モ「世」通譯「優秀」ナリ云々ト「ノ」トナリ

農林省

開拓関係機関等ニ於テ其ノ日常訓練中神道ト密接「不」分ナル行爲ヲ「青」サ「年」
 ニ対シ行「レ」ルカ右「ド」ノ程度及認「メ」ラルモノナリヤ或「シ」全面的ニ中止ス「ヘ」キモノナル
 ヤ「C」L「O」ニテ研究願フ(司法省ヨリ、此方ニテモ類似事項アリ)

(「茅」部ヨリ、右カ「公」機関ナル以上全面的ニ不可ナルヘシ)

大蔵省

(一)物價関係各省連絡協議會近ク突足ノ予定ニテ目下準備中ナリ

(二)の財政再建「メモ」中五千円ヲ超スル金額ノ封鎖措置期限更ニ三十日間
 延期セラルル答ナリ

(三)同「メモ」中封鎖セラルルヘキ戰爭損害金ニ依ル債権ニ付テ「五千円」近又軍需
 産業ニ付テ「一万円」迄夫々封鎖解除ノ許可アル答ナリ

(四)三三六社資産凍結「メモ」ニ関シ、右文面上ニテ「配当」モ亦禁止セラルル



終戦連絡各省委員会出席者名簿 十二月二十四日(月)

官職	氏名	官職	氏名
事務局長	上野 浩	事務局長	中野 浩
文部省	中代 延三	海運局長	中野 浩
一復	石井 良英	復讐局長	石井 良英
二	土井 春三	復讐局長	北井 利雄
厚生	宮崎 俊一	復讐局長	北井 利雄
農林	日野 水	復讐局長	北井 利雄
商工	本田 早苗	復讐局長	北井 利雄
大蔵	大田 英吉	復讐局長	北井 利雄
内務	大田 英吉	復讐局長	北井 利雄
司法	大田 英吉	復讐局長	北井 利雄
情報	大田 英吉	復讐局長	北井 利雄

終戦連絡各省委員会会議事録 十二月二十日(水)

総務部

- 在外帝國公領事館員引揚件(米本國政府移牒スヘシ)
- 浦賀引揚民受入所、收容能力通達件
- 政府ニ依ル米、買上價格ニ関スル件(一石一五〇円五〇%政府支拂許可)
- 五月九日頃廣島憲兵隊本部、居テ其後行衛不明トナル米飛行士ノ所在報告件
- 敵産管理人ノ姓名並住所報告件
- 独人「インソビ、コバト」凍結資産中一部解除許可件
- 東京都経済局建物側、土地ヲ駐車場ニ使用ノ件
- 陸海軍病院ヲ内務省へ移管件回答
- 奄美大島ニ在ル陸海軍人引揚件(不許可)
- 米國ヨリ引揚邦人ノリストノ件(爾後船長ニ携行セムヘシ)
- 「フタカイ」賣却ノ件

○東京九州間、航空施設復旧方ノ件
 ○伊勢新聞、一日間発行停止ノ件
 ○却入ノ北支渡航ノ件(不許可)
 ○宮内省関係係消防自動車ニ関スル件
 (一)二十日中村公使GHQフレチャーレ中佐ト會談中抑参考ノ旨申シテクワン
 トテ戦犯人裁判其他ニ関シ情報披露アリ
第一復員者
 在京城連絡官員引揚ノ件、二十日十七時京城發釜山ニ向ヒタル由、釜山ニテ
 尚五八〇名残留引續キ事務ニ当ルコトナリ居レリ 尚全方面ヨリ近く武闘中佐帰
 来スヘキニ付追テ報告アルヘシ
第二復員者
 (一)十二月十七日佐世保ニ上陸此ノ程帰國セリ北支駐在某連絡官ノ談ニ依リ、上陸地
 ヲ消毒所近約七キロノ間外套一枚裸ニテ連行ヲ強ヒテ竹柄降雪サヘアリ寒氣
 堪シ難クヤリ切レナカリシ由ナリ(MP監視ノ下ニ行ハル由) 本件ニ付テハ予テ改善

方本席ヨリ希望シ置キタリ 厚生省ノ仰配慮重ネテオ願ヒス
 (一)渡辺大佐「ハウエル」ニ會ヒタル処近く大竹海兵團ニ八千人收容トノコトナルカ厚
 生者関係者未タ一人モ着任シ居ラス 森下中将以下忙殺セラレ居レリ 就テハ大
 竹ニ對シ重兵的二早急キヲ打タル様厚生省ニオ願ヒス
 尚右會談ノ際渡辺大佐ヨリ「ハラオ」ニ遺シタル種々西醫療器械ヲ内地ニ持テ
 歸リ度キ旨話シタルニ「ハ」ニ右申請書提出アリ度シト言ヒタリ、追テC.L.O五部
 ニオ願ヒスヘシ
 (二)「ハラオ」引揚者ヨリ及聞、米軍ハ早ク軍政ヲ敷キ度キ意向ナル由
 (三)「ヤッ」引揚者ヨリ及聞ニ依リ、全地ニ尚五八〇名程度残留明年六月迄ニカカル
 ベシ食料、三月迄ニ確保シタル由ナリ
 (四)台湾人送還第一回船那智月二十四日台湾着、MP二四名乗船、船内男
 状ナシ今後状況ニ依リMP減員シテヨロシカルベシ
 尚台湾ニ海軍手持ノ砂糖アリ、セメテ船内用ニテモ使ヒ度キ処正式持出ノ譯ニモ
 参ラサルベシ 就テハ牛場課長辺ヨリ座談的ニ話シ賞フコトスヘシ



終戦連絡中央事務局

(六)十二月十五日迄ニ外地ヨリ引揚邦人八二万人ニシテ今後三ヶ月間ニ一〇〇万人ノ引揚実施目途ツキタリ。現在外地ニ在ル約四八四千人程度ト推定サルル也右様情勢ニテ予想外早ク完了スルヤモ知リス従来LSTノ協力アリ今後更ニ船腹増加モ考ヘラレ^レ調ニ運ブモト存ス。追テ詳細計画披露致スヘシ

(七)昨日ノ卒日ニ國旗掲揚ノ許可アリタルニ拘ラズ実情ヲ見ルニ市内ノ掲揚シ居ラス次ノ元日位ニ大ニ掲揚シタキモノナリ新聞ニモハツキリ書カセタシ

司法省

(八)土屋裁判通譯未熟ノ為延期シ本日土屋證人台ニ立ケ判決アルヘキ旨横濱ヨリ電誑アリ

(九)本日「ウエルナー」中尉当方ニ來リ釋放思想家及保護監察関係「メンバール」ヲ調査ニ行キタリ

(十)札幌ニ於テ米兵ヲ殺害セル不良少年三人ノ件。現地米軍ノ右日本側裁判ニ任スル意向ニテ目下GHQニ照會中トノコトナリ

(十一)函府中ニ於ケル暴行台湾人裁判一昨日八王子区裁判所ニ行ヒタシ也台人数十名同裁判所ヲ圍ミ「デモ」ヲ行ヘリ。此種日本警察ニ依ル取締強化ニシ米側モ

0131

終戦連絡中央事務局

賛同ノ旨先般及同ヘリ右趣旨内務省ヨリ八王子署ニテ傳ヘアリ度シ

○休暇期ヲ控ヘ向後一月立頃迄本會議開催日程作成アリ度シトノ各者意向ニテ總務部了承

了

0132

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会出席者名簿		十二月十六日(水)	
官職	氏名	官職	氏名
審議室	山内 三男	運輸省	今井 梁文
文部省	天野 良英		河毛 一郎
第一海軍省	天野 良英		村上 却夫
第二海軍省	宮内 勇	復興院	松下 徳治
厚生省	渡田 覚		八田 昌明
商工省	本間 早苗	官内省	今井 秋次郎
大蔵省	雨 本 和 雄		
内務省	宮川 藤吉		
司法省	今井 正		
情報部			

0133

終戦連絡各省委員会出席者名簿

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会会議事録 十二月二十七日(金)

総務部

- (一) 左ノ諸件「関シ」モ「シ」ム「接」受セリ
- 。観音寺飛行場以下四飛行場ヲ農地ニ解放ノ件
- 。三菱商事ニ関スル讓渡許可申請回答ノ件
- 。銀行貸出ニ対シテ政府補償ノ件回答(日本名炭及東北製銅ニ対シテ貸出)
- 。在芝浦ニ在リテ能館徴発ノ件
- 。在「ア」ガ「ニ」スタ「ン」帝國公使館員及家族引揚ニ関スル件
- 。進駐軍將士購入ノ土産品ニ対シテ課税ノ件
- 。大蔵省関係ノ公債券ノ發行ノ件
- 。瑞西國ニ在リテ日本刑務官名簿引渡ノ件
- (二) 予テ司法省ヨリ報告ノ札幌ニ於ケル米兵殺害犯人裁判ノ件、昨日GHQ情報部
- 発表ニ依リ、右犯人「米」ミ「リ」タ「リ」コ「ミ」シ「ヨ」ン「ニ」テ裁判スルコトナリタリ
- (三) 年末年始ニ当リ二十八日、三十日、一日、三日、五日本會議休會トス

0134

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

(四) 今般終戦地方事務局担当地域ヲ決定セリ、リスト配布ス

(五) 朝鮮海軍長ヨリ情况報告大ノ通

(六) 食料品輸入問題ニ関シ、各府省部員ヨリ「我々見返輸表物資表携行シ

朝鮮ニ赴キタリ(食料関係事項、外部ヨリ特ニ秘セラレ度シ)

(七) 賠償問題ニ関スル文滞、漸次具件化シツツアリ云々

第二部 (促進)

食料輸入協議會二十九日午後一時開會ス、各府委員出席ヲ傳言アリ度シ、当日議

題「朝鮮見返リ品輸出手段ノ検討」

第一復員者

(一) 在「ハラオ」参謀來電ニ依リ、該地ニ帰還先ヲ失ヘル者相当アリ之カ帰農カニ付現地
廳モ出來得ル限リ援助ヲシツアリ、我々九州四国等温暖地ニ右入植候補地
選定アリ度シ」トノコトナリ、関係者ノ皆盡力願フ

(二) 屢々当局議案トナリタル例ヘハ、石炭問題ノ如キニ付関係者ニ於テ隨時成果
発表セラルル様存望ス、差当リ右倉庫問題ノ外、供米、鮮菓人送還実績及之等

在内地数等承り度シ、右、但シ私見ナリ

第二復員者

(一) 「ボナ」指揮官内藤大佐報告ニ依リ、二十日全地全員引揚出奔セリ、所要航海日
数十二日間ナリ、正月早々内地ニ帰還スヘシ

(二) 島指揮官伊藤大佐報告ニ依リ、現在同島ニ、四百名残留シ居リ右、明シ
一月中ニ父島ニ集合シ上父島、奇隊トテ帰還スル者トノコトナリ

尚母島ニ於テ、食料不足モ爲、合歡ノ木ヲ食セシ、兎頭トナリ由又帰途ナリ
丁ニ於ケル待遇、良カリシトノコト

(三) 「マニラ」ヨリ帰還セル淺田軍医少佐ノ報告左ノ通

現在「ラグラ」湖「キャンプ」ニ七万五千居リ、一日十二時間労働ニ服シ被服一切
先方品(オワタリ)ナリ、食料一日ニ、瓦ナルモ實際、煮炊所員等ノゴマカシテ

リニ五ノ瓦程度ニシテ苦痛ナリ、一日八ノ人程度死亡ス、戦犯人トシテ拘引セラレ
タル、比島住民ノ申告ニ基クモノ多ク、山本、山田、如キボ、ユラシナル名前ノ者多ク

(四) 「アンボン」ニ於ケル濠洲裁判ノ辨護人トシテ二名(民間人、当事者囑託ノ名儀)

終戦連絡中央事務局

昨日濠洲機ニテ立川ヲ出發セリ

(四)現在GHQニ於テ一般ノ私的書信ニ対シ嚴重検閲ヲ履行シ居リ(開封ノ痕跡判ラサル様巧ミニ封ヲナス)右検閲者中ニ邦人女子(海軍未亡人月七〇)トモ使ツレ居レリ(参考考近) 本件絶對毎トセラレ度シ

司法省

土屋裁判ノ件

終身懲役ノ判決アリタリ、八件ニ及ズ、検事起訴事由中

五件ニ無罪、他ノ三件取上ケラレ、右判決アリタル次第ニテ被告ヲ予想外ノ重刑ニ

早然タル由、日本側新聞記者達ノ感想モ右ノ重刑ニ過クトノコトナル由、

情報局

(一)伊勢新聞ノ一日間発行停止ノ件、理由未詳、進駐軍ノ悪口程度ノコトナラズヤ

(二)本日新聞所報ノ新聞供託金廃止ノ件、右ノ内務省警保局長示達ナリ、右ノ

新聞紙法全体ニ亘リ廃止ヲ意味スルヤ(一節廃止ニ誘シ)新聞記事ノミニテハ不明

ナルモ本表ニ関シテハ内務省ニ於テモ未タ決定シ居ラサルヤニ及聞居レリ

航空局

終戦連絡中央事務局

(一)明日ラステ当局癡廳トナル処当初予定ニテ引續キ海運總局ノ下ニ保安部

トシテ存續ノ旨ナリシカGHQ側ニ改メテ遞信院ノ下ニ所居方申シ居リ右指

令々消トノコトナリ(總務部ヨリ、右指令未タ接受シ居ラス)

(二)民間航空禁止ニ関シテ、更ニ三ノ追加指令アルヘシ、右ニ依リ関係施設

研究所等ノ処理モ具体的ニ決定セラルヘシ

3

0138

0137

RA'-0147

0129

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会出席者名簿		十二月二十七日(木)	
官職	氏名	官職	氏名
文部省	小島 龍一	逓信省	井上 勉夫
一 後	三浦 良英	官内省	真田 直三郎
二 前	宮崎 勇		今井 秋次郎
厚生	横大路 俊一		
名物	日野 山		
商工	本田 早苗		
大蔵	村野 七郎		
内務	雨森 和雄		
司法	矢崎 喜正		
情報	今井 一郎		
運輸	山崎 一郎		

0139

総務部

総務課

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会協議事録、十二月二十九日(土)

総務部

表

- 左諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ
- 東條大将裁判證人要求ニ対シ「回答」件
- 電気工學研究所再開ノ件
- 日本ニ於ケル消火器具ニ関シ製造所其他報告ノ件
- 支那ヨリ日本官吏送還ノ件
- 日比谷公會堂附近ノ諸施設徵発ノ件(今回正式「メモ」)
- 海外ヨリ引揚部隊ニ依ル特殊文書持帰リノ件回答(兼「復員省関係事項」)
- 運輸省系各建物徵発除外ノ件
- 支那ニ日本政府官吏派遣ニ関シ「回答」件
- 政府所管ニ係ル離島氣象台再開ニ関スル件
- 日本政府ニ対シ「キロガ」賣却ノ件
- 旧滿洲國大使館建物徵発ノ件

0140

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

(一) 一月六日日本委員会開催ス從テ年頭休會日、一、三、五、尚四日、部長

會同ナレ本委員会アリ

第一部

元日、三日及五日、国旗掲揚ノ件、昨日GHQ側ヨリ口頭ヲ解取付ケアリシ也本日

正式メモヲ以テ異議ナキ旨確認越セリ

第二部

中島英機某子會社ヨリ、依頼ニテ獵銃ノ製造許可方ニ付GHQ意向訊ネタル
処許可困難トノコトナリ右商工者御了知アリ度シ

第三部

第一復員者
暹羅ニ特務機關問題ニ関シ、當方米側ヨリ執拗追テセラレタルコト本席ヨリ報告致シ
置キモ、ルカ最近、主トシテ共產党問題ニ関シ、英「マシヒト」少佐主トナリ、當方内ニ
一室ヲ設ケ、連日、関係者ヲ招致、訊問ヲ行ヒ居ル也、今般、共產党ノ潜入、發展ノ情况
及ニ対スル我々ノ活動機關等詳細ニ関シ、内地及朝鮮ニ付テハ、内務省ヨリ又、伊印及
印度ニ付テハ、外務省ヨリ夫々説明ヲ聴取シ、度ク人ヲ寄越ス、極強要テ、テ

0141

終戦連絡中央事務局

文書ヲ以テ右兩者ニ連絡致ス、ハキモ不取取、即參考迄

大蔵省

GHQニ付テハ、政府ノ強制融資ヲ取止メシムル様意圖シ居ル模様ナリ

商工省

石炭情况ヲ通

(1) 生産情况

十月 二〇〇、〇〇〇噸 上旬 中旬 下旬
十一月 一、一四、二〇〇 一、一七、三〇〇 一、二二、四〇〇
十二月 一、一四、二〇〇 一、一七、三〇〇 一、二二、四〇〇

(十月中期最低)

(2) 労務者数情况

十二月十五日迄、四五、〇八五人確保、同二十日現在、五八、七八四人ニ達シ居リ
本年度八万人ノ予定、大体實現セラルモノト見ラル

情報局

(一) 用紙配給面ヨリ見ル、今後ノ出版情况ヲ通

0142

終戦連絡中央事務局

新聞 日刊モノ東京一、地方一五、週刊其他東京九、地方八種

右ノ中目新レキモトシテ政治的ナルモノ(赤旗、民衆新聞)、婦人新聞、国際的色彩ヲ有スルモノ、際物的ナルモノ等注目セラル

雑誌 正確数字未詳ナルモ新ニ大体一〇種程度、文化的高度ノモノ、改造、中央公論等復刊アリ

情報局 解消ノ件、右本月末ヲ以テ解消ノ件、昨日閣議ニテ内定、本日午後一時半秘密會議ニ於テ最後決定アルヘシ、右解消ニ伴ヒ従来所管事項ハ夫々関係者ニ分割所屬セラルヘキハ差当リGHQ関係中、当方ニ於テ取扱ヒ居リタル用紙統制及新聞誌「リスト」各月報告ハ高工者ヘオ願ヒスル様致度ク後刻打合セ致スヘシ

航空局

一) 当局ニ十八日解消ノ予定ナリシ処未タGHQヨリ指令ニ接セス足踏ノ形ナリ、二十一日ヲ以テ官制廃止方手配中ナルカ一兩日中指令ヲ俟ケル上正式決定ノ筈ニ現在運行ノ定期飛行状況大々通(本日立川ニテ調べ)

0143

終戦連絡中央事務局

手持飛行機十二台アルモ最近DDTノ国内輸送及米軍持官級ノ移動頻繁ニシテ此ノ毎五機ヲ要ス、仙台ニ三機、千歳ニ一機故障休航、發動機入替ノ為ニ機休航、結局日本人輸送用トシテ都合良クシテ一日一機ノ現状ナリ、故障機復旧ハ尚三週間ヲ要ス、コクイヤレ復旧ハ其ノ上ノコトナリ、尚本日立川ニ於テ米輸送機(C46)ニ搭乗ノ機ヲ得タリ、コノ機トシテ具備シ右リ技術上相当進歩セルモト見ラレタリ

3

0144

終戰連絡中央事務局

終戰連絡各省委員會出席者名簿			十二月二十九日(土)		
官職	氏名	官職	氏名	官職	氏名
外務省	岩井 俊	情報局	今井 正		
海軍省	上野 浩	運輸省	伊崎 守人		
文部省	荒木 和之	物産院	泉 孝三		
一級	三宅 良英	航空局	伊上 輝夫		
	北山 英房	宮内省	今井 秋次郎		
連絡官(二)	柳 日孫夫				
衛生局長	島村 利克				
農林省	井野 隆一				
商工省	本田 早苗				
大藏	野村 七郎				
内務	大田 正吉				
司法	岡 之				

0145

終戰連絡

終戰連絡中央事務局

終戰連絡各省委員會議事録		十二月三十一日	
事務部	内容	事務部	内容
大	諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ		
	中島飛行機會社附居宿舍使用ノ件回答		
	外交官及領事官引揚ノ件		
	一月一三、五日ニ國旗掲揚ノ件		
	台湾人送還ノ件(厚木附近ノ台人ヲ優先的ニ取扱フヘシ)		
	瑞西公使館連絡事務ノ件		
	日本水路部執務續行ノ件		
	伏世傷及朝鮮支那間通航リス下ノ半分ノ間三十隻ニ限定ノ件		
	外務省ニ於テ日産日レ建物使用ノ件		
	資金移轉ノ件		
	ソ聯領地域ニ於ケル邦人ノ保護及帰還ニ関スル件(本國政府ニ傳達セリ云々)		

0146

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

○生活必需品ノ價格及分配統制ニ関スル件 回答
 ○占領軍不法行為ノ件 回答
 ○「セントリ」カレッジノ建物撤去除外ノ件 回答
 ○聯合國ト戦争状態ニテリシ國民ノ救助ニ関スル件、配給品ニ関シ(軸外人救済ノ件)
 ○衆議院議員選挙ニ関スル件
 ○台湾人送還ニ関スル件(順調ナラス、京都地区台人ヲ吳ニ集結セシムル云々)
 ○和歌山縣下ニ於ケル「リセプションセンター」候補地ニ関スル件
 ○資金移轉ノ件
 ○海王丸航行ニ関スル件
 ○金、銀、白金、ダイヤ、アモンド使用ノ許可ノ件
 第一復員者
 聯合軍進駐チカノ件ニ関シ「マンソン」大佐(有未、機関私的及陣ニ依リ、英本國ヨリ通牒アリシモ、米本國ヨリホシナシ又支那ヨリ結局進駐ナキニ非ヤトノートナリガ本件)「マンソン」自身モ未ダ明確ニ承知シ居ラザル模様ナリ

0147

終戦連絡中央事務局

情報句
 (一)在島松米軍第二四師團ノ明査選挙ノ立候補ニ対シ立候補演説九日以前ニ該演説ノ内容草稿ヲ同師團ニ提出スル様布告セル旨當ノ立候補者ヨリ及聞ヒタルカ實際上困難トヘント存ス、右ニ第二四師團管下ノ四國ノ「ノコトナリ」或ハ全國的ニ然ルヤ存セサルモ不取敢内務省ヲ参考ス
 (二)本日ヲ以テ情報局解消ス
 海運總局
 米國ヨリ「リバティ」型貨物船百隻貸與使用スルコトナリ、二隻(五ノ噸ナリ)第一船一月上旬迄航予定、主トシテ横濱ヨリ九州方面太平洋洋岸ニ航航ス
 航空局
 昨日附ヲ以テ当局解消シ保安部トシテ通信院ニ属スル旨昨日ノ閣議ニ決定セリ、但シ右ニ關シテ「ホシ」等「G」等ノ正式承認ヲ得居ラス、即チ「G」等ニ対シテ「覆」三十一日迄ニ当局廢止上ニ海運總局ニ輸入トシ度キ旨當方覺提出シアル、G」等航空參謀右承認セルモ「ESS」等「G」等ニ對シテ通信院所屬ナラザル硬

0148

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0147

主張せる未々式許可決セサル等ニテ此ノ間「コリケート」ル問題アリ何レニモ本件発表ハ今暫ク見送ルコト致度シ。尚本日打診セル依シハ夫方メモハ航空参謀長ノ許ニストゾ「ハ」ル様ナリ

終戦連絡中央事務局

(3)

0149

終戦連絡各員委員会出席者名簿		十二月三十一日	
官職	氏名	官職	氏名
功園室	上野 浩	文部省	松永 永
農林	上野 浩	厚生省	安野 英
商工省	上野 浩	運輸省	松田 寛
大蔵省	上野 浩	内務省	上野 浩
内務省	上野 浩	陸軍省	上野 浩
海軍省	上野 浩	航空	上野 浩
逓信省	上野 浩	官内省	上野 浩

終戦連絡中央事務局

0150

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0195

終戦連絡

終戦連絡各省委員會議事録

一月二日

終戦連絡中央事務局

総務部

- 在諸件ニ関シメモランダムニ接受セリ
- 修身・歴史・地理ノ教授停止ノ件
- 米軍七空軍通譯山中豊吉ノ給料決定ノ件
- 閉鎖機関ノ代行者トシテ暫定的ニ日本銀行ヲ任命ノ件
- 日本ニ於ケル「ロエスモット・ミンシオン」ノ資金ニ関スル件
- 日電産業株式会社ノ株式交換許可ニ関スル件回答
- 安藤 奎ノ預金解除ノ件
- 造船社ニ於ケル些力働時間ニ関スル件
- 瑞豊政府ノ依頼ニ依リ文書傳達ノ件
- 東京中央野野 局ニ階一八〇〇平方呎徴発ノ件
- 日本官吏四名ヲ台湾ニ帰還セシムル件回答(不許可)
- 帝國生命更物ニ階ヨリ八階迄徴発ノ件

0151

終戦連絡中央事務局

- 某所(不詳)空地徴発ノ件(CLO四部ニテ確メラレ度)
- 聯合國及中立國ニ対スル石炭供給ノ件
- 日本ヨリ非日本人送還ニ関スル件(列車ニMP同乗ノ件ニ関シ)寝台車等連結スル
- 加奈陀ニ於ケル帝國文書及財産引渡ノ件(瑞豊政府宛文書ヲGHQニ提出スルニシテ)
- 英政府ノ為メ九州ニ於ケル石炭供給ニ関スル件
- 比島ニ於ケル特定日本人ノ消息照會ニ対スル回答ノ件
- 支那ヨリ日本官憲引揚ノ件(十二月二十三日付「メモ」補足)
- 朝鮮人送還停止ニ関スル件(三十日付)
- 民間人ノ沖繩旅行申請回答ノ件(好意的考慮ナシ難シ)
- 商業及民間航空ニ関スル件(民間所有飛行機ノ数及場所等報告スルニシテ)
- 「アスカニア」株式会社ノ資金一部解除ノ件(退職金及「ボーナス」用トシテ)
- 「H.アーレンス」株式会社ノ資金解除ノ件(不許可)
- 「オレスティ・バカリ」ノ資金解除ノ件(生活費其他特定ノモノ許可)
- 海外同胞援護會申請回答ノ件(代表者八名南群航ノ件好意取扱ヒ難シ)

0152

RA'-0147

0196

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

○三菱商事及三菱本社建物徴収件

○持株會社解散件(三井岩崎)母体住友家族生活費及税金支拂(三井岩崎)

(三)先般(復員者)ヨリオ訊アリシ朝鮮人ノ帰郷持込金一件、目下トコロ全然不明ナリ又本件ニ関シGHQニ対シ照會セルコトモナシ(一)復員者了解)

農林省

(一)供米情况大ノ通

十二月中旬箱好轉、下旬更ニ好轉セリ、中旬迄ニ全割当量二千六百五十九万一千石

ノ一五・六%、(四)五万五千七百石(前年同期一三・二%、割当一三・七%)

供米アリ、但シ前年ノ約半分ナリ、之ヲ地域別ニ見ルニ関東地廻リ及東北地方

ワルシ、青森県ノ如キ一五%(前年度五七%)、宮城県一三%(二六%)、

茨城二・九%(二七%)

現象トテ之ヲ見ルニ自県ニテ賄フ事情ニアルモノ乃至他県ヨリノ移入ニツモノ即チ

一般ニ消費昂ニ於テ供米成績ノ良好ナリ、群馬ノ如キ四三%(前年一五%)、

兵庫四三%(二二%)ナリ、右ニ供出ニ関スル県「ブロッ」傾向ノ現レト見做シ

得ヘシ同時ニ政府、農事局、権威失墜、一般ノ反抗、反政府の風潮ノト見做シ得ヘ

シ右原因トシテ所謂農村地廻リ(羽織)カ自己ノ政治的地位確保ノ爲ニシテ政府攻撃

乃至農民ノ反感轉ニ嫁策動等興リテカアリ、

供米情况右ノ如クナレシ今後四月末ヨリ五月辺リカ赤字トナルヘシ

(二)東予都ニ於テ食料事情大ノ通

十二月二十日東京へ入一〇、六二〇石(麦其他雑穀ヲ米換算シ含ム、以下同シ)、同日

配給九五三三石、同日現在ニ於ケル手持四五〇九二石ニテ五・六日分ノストックヲ有スル

ニ過キス(尤モ十二月中旬ストック二日半乃至三日分ナリキ、因ニ安全ナル最小ストックノ量

ハ十五日分ナリ)之カ解決策トシテ米國ヨリ相当量ノ小麦輸入期待セラルルハ右輸

入ノ次ノ如キ理由ニ依リ悲觀的ナリ

①米國側業者ニ熱ナシ(儲カラストノ見透シニ依リ)

②反対供付トシテ生糸ノ輸出ニ付本邦業者足踏ミ形ナリ(米側ノ「ボイコット」ヲ悞シ)

③GHQノ意向トシテ日本ノ近ノヨリ先ヅ輸入セシムル模様ナルカ朝鮮、泰、佛印

ノ情况思ヒシカラザル現状ナリ、殊ニ朝鮮ノ如キ絶對量ニ余裕アルハ明瞭ナルニ

拘ラス(所請従来ノ飢餓輸出ニ因シ目下ニ付ケヨリ朝鮮ニ存官派遣調査中ナリ)

治安混乱(所要事務統制)能力ノ無力等ニ依リ蒐査買付困難ナリ

(三)肥料事情

燐礫石ノ輸入ニ関シテハ相当期待シ得シ、我方期待以上ハ。ノ順輸入ノ詰サハ
アル位ナリ。輸入支支那、印等、支那ヨリ輸入速早ノ實現スヘシ

(3)

0155

終戦連絡各省委員会出席者名簿

月二日

官職	氏名	官職	氏名
大正事務員	増田幸一	外務省	上野 隆
一 復	安野英夫	逓信省	安室直三郎
二 復	上井泰三	航空	井上 謙夫
厚生	横大路俊一	運輸	印崎 幸人
農林	日野北一郎		
商工	本田早苗		
大蔵	杉本 昭		
司法	篠川 吾		
運輸	紅村 武		
管内	入井 秋次郎		

0156

終戦連絡中央事務局

一月四日(金)

終戦連絡各省委員會議事録

総務部

左ノ諸件ニ関シメモランダムニ接受セリ

(略)

第一部 柏村課長ヨリ

過去政治活動ニ於ケル極端ナル国家主義者ヲ公職ヨリ除去セムル件及各種国家主義団体解散ノ件ニ関シ指令アリタリト云々及披露タル通リト前提ノ上右両指令ノ内容、語句等ニ付説明アリ

第五部

朝鮮人送還差止メラレアリシ処本日ヨリ再開セムル旨「ハウエル」大佐ヨリ口頭連絡アリタリ、但シ佐世係ニ於ケル制限ニ従来通り

大蔵省

封鎖預金解除ノ件ニ付旨今メモ披露アリタリ、本件至精申シエケルン
財政再建メモニ依リ軍需産業及戦争利得ニ依ル債権一應全部封鎖セラレ

終戦連絡中央事務局

0158

先トテ承認ノ通ル処本邦至前ノ運営及小額所得者ノ保護等ノ見地ヨリ右一部解除ヲ予テ米倒ト折衝ノ結果今後戦争損害ヨリ生ズヘキモノニ付テハ五午内迄又軍需産業ヨリ生ズヘキ債権ニ付テハ一午内迄解除許可取付ケルルカガナリ、他方従来封鎖セラレシモノニ付テハ日常生活費トシテ月三百円迄又家屋買入、修繕等トシテ五午内迄同様解除トナリタリ
尚本件法的措置方ニ関シテ、ホト若干疑義モアリ(軍需産業ノ定義、如キモ未定ナリ)直ニ法的措置ヲ執リ難キ要、銀行ノ窓口運送等ニ於ケル当座ノ円滑ヲ期セハ足ル、詳細ニ追テ指令ニ付説明申シ上ノハ、本件ノ各省関係事項ナレハメモノ廣汎配布ヲテ願ヒス

司法省

農林省へ、食料加配方ニ関シ刑務所内ニ在ル朝鮮人駭ヤ居レリ、台湾人ニ付テハ既ニ決定済ナルカ朝鮮人ニ付テハ何等特別取扱リコトアリヤ

(農林省ヨリ、調査ノ上回答スル)

朝海課長ヨリ、實際上、各地ノ廳ニ於テ按配シ居レニアラズヤ

0157

終戦連絡各省委員會出席者名簿			
官職	氏名	官職	氏名
審議員	上野 浩	復興院	井上 謙次
文部初	中込 正三男	無役	八田 昌明
一級	安部 英夫	官内者	真家 直三郎
二級	柳 守		長形 健一
原正初	志村 利雄		
農林初	井野 隆一		
商工	本田 早苗		
大蔵	野村 胡堂		
外務	雨森 和雄		
司法	喜川 藤吉		
逓信	坂本 龍		
その他	石村 武		

0160

終戦連絡中央事務局

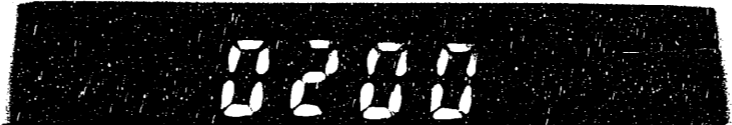
月四日(金)

通信院(検)									
通信院ニ関シメモアリタルコト失刻披露アリテ、右ノ主トシテ本印ト本印周辺ノ地域及海外トノ電報電話ニ関スルモノナリキミトテ内容説明アリ									
(3)									

0159

終戦連絡中央事務局

RA'-0147



外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡各省委員會議事録

終戦連絡各省委員會議事録

一月七日(月)

終戦連絡中央事務局

総務部

左ノ諸件「関シ」メモランダム「接受セリ

。山口縣運物徴発免除ノ件

。中村大佐以下三名戦犯人トシテ巣鴨拘留所へ引渡ノ件

。日銀ニ在ル米將校勘定ノ名儀振替ノ件

。引揚却人持帰り金ニ関スル件(野戦郵貯差支ナシ)

。奄美大島ヨリ引揚ノ豊島丸以下四日本船及「マリア」ヨリA 29号乗船引揚民名簿通達ノ件

。(以下略)

大蔵省

「封鎖預金解除」メモ中資金承認取付ニ付テ「個々企業乃至會社ヨリ申請スル様規定セラレタル」右ニテ「實際上不便多キ付」一應「日銀ニ於テ基準(理由)」ヲ定メ

終戦連絡中央事務局

0162

司法省

右ニ対シ「GHQ」ニ同意セハ個々申請提出セズシテ「清」様目下詐合中ナリ、右決定セシ本~~件~~資金ニ付テ「第」軍死提出セラルヘキ「氏」需産業ヘ「轉換」申請書ニ之ヲ附記スル「足」リ「コト」ナル者ナリ

(一)同指令中「政府」代理「機関」ニ「目下」個々「付」折衝中

過日「星條旗」紙ニ掲載サレタル「前橋」ニ於ケル「人肉事件」ニ関シテ「現」地「米軍」モ右ヲ以テ「日本人」ノ「残虐性」ノ「左證」ト「見」地ヨリ「重視」シ「第」七「師團」法律部長「ゴ」ツ

マン「大尉」前橋地「裁判所」ニ付「調査」行ケリ、目下「判明」サル「事件」内容「左」ノ通

「継母」某「十七」才「ノ」娘(痴呆ナリ)ヲ「絞殺」シ「自分」及「実子」ニ「其」ノ「肉」ヲ「喰」シ「メ」タ

●「犯人」(「継母」)「公判」ニ「於テ」モ「右」事「実」ヲ「認」メ「タリ」理由「夫」老「ケ」春「ニテ」家「族」飢「ヘ」タル

ニ「依」ル「ト」糸「ス」同「人」ニ「付テ」目下「精神」鑑定中ナリ、詳細「追テ」報告「致」ス「ヘシ」

運輸省

数日前「マン」シ「機関」ヨリ「直接」当「方」(「大臣」宛「ト」存ス)ニ「対シ」「鉄道」従「業員」労働「組合」ヲ「結成」セシ「ル」様「又」主要「幹線」ノ「ストライキ」ニ「為」サ「ル」様「要請」致「シ」タリ

0161

○在京城連絡部長タリシ菅井少将ヨリテノ要旨報告アリタリ

(同少将、連絡部トモニ客月ニテニ京城引揚三十日帰國セリ)

一)米軍進駐以來ノ米軍首脳部ノ対日態度

九月四日米軍先発隊十八名来リ同日ハリス代将以下京城ニ進駐セリ、当初極メテ高圧的、相当敵愾心ヲ示シ且ツ日本軍ニ対シ警告心ヲ露骨ニ示セルモ我々態度ニ依リ爾末緩和シ頗ル友好的トナリタリ、尤モ米軍ノ国策的重要問題ニ関シテハ仲々強硬ナリ最近米軍首脳部ハ鮮人持メ足ラズトノ念ヨリ我々ニ対スル同情心ヲ傾向強クナリツツアリ、米側ハ鮮人ニ愛想ツカシクシテ実情ナリ

二)鮮人一般ノ対日態度 飼犬ニキチラ嚙マレタル如シ、日鮮提携ヲ希念スル分子ナキニ非ルモ現在ノトコロニテ地下ニ潛入シテ時期ヲ待ツ外ナシ

三)当連絡部ニ対スル鮮人ノ態度 当連絡部ニ対シ米軍好意的タルト逆行シ鮮人一般ノ対米態度、当初米ニ期待スル所甚大ナリシモ所謂独立ノ夢ヲ破レ現実米軍ニ依リ政治指導ヲ経験スルニ及ビ最近ハ不満足タリ、各党派ハ乱立シ獨立運動ノ如キ支離滅裂ナリ

鮮人一般ノ右ヲ以テ却テ当部ニ対シ憎悪心ヲ増シタリ

(四)三八度以北ノ一般情勢 遺憾下ラ推感スル情報ナシ、個々脱出者ノ話ヲ綜合スルニ極メテ悲惨ナリ、寒氣及飢餓ノ存乳幼瘦、恐ラク全部助カラザルヘシ

北鮮ニ物資ト金トヲ持込ミ救出スヘク(米軍黙認取付ケタリ、但シ本島外トサレ度)種々努力カセルモ「聯側不誠意」ニ取付ク島ナキ有様ナリ

平壤附近ニ相当数ノ邦人集結シ居レリ、男女子ノ多数他所ヘ運ビ去ラレタル如シ

(五)三八度以南ニ残留ノ邦人情況 北鮮ニ比シ良シ、当連絡部引揚後、日本人世話會主体トナリ種々活動シ居ルモ同會相当所有金ハ凍結セラレアリ思フ様ニ行カサルヘシ、殊ニ客月ニテ日日本人ニ対シ十日間以内ニ撤去命令(放送アリ)ナドアリタル事情ニ鑑ミ、恐ラク甚イ目ニ遭ヒ居ルモノト想像ス。南鮮ニ残留シ約五分雜居シ居ルモノハ過半数ナリ、京城附近ニ五分程度ト推定セルニハ過般登録セル七十ニ過キズ右ハ一身ノ危険ヨリ其ノ所在ヲ隠シ居ルナルヘシ(特ニ不動態等ノ町有希)

(六)引揚帰還者ヲ温ク迎ヘタル様切望ス

終戦連絡各省委員会出席者名簿

十二月七日(月)

官職	氏名	官職	氏名
秋田県 知事	中村長一郎	運輸省	今井 道三
岩手県 知事	上野 性	郵政省	河島 健雄
宮城県 知事	牛込 延三男	復讐院	八田 昌明
秋田県 第一種 官舎	天 野 良英	復讐院	尾形 健一
秋田県 第二種 官舎	に っ 英男	官舎	
秋田県 第三種 官舎	土井 辰三		
秋田県 第四種 官舎	横大路 俊一		
秋田県 第五種 官舎	日野 山 司		
秋田県 第六種 官舎	本 田 早 彦		
秋田県 第七種 官舎	村 山 七 郎		
秋田県 第八種 官舎	大 岡 幸 三 郎		
秋田県 第九種 官舎	宮 川 藤 吉		
秋田県 第十種 官舎			
秋田県 第十一種 官舎			
秋田県 第十二種 官舎			
秋田県 第十三種 官舎			
秋田県 第十四種 官舎			
秋田県 第十五種 官舎			
秋田県 第十六種 官舎			
秋田県 第十七種 官舎			
秋田県 第十八種 官舎			
秋田県 第十九種 官舎			
秋田県 第二十種 官舎			
秋田県 第二十一種 官舎			
秋田県 第二十二種 官舎			
秋田県 第二十三種 官舎			
秋田県 第二十四種 官舎			
秋田県 第二十五種 官舎			
秋田県 第二十六種 官舎			
秋田県 第二十七種 官舎			
秋田県 第二十八種 官舎			
秋田県 第二十九種 官舎			
秋田県 第三十種 官舎			
秋田県 第三十一種 官舎			
秋田県 第三十二種 官舎			
秋田県 第三十三種 官舎			
秋田県 第三十四種 官舎			
秋田県 第三十五種 官舎			
秋田県 第三十六種 官舎			
秋田県 第三十七種 官舎			
秋田県 第三十八種 官舎			
秋田県 第三十九種 官舎			
秋田県 第四十種 官舎			

0165

総務部

支

終戦連絡各省委員會議事録

一月八日(火)

終戦連絡中央事務局

総務部

左ノ諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ

。財閥清算委員長推薦ノ件回答(差支ナシ)

。英軍(蒙新蘭軍ヲ含ム)進駐ニ関スル件回答
(朝海課長ヨリ本件ニ関シ米側ヨリ得ル内話ニ依リ進駐英軍ハ地域別管
轄ノ形ヲトラス謂バ「コミニテ進駐シ来ルヘク我々ト直接接觸スルハ依然
米軍將校タルヘント由ナリ)

。マニラ「カコロ」等旧委任領土人ノ本邦ヨリ帰還ノ件

。台湾放送局ノ周波数ニ関スル件(復員者ヨリ問合せニ対スル回答)

。日産株式会社ニ対スル石炭配給ノ件回答

。マニラヨリ引揚船々客名簿通達ノ件

。沖繩島ヲ除ク琉球ヘ引揚輸送ニ関スル件

。香港ニ在ル四百人ノ邦人ノ引揚ニ関スル件(台湾上陸ニ付テ中國側ニ連絡スヘシ)

0166

RA'-0147

0203

第五節

終戦連絡中央事務局

口今披露アリタル琉球人引揚ノ件ニ関シ日本會議終了後厚生省主宰トナリ関係省協議致スヘシ

第一復員省

(一)他用東北地方ヲ巡遊シ見聞シタル所抑参考迄

。某縣國民學校校長會議ニ於テ今後祝祭日ニ一切國旗ヲ掲揚セザル様申合セラるニシタル趣ナリ

。地方一般ニ思想混乱甚ダン國民ノ向フヘキ所ヲ適當形式ニテ當リ障リ

ナキ様明確ニシヤリ度キモノナリ

。農民ノ米、金共ニ豊富ナリ、闇値ノ高キト中央ト同様

(二)本日某人ヨリ及聞ニ依リ原町田ニ於テ各人ニ對シ食用油一升宛又各家庭ノ男子ニ對シ軍服一着宛ノ豪華配給アリタル由ナリ

(三)CLOニオ訊ネ致度シGHQ許可取消ノ事項ニ對シ他ノオニ國例ヘシ
中国政府ニ於テ許可ヲ與ヘサル如キ事例アリ、当方關係外國通貨許可問題

0167

終戦連絡中央事務局

此種事例ナリ、此英聯合國例ノ統一如何ニ相成リ居ルヤ (オ語シ)

(總務部ヨリ) 中国政府ノ意向カ最後決定タルコトアリ得ヘシ 事例ニ付テハ 當方ヨリ通シ文書ヲ提出セラレ度シ、復員省有了解ス

運輸省

昨日申上ケタル 鉄道労働組合結成ノ件、更ニ帰省ノ上調査シタル也 経緯

左ノ通判明セリ

要義ニ本件ニ関シ 遞信院GHQ間ニ話合アリタル旨聞及ビタルヲ以テ 當方ヨリ

「パソソ」ニ通シ GHQニ照會ヲ為シ、右ニ對シ「コ」ヨリ昨日申上ケタル趣旨

文書ニテ申越シタル次第ナリ、尚右文書ニ依リ「主要幹線」ニ聯合軍使用

ニ關スル限リノコトナリ

(遞信院ヨリ) 本件ニ關シ 當方正式指令ヲ得居ルニアラス、右ニ當方促進委員會トGHQ間ト「協定」ノ如キモノニテ右協定中「ストライキ」一件去々ノ一頂挿入セラレタル次第ナリ

航空局

0168

(一)航空局ノ廃止伴フ航空保安部ノ所屬ノ件ニ関シ五日ノ放送、星俤覆紙及朝日新聞所掲ノGHQ命令違反云々ナル記事、失当ナリ、本件ニ関スル二日附指令、保安部ヨリテ海運總局ノ下ニ属セラル、將來輸送ニ関與セシムル結果トナルハキニ付許リシ難シトシ、更ニ前記放送及新聞、省界言及シ居ラザリシモ右指令ニ、保安部ヨリテ通信院ノ下ニ於テ事業續行スヘキ旨指示シ居レリ、右事業内容等ニ付テ目下GHQト打合セ中ナリ

(二)昨日仙台飛行所長ヨリノ及聞ニ依リ、同地ニ從來米空挺部隊ノ根柢地ナリシ也昨日辺リヨリ多數ノ飛行機集結シツツアリ今後航空部隊設置セラルニアラスヤ(目的未詳)トノ由ナリ

通信院
倫敦ト無線電信 十日ヨリ開始セラルヘシ
桑港ト無線電話 十日ヨリ取扱開始(予約申込判、三分間一八〇円)セラ
ルヘシ、但シ右何レモ進駐軍専用ナリ

終戦連絡各省委員会出席者名簿 (一月八日火)	
官職	氏名
官職	氏名
省長	長岡 謙
閣僚	小島 謙一
第一部長	天野 良英
第二部長	江川 英男
第三部長	土井 新三
第四部長	横大路 俊一
第五部長	日守 小三郎
第六部長	西角 高彦
第七部長	木田 早苗
第八部長	杉本 七郎
第九部長	大田 英吉
第十部長	大田 英吉

終戦連絡各省委員會議事録

總務部

一月九日(水)

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員會議事録
總務部
一月九日(水)
終戦連絡中央事務局

(一) 左ノ諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ
 ◦ 明年度政府予算提出ニ関スル件
 ◦ 戦犯人トシテ泰法務少佐引渡ノ件
 ◦ 芝信託組合建物徴収ノ件
 ◦ 日銀「ダウソン」中尉名儀勘定振替ノ件
 ◦ 「マニラ」ヨリ引揚船A一七号船名簿通達ノ件
 ◦ 山口貯水池建物徴収ノ件(現在ソノ意向ナシ)
 ◦ 進駐軍ヨリ受取書取付ノ件
 ◦ 都市(十万人以上)ハ人口集中防止方ニ関スル件
 (三) 京都事務局ヨリ進駐軍用狩獵用散彈獲得方ニ関シ依頼越アリ農林省山
 林局ニ既ニ連絡済ノコトト石ス
 (農林省ヨリ、帰省ノ上確メ見ルヘン)

0171

終戦連絡中央事務局

(三) 奄美大島ノ帰属ニ関シ、昨日内務省ヨリ「オ」訊ネアリタル「同島ヲ外地トシテ取扱フ云々」ノ件、「併帰リ金」問題ニ関シ「テ」ミ「コト」ナリ
 (牙) 復員者ヨリ、同様事例父島ニ付「オ」アリタリ、奄美大島ニ関シ「テ」更ニ「選別等」ニ関シ「テ」モ領土外トス云々」ノコト及「聞」居ルカ此ノ英内務省ヨリ「明確ナル」ト「コ」承知致度シ内務省ヨリ「ヨ」確「マ」ル「上」帰返事スヘン
 (四) 朝鮮海軍長ヨリ、過般宮内省ニ対シ「G」H「Q」例ヨリ「上」奏及「内」奏「関」係「資」料「ノ」英「検」方「要」求「ア」リ「タ」ル「カ」右「各」者「ミ」関「係」ス「ル」事「項」ナ「レ」ハ「抑」合「置」相「成」度シ
 第二部
 朝鮮人ニ三十名位(毎日東京発五列車ヲ占領シ九州ハ買出ニ出掛ケ居リ暴カヲ以テ邦人ヲ締め出シ居ル由運輸省ヲ承知ナリヤ
 (運輸省) 具体的事例聞キ居ラガレモ早速調べ見ルヘン、事実トセム内務省ノ盡カヲ「オ」願ヒス「ル」コト「ナ」ル「ヘ」ン
 (不法)
 司法省ヨリ、最近事情ヨリ推察スルニ「鮮」人「連」捕「ハ」日「本」側「ニ」テ「可」能「ナ」ル「モ」裁「判」シ「結」局「日」本「側」デ「ハ」出「來」ガ「ル」模「様」ナ「リ」

終戦連絡中央事務局

0172

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0206

内閣大東軍戦争調査會

昨日閣議ニ依リ今後当方名称「戦争調査會」トス執務上ニ於テモ大東軍戦争ナル名称ニテ「今次戦争」ト改ムコトナリ

茅復員者

奄美大島帰属問題、昨日ノ閣議ニ於テモ論議セラレタル由ナルカ右ニ閣議シ同島混成旅團長高田ヲ將ヨリ別途現地事情ヲ話シ願フコトスヘシ、尚同ヲ得明日外務省ニテ報告アル旨ナリ、内務省側亦出席相成ル様

高工少省

統制會ノ改廃ニ関シ、当方閣内鉄鋼統制會以下三件廃止ニ決定セリ残余ニ付テハ処理方未定ナリ、尚右廃止セラレタルモノニ付テモ機構、其儘トシ自治團體(例、鉄鋼協談會)ノ形ニ於テ必要ナル統制ニ當ラレル譯ナリ

司法省

茅復員者ニオ訊ネ致度シ、北支特別警備隊、特務機隊、ヤ或、普通部隊ナルヤ、又終戦当時ノ臨時憲兵隊如何

終戦連絡中央事務局

0173

終戦連絡中央事務局

0174

(茅)復員者ヨリ、前者憲兵隊ナリ、實際上、混合シ居ルモノト存ス、明確ナルトコロハ

調査ノ上確答スヘシ、後者、全く素人ノ臨時ナルモノナリ

朝田課長ヨリ、臨時憲兵ニ付テハ当時米側了解情ナリ

(二)札幌ニ於ケル米兵殺害事、詳細大ニ通

十二月十九日午前時米兵

(13オ)札幌地方帝室林野局倉庫(米軍ノ

軍需品倉庫トシテ使用中)ニ於テ米軍用銃剣ヲ以テ下腹ヲ刺サレ死シ居リタリ

道々MPト連絡ノ上現場検証ノ結果、現場ニ落ケアリン大型「ハンカケ」ヨリ足ツキ捜

査ノ未、北方農耕團ニ居リシ(18オ)

ノ三名犯人トシテ逮捕セラレタリ、即々当夜食料品盗出ノ名、三名共謀シテ該倉庫

庫ニ押入りタル也、捕ヘラレタルヲ速早ク逃亡セル、再ヒ引キ帰シ来リ

ヲ救助セントシテ倉庫中ニアリシ銃剣ヲ以テ「ヲ刺シタルナリ

本件ニ関シテ、現地米軍司令官「ブルース」少將、非常ニ理解アル態度ニテ

「自自身トシテ、日本側ニ裁判ヲ任セ度キモ」徳GHQニ確マル要アリトテ確メタル

結果前記ノミ、之ヲ「第八軍」ヨリタリ、ミッションニ引渡スコトナリタル

終戦連絡中央事務局

次等ナリ尚他ノニ名ニ付テ「ア」日本側裁判ニ任セ度シト言ヒ居ル由ナリ

(三)京都地方裁判所石原判事罷免ノ件
 本件御承知ノ通ナル也京都地方裁判所長兼守軍「スホ」大佐ニ會
 ヒタルカ「本件」^{（三）}ナリ云々ノ注意ハ京都警察部長ニ送達シ居リシ
 ミニテ從テ石原判事ニ「氣毒ナル結果トナリタリト」旨語レル由

(四)商工省ハオ訊ネ致度シ「フローカー」某当方ニ来リ当方證明書ハ午
 GHQニ赴キ大量「カソリン」買付タリト申立テ居ル也然ルコト可ナルヘキヤ或ハ
 インキ詐欺ト見做スヘキヤ本件「過般」ノ「メモ」ニモ「原住」アルヤニ存ス

(高土)者ヨリ該品ニ関シテ石原販賣取締規則アリ右ニ依リ配給制板戻ヲ
 通シ割当指定販賣セラルル建前ナレバ「当方」関知スル限リニ於テ「構成」上オ語ノ
 如キ者ノ介在スル余地ナシ

0175

終戦連絡中央事務局

○奄美大島旅團長高田少将ノ現地談要旨ヲ通

(主トシテ同島ノ帰居問題ニ関シ)

○本群島ハ其ノ地理的地位ヨリシテ東京GHQ命令系統上最モ辺隔ノ地ニ置カ
 レアリ仍テ後述^{（一）}如ク現地米軍ニ於テ本群島ノ日本帰居ニ付漸次認識ヲ深メツ
 ツアル折柄右現地軍ノ空気が此ノ際「マ」え師自身ニ徹底セシムル最モ重要ト存ス
 ○曩ニ同地ニ於テ選挙人名簿作成ノ指令ヲ接受シ同島帰居問題解決シタリ
 トテ慢ヒタルカ右最近再々取消サレル趣「ナカ」詳細何レ關係方面ヨリオ同致度シ
 ○「スナル」カ右大将以下進駐ノ当初ヨリ武容交付、復員問題等凡ユル折衝ノ機
 會ヲ利用シ重兵ヲ盡ク帰居問題ニ置キシカガ右他ニ譲歩シ以テ米側ノ認識ヲ
 促スコトニ努力セリ、文書上「北半球」トシテ拒絶シツグケ^{（二）}「連」得タリ

○現地ニ於ケル帰居問題ハ好轉シ居レリ、我領ナトシテ殘シ得ル可能性アリ即チ
 米軍ニ依リ現地住民ノ宣撫工作弱化、米軍進駐意圖ノ殆ンド感セザルモト及
 航行禁止境界ノ変更等其ノ左證ト考ヘラル

○同島住民ハ本邦帰居ヲ切望シ居レリ

0176

RA'-0147

0208

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡各省委員会出席者名簿 一月九日(水)			
官職	氏名	官職	氏名
総務局長	中村長一郎	副総務局長	榎本善良
文部相	上野浩	文部次官	田昌明
一任	白井中佐	文部事務官	尾崎健一
	多田中佐		
	北川中佐		
二任	高田少佐		
厚生	植大路俊一		
福二	雨角事務官		
内務	大田英三		
司法	宮川藤吉		
運輸	今井下官		

終戦連絡中央事務局

0178

終戦連絡中央事務局

○同島の価値、砂糖生産地ナリ、米二圃(一モ作早稲、二モ作晚稲)特ニ現地ニ即セ
ル指導ト肥料ノ供給ヲ希シ、甘蔗年三圃牧獲、蘇鉄澱粉、馬匹、水力電気
。前記米軍命令系統上ノ地位ニモ鑑ミ大島市長ニ強カナル権力ヲ與ヘシ
。様(鹿見島)知事ヲ仲介トシ)又C.L.O.ヨリモ人ヲ鹿見島ニ派シ同島トノ密接
連絡ヲ計ルル様切望ス

○私自身協會ヲ得テ「マ」エ師ニ會ヒタシ、現地滞在中、才禮旁ヲ帰居問題ニ
関シ同エ師ノ理解ヲ促シタシ、右面會チC.L.O.ニテ仰配慮願ヘシハ有難シ

0177

RA'-0147

0209

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

新長

夜

終戦連絡各省委員會議事録

一月十日(木)

終戦連絡中央事務局

総務部

- (一) 大ノ諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ
- 「マニラ」ヨリ引揚船A21号船客名簿送付ノ件
- 第八軍ニ徴用セラレアル「スチール」ガイル「返却申請」ニ対スル回答ノ件
- 日本「ダイヤモンド」會社ニ関スル許可申請ニ対スル回答ノ件
- 農林省建物徴収免除ノ件回答
- 伊太利政府資金解除ノ件
- 山口喜三郎印徴収ノ件
- 引揚援護事務局ニ在リテ補給物資ノ公正分配ニ関スル件
- 第八軍書翰寫送付(日産重工業事業再開ニ関シ)
- 第一陸軍造廠廠川越工場ヲ内務省ニ移管ノ件
- 葉工業統制會社ニ関スル件
- 舞鶴港ヨリ鮮人還送ノ件

0179

終戦連絡中央事務局

0180

- 徴収施設受取證送付ノ件
- 閉鎖機関ノ使用人ニ対スル給與支辨ノ件
- 第一軍團軍政務局大坂事務局宛書翰寫送付(軍政府設置ノ件)
- (二) 佐世保事務局末電ニ依リ、七日第一師團司令部同地ニ進駐シ、第五水陸兩用部隊ト交代セル由ナリ

第二部

- (一) 昨日議事中進駐軍用狩獵用散彈調達ノ件目下商工省ニテ午配中ナリ
- (二) E.S.S 輸出入課係官ヨリ口頭ヲ以テ輸出入見返物資トシテノ置、其「リノリ」ニ関シ、事情詳細承知シ度キ旨申越セルニ付、商工省至急右報告願フ旨者ヲ解

文部省

- 召集解除者ニテ以前放職ニ在リシ者ノ復職ニ從來之ヲ認メ居リタル也、右ノ教員資格ニ関スル十月三十日附指令ノ誤解ナル旨、米側亦認メ基キ右十月三十日以前ニ復職セル者、其儘トスルモ右期日以後ノ者、一應放職ヲ去ラシメタル上、適格審査委員會ニ諮リ之カ決定ヲ為スコトナリ、尤モ右委員會ノ内容ニ付テ

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0210

終戦連絡中央事務局

未タ決定シタル具体的決定ヲ見居ラズ

第一復員者

〔司法省へ〕昨日オ訊ネ、北支特別警備隊ノ件、右、後方治安部隊ニシテ一般部隊ト
何等異ラズトコトナリ、昨日申シ上ゲ、兵訂込ス
〔英軍マレシア〕少佐当方廳舎内ニ室ヲ設ケ、英産党関係ニ付調査シツアリ本件
内地事情ニ付テ、内務省へ又外地ニ付テ、外務省へ夫々査報ヲ予テ本席ヨリオ願
シ、置キナリ然レ、必右付内務省ヨリ本件ニ関スル特高関係書類ナシト旨連
絡アリ、テ、以テ其旨、昨日「マ」ニ取次ゲル也、「マ」憤然トシテ「不幸ニ、事態ヲ將
来スルヤモ知レズ云々」トイモ、キタルカ、漸クニナクメ結局「十一日午後一時」當方ニ於
テ内務省関係者ヨリ説明聴取スルニ、ト「一段落ツキタリ、就テ、右期日迄ニ
外務省ヨリモ適當何等返答出来ル様、仰用意セラレ置カレ、度シ」(管理局了
解ス)

(3)

0181

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員會出席者名簿

一月十日(木)

官職	氏名	官職	氏名
審議院	上座 佐	運輸	今井 善子
衆議院	小島 義一	郵政	伊上 雄夫
文部省	三池 中	皇室	真家 直三郎
一後	北村 中	復興院	八田 昌明
二後	磯 川		
厚生省	日野 正		
農林省	日野 正		
商工	車 田 早苗		
大蔵	村 田 七郎		
司法	宮川 藤吉		
内務	雨 森 和雄		

0182

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡各省委員會議事録

一月十四日(月)

終戦連絡中央事務局

総務部

- 左ノ諸件ニ関シ「メモランダム」ヲ接受セリ
- 日本人医面師「LST」ニ乗船セシムル件
- 朝鮮向大根及白菜種子送付ノ件
- 日比谷公園内ニ階建々物(海軍使用)徵発ノ件
- 船舶運送會任命ニ関スル件
- 選挙ニ関スル件
- 山下太郎邸徵発ニ関スル件(右「L」提出リスト中ニ記載ナレ何故ナリヤ云々)
- 正金ニ在ル「ゴッソ」中尉名儀勘定振替ノ件
- 比島ニ於ケル増尾外務省職員死亡ニ関スル件
- 一般市民所有ニ存スル美術的刀剣ノ保有ニ関スル件回答
- 教育者委員會一行未朝(二月予定)ニ件ニ各種事項指示ノ件
- 「アンマン」中尉「signature card」送付ノ件

0183

終戦連絡中央事務局

- 英國及東京地方間無線通信開始ノ件
- 放送會館内「オフィス」スペース徵発ノ件
- 陸軍燃料廠及研究所ノ内務省へ移管ノ件
- 軍工場施設関係一般傭人ニ対スル給料退職金等支拂ニ関スル件
- 勃独漢「伊(ソリ)ニ改稱」羅諸國ノ外文團「リスト」其他提出ノ件
- 五分ハ一日本地圖所掲ノ地名及地圖名ノ発音ニ関スル情報提出ノ件
- 貴金屬ノ取引許可申請ニ対シ回答ノ件
- 氣象台ノ「フランス」ステーションヲ暫定的ニ設立スル件回答
- 瑞典公使館口上書傳達(「アラビ」ニ於ケル抑留ニ関シ照會ノ件)
- 政府機關(船舶運送會)海外同胞接護會住宅營團等ニ対スル融資ノ件
- 米紙所報記事ニ依リ
- 今般新戦犯入トシテ指命セシレル者ノ日本人ノ件(昨日「メモ」ニテ披露セリ)右ニ在朝鮮二十四師團ノ要求ニ基キ「メモ」ニテ理由不明ノ由ナリ
- 石井軍醫ヲ將出頭ノ件(同「ク」昨日披露「メモ」)右ニ葉鴨ニ拘禁スルノ意ニ非ス

0184

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0212

終戦連絡中央事務局

同少将ヲテ何時ニモG.H.Q.ニ出頭出来得ル様子配方ヲ指令セルモノナリ云々

(四)日本ニ於ケル英創利益代表機關トシテ United Kingdom Liaison Mission in Jap.

ヲ設置セラルル由ナリ

(三)横濱事務局ヨリノ通報ニ依リ目下帰國中ナル等(軍司令「アイケルバーク」中將

ノ降任ヲ稍遅シ二月初頃トナル由ナリ(本件本席限リトセラレ度シ)

(四)最近進駐軍團寄宿舎ノ火災多キ処早晚補償問題等生スヘキヲ以テ本件

父害ノ發生原因損害程度等詳細情報ヲ各地方廳ヨリ蒐集方過般内務省

ニ依頼シ置キタリ

第一復員省

(一)青島來電ニ依リハ一月八日現在迄ニ於ケル同地方ヨリ引揚帰還者ニニ九九三名

(右数字若干疑問ナリ) 残留者六四七八名、又等二回帰還船LST一五〇〇名

搭載シ八日同地ヲ出港セル由ナリ(既ニ佐保ニ入港シ居ルモノト存ス)

(二)先般申上ケタル「バラオ」部隊中内地ニ於テ南洋村建設ノ件、右開拓先登隊

海防艦五五号ニテ「バラオ」出港ノ旨電報アリタリ、果シテ如何ナルモノナリヤ

0185

終戦連絡中央事務局

(農林省ヨリ、九州辺リニテ何トカナルニ非ヤ)

第二復員省

(一)引揚輸送用トシテLST一六〇隻充當スルコトナリ右近ク上海ヨリ博多ニ入港ス

ベキ処之等船舶ニ主トシテ南群、仙崎、舞鶴等ニ振向クル予定ナリ、右ニ伴ヒ関係

地ニ於ケル病院等受入施設ヲ更ニ強化スル要アルヘシ

(二)葛城(航母)一月ニ三日「ワタ」ニ廻航、同船ニ依リ東部「ユーギニア」在

留者、全部引揚完了ノ予定ナリ、二月初旬内地帰還ノコトナルヘシ、尚右引揚

●終了後「コブ」ゲンビル方面ニ着キスル模様ナリ

(三)二月中旬大型駆逐艦四隻「フレドニー」ニ派遣ノ模様ナリ、一隻ニ付六百人位

ヲ輸送スヘシ、コドニー地区ニ在留者約三千人程度ナリ

(四)引揚輸送用トシテ「ヤチ」知通LST百隻「リハ」等百隻貸與ヲ受クルコ

トトナリ居ル処、右ニ伴フ各般ノ準備ヲ援護局中心トナリ為サルコト當方ニ

了解シ居レリ、何レニモ此種問題ニ付テハ主務当局ノ存在ヲ明確ニシ置ク

コト肝要ト存ス

0186

(五)機雷掃海ノ件、我方敷設ノモノハ五月迄ニ掃海終了ノ予定ナルモ敵方敷設ニ係ルモノハ尚数年ヲ要スヘシ、右ニ従事ノ掃海艇ノ六十%ハ修理中、又今後農繁期トモナレバ乗員ノ確保其他ニ付困難ヲ想セラレ目下対策研究中ナリ

航空局

本局立リテ調査セルニ依リ

(一)定期飛行情況、西行キ、大往順調ナリ、札幌トノ通信連絡社絶ノ為同地トノ飛行故航シ居リ、尚米機モ凍結ヲ生シ困惑シ居ル由、米國ニ於ケル乾燥性ノ雪ト日本ノ濕性ノ雪トノ差甚クシク飛行ヲ困難ナラシメ居ルトノコトナリ

(二)三國外相會議以後ヨリ各地飛行場ニ於ケル機数(主トシテ戦闘機)増加セリ、御参考ナリ

終戦連絡各者委員会出席者名簿

一月十四日(月)

官職	氏名	官職	氏名
軍事官	上原 浩	内務	藤 林 知 雄
官房	磯部 佐介	司法	宮 川 藤 吉
文部省	小島 龍一	逓信	泉 幸 三 郎
一復者		復讐院	八 田 昌 明
二復者	宮 田 勇	逓信院	上 原 宗 直 三 郎
農林	中村 胡堂 吉	官内省	今 井 秋 次 郎
厚生	石 井 利 吉		
商工	日 野 北 一 郎		
大蔵	西 原 良 三 郎		
	車 田 早 苗		
	林 幸 七 郎		

終戦連絡各者委員會議事録

一月十五日(火)

終戦連絡中央事務局

總務部

(一)左ノ諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ

- 。札幌帝大在學ノ蒙古人ニ名ヲ上京セムル件
- 。「パレックス・サーヴイス・センター」設立ノ件回答
- 。琉球人送還ノ件(前田メモ)中事項訂正
- 。在「マリアナ」華人ヲ日本經由還送セムル件
- 。八軍管下各地飛行場「ステータス」通達ノ件
- (二)右ノ外、八月十四日九月二日ノ期間中ニ於ケル軍物資ノ取扱ニ付詳細報告方ヲ内容トセル「メモ」接受シ居レリ。明日披露スヘシ
- (三)一課課長ヨリ、本件各者関係事項ナルヘキモノ應陸海軍ニ於テ纏メ貫ヒ度キモノナリ
- 。第一復員者ヨリ、予メ研究的打合會ヲ開催致シ度シ
- (四)GHQヨリ「外務省文書」檢閲シ居レリ。時間余裕アラハク「LO」ニモ及_カズ

0189

終戦連絡中央事務局

第二部

失般茅帝ヨリ披露アリタル「闇市場絶滅」指令ニ関聯シ全般的物價問題ヲ中心トシ明日午前十時會議開催ス。商農、藏内務、司運各者責任者出席セラレ度

第五部

牛場課長「ハウエル」ト會談セル処、鮮華人送還問題ニ関シ「ハ」ヨリ各地「リ」セブション・センターニ於ケル之等鮮華人ノ集結少ク時ニ空船ニテ出ルコトスラアリ如斯キ状態續行スルニ於テハ「配船」ヲ減ラスノ己ムナキニ至ルヤモ不知云々ト旨話アリタル由ナルニ付テハ「右」コト、キヤンペー「ニ」ナル様鮮華人ノ集結方関係者ノ仰盡カテ願フ

第一復員者

(一)漢口ニ於ケル朝鮮人救済ノ件、同地軍兵站部ハ仕事ヲシ居ルニ終戦後解雇セラレタル朝鮮人約四〇〇〇人生活窮乏セル為ニ之ヲ救済シ現地軍ニ要テ「現地」軍ニ於テニモ種々手段ヲ盡シ居ルモ何カニモ之等鮮人ノ要求過大ニシテ(一人當リ法幣一萬五千円)「備券」ニ換算セシ全額ニテ「三〇億円」解決ツカス、厚生、内務

0190

RA'-0147

0215

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

藏外務各省ニ本件現地軍米電配布致シ置キタリ、詳細右ニテ仰了知一上
各省御意向明後日迄ニ本席ニテ伺ヒ度シ
尚本件ニ関シ当才意見ヲ述ビ

① 此種朝鮮人ノ世話ニ何時迄モカカヅラフ要ナカルヘシ

② 若シ世話ストスルモ軍力担当スヘキヤ疑問ナリ

③ 類似「ケ」ハ漢口以外ニモ発生スヘシ、政治的問題ノ性質ヲ有ス

(三) コレハ私見ナルカ從來「元」師施策ニ付統計的觀察研究ヲ爲シ居ル
機関アリヤ是非設ケ度キモノナリ、現内閣ニ対スル「ケ」ハ「バ」批評ノ更親、議會選
舉、閣中等ニ対スル米側施策ノ撞着等與味アル結果ヲ得ヘシ

第二復員省

(一) 京都ノ米運絡機関本日ヲ以テ廃止サル、尚米算守軍一月二十日
撤退スヘシ

(總務部ヨリ、右撤退引継ノ爲目下「バ」ト関西ニ赴キ居レリ)

(二) 川畑ヲ将軍五艦隊司令「タ」ワーストト會議、「タ」十八日「シ」ヤーマント交代

終戦連絡中央事務局

帰國ノ上日本ノ食料、インフレ等事情ニ付大統
領ニ報告ストコトナレニ付川畑ヲ將ヨリ右資料ヲ文書ニ提供セリ

農林省

(一) 公職除外指令中ノ疑義ニ付「ケ」照會セリヤ、本件ニ関シ各員研究會日
ヲ開キタリ

(總務部ヨリ、照會ニ未タセズ、本件ニ関シ別途一部課長ヨリ説明ノ答)

① Orient Year Book, Japan Y.B. Far East Y.B. 提出方キマシタルカ当
カナル、外務省ニオ願ヒス

(弘報部ヨリ、右何レモ最近ノモノナシ、何年度ノモノカ必要ナルヤ再定確メシ度)

(三) 昨日第一復員省ヨリオ詔シ「バ」部隊南洋村建設ノ件、当才速急
研究中ナリ、大体近キ條件ニテ実現可能ノ見込ナリ、尚昨日オ詔シノ先発
部隊到着モ直キニオ知ラセ願フ

(第一復員省、承知セリ、本件ニ更ニ管理局ニモ連絡スヘシ)

(四) 軍手持物資ノ轉換ノ件、終戦後轉換ノモノハ内務省ヲ通シ申請スルコト

0192

0191

終戦連絡中央事務局

ナリ是レカ夫レ以前即チ終戦直後ドクサ中ウヤムヤニ轉換ヲウシタルモノニシテ
 偶々公ニナリタル場合如何ナル牛續ヲ執ラバヨロシキモノナリヤ
 本件事例 某水産會社終戦直後軍ニリ錫其他金属ヲ讓リ受ケタルカ最近
 同會社火災ニ依リ右金属アラレMPニ抑ヘラレ目下之カ解放ニ苦慮シツツアリ
 (總務部ヨリ 米倒ニ基テ事情ヲ訪シ見テ如何、二部ト打合セラレ度シ
 等(復員者、当方ニ於テモ調査ヲ連絡致スヘシ)
 司法省
 例ノ前橋ニ於ケル人肉事件ニ関シ予審終結報告アリタリトテ右報告書朗讀
 尚檢事局ヨリ参考トシテ申渡シ依レシ被告 (32) 初産時一時の腦膜炎
 ヲ患ヒタルモ其他常人ト変ラス罪證充分ト認メラルトコトナリ
 運輸省
 昨日以來ノ有電従業員紛争ニ関シ、予テ軍(労働組合結成)ノ氣運
 アルモ指導者間ニ内争的一致ヲ得ス現在有電関係ノ組合結成セラレアリ
 今般紛争ニ右組合先鋒ナリ、其ノ要手トテ特告知ノ如キ「スロー」ガレヲ

0193

終戦連絡中央事務局

掲ケ居ルカ上記ノ如キ内部抗爭アルタメ運輸停止ノ如キ事態心ニ差シ当リナカル
 ント東鉄見透シナリ。昨日ヨリ関係者間ニ折衝續ケラレ居レリ
 二部一課長ヨリ
 公職追放ニ指令ニ関シ適用範圍等未ク確定的ナラス種々解釋セラルル也
 目下内閣法制局等トモ連絡シ研究中ナルニ旨説明アリ

0194

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0217

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会出席者名簿		月十五日火	
官職	氏名	官職	氏名
軍事調査	菅井 俊	運輸	今井 常之
官房	上野 浩	海防	江口 武
一 復	天野 良英	航空	井上 輝夫
	北川 英男	復興院	八田 昌明
文部省	千代田 三郎	逓信院	高島 直三郎
厚生省	渡田 覚	官房	尾形 健一
農林	日野 水		
商工	本田 早苗		
大蔵	村中 七郎		
内務	大田 茂吉		
司法	宮川 勝吉		

0195

終戦連絡中央事務局

終戦連絡各省委員会会議事録 一月十六日(水)

総務部

- (一) 先ノ諸件ニ関シ「メモランダム」接受セリ
- 。鋼鉄船建造ニ関スル件(不許可)
- 。米軍使用人小林某解雇通達ノ件
- 。聯合國船舶ニ依リ還送日本人名簿通達方承知ノ件
- 。南鮮渡航許可ニ関スル件(許可条件ヲ更ニ強化)
- 。八月十四ヨリ九月二日間ニ於ケル軍需物資処分ニ関スル情報提出ノ件
- 。日銀省シロシ中尉名儀勘定振替取消ノ件
- 。瑞西公使館書翰傳達(「カナダヨリ日本人送還」ノ件)
- 。日本海員救済協會ノ組織ニ関スル件
- 。航空関係研究及教育施設ノ轉換ニ関スル件
- 。セイメイ堂「ビル」(内幸町)ノ一部徴発ノ件
- (二) 米紙記事御参考迄

0196

RA'-0147

02:18

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡中央事務局

○ 札幌ニ於テル米倉殺害犯人三名ハ八軍「ミリタリ」ミシジョンニテ裁判、尚右以前

ニ札幌ニ於テル暴行華人ハ裁判行ハル由ナリ

○ 昨日「モ」ニテ披露ノ札幌帝大蒙古人二名ノ東京招致ハ一般の訛問ヲナシ

○ 米國事情及GHQ又指令ノ裏面関係等ニ関シ土曜日政務局側ヨリ話シ

アル等、又対日輿論ニ関シ追テ弘報部ヨリ資料取存致スヘシ

第二部

「ブラックマーケット」絶滅ニ関シ第八軍ヨリ横浜事務局ニ対シ指令アリルコト

ハ承知ノ通ナルル也本件其後ノ経過左ノ如シ

本件取締方法トシテ(絶滅困難ナリ)神奈川県警署等ニ於テ「マーケット」開設

地域ノ限定②物資面ノ限定(主要食料ヲ原料トスル製品ノ販賣ヲ認メス

其他味噌、醤油、電球、地氈、袋等モ極力制限ス)及③自産標準價格ノ

設定ヲ内容トスル対策ヲ立案、十四日八軍側ト交渉シ大体了解ヲ取付

ケタリ本件全国的ニ波及セリ右様方針ニテ取締マルコトナルヘシ尚横浜南

京街ニ於テ鮮華人商人ニ対シテ日本警察署ノ取締徹底ヲ期シ得サル現

0197

終戦連絡中央事務局

状ナレハ本局ニ付テハ別途米側ト折衝ヲナス要アリ次第ナリ

第一復員者

十二月未迄ニ判明セル海外邦人歸還実績左ノ通

陸軍 四〇、五、四、四

海軍 六、五、六、六

一般邦人 四、八、五、五

第二復員者

昨日ヨリ十八時四五分後五分間復員関係放送開始セラレタリ右統制

方ニ付目下当方研究中ナリ

商工者

(一)先刻「モ」披露ノ八月十四日九月二日間に於ケル軍需品処分振報告ノ件

昨日予メ報部ヨリ話シアリ大体一ニ復員者ニテ纏メラルトノコトナルカ

本件各者ニ関係スル性質ノモノナレハ各者打合セ會開催サレ度

(總務部ヨリ、別途一寄一課長ヨリ説明アルヘシ)

0198

(二)石炭生産状況左ノ通

一月上旬生産高 二八六、七〇噸 (十一月下旬 三四九、一〇噸)
 右前期比減額ニ居ルモ一月上旬、作業日数七二日、十二月下旬九日ナレハ
 一日当り生産高、一月上旬 三九、八九噸 (十一月下旬 三八、七九噸)トナリ
 多少上昇シ居レリ

尚坑夫数 一月上旬 二五、〇九二人ニシテ十一月下旬比約 六、〇〇増加セリ
 一日平均就業数 一八、〇五九人ナリ

大蔵省

因ニ輸入業務者ニシテ残留希望者相当数残り居ル模様ナリ
 軍需品関係債権中一部封鎖解除トナリ且ト屢次本席ヨリ申シ上ゲ
 タルカ實際問題トシテ「軍需品」「軍需工場」等ノ定義確定シ居ラサル為(本
 矣ニ因シメモ)アル若シカ未タ接受セス)実行ノ運ヒニ至リ居ラス、尤モ明カ
 ニ軍需品ト認マラルモノ付テ直チニ勘定振替決済等実行シテ可ナラ
 スヤトノ意見モアリ、中間報告迄

司法省

一復者ハ、南方出征軍人遺家族ノ住所判明シ居ルヤ
 (一復ヨリ、所居部隊判明シ居ラハ便ナリ、家族ヨリ届出アルモノハ内地ノ陸地ニ名簿
 アリ、必要アラハ個々ニ連絡セラシ度シ
 二復ヨリ、東京方面ニ関シテ、本日当日産館ニ引越シ未レル横須賀人事部ヨテ
 承知シ居レリ)

運輸省

省電争議、一應了解ニ達シタリ

逓信院

各種文書ノ英譯ニ際シ字句表現、譯語等、マケマケニテ困惑シ居レリ
 CLOノ辺リニテ標準オホシ願ヒ度シ
 各省ヨリ、同感ナリ、常套用語ノ標準、出来得レハ字引ノ如キモノアラハ
 有難シ、CLOニテ専門家ヲシテ生ラシメテ如何、
 (總務部ヨリ、当方翻譯、手一杯ナルノミナラス本件ノ性質上予想外ノ

困難ヲ伴フハシ尤モ各者ニ於テ夫々問題ノ異ヲ持テ寄リ個々のニナリトテ相談解決スルモ一法ナラン当方協力ニ各ナラス

終戦連絡中央事務局

〇一節一課ニモヨリ

終戦時軍需物資処分振報告ノ件

本件陸海両省ニ於テ判明ノ分ニ付先ツ模様ヲ見タリ上追テ各者関係ニモ及ラス意向ニテ明日特ニ関係深キ陸海内務内閣間ニ於テ基本酌打合セテ為シ上実務的各者會議ニ移ス予定ナリ右ニ仰了知アリ度ニ尚本件閣議事項云々ノト及聞タリモ詳細未多承知ニ希ク

了

0201

終戦連絡各者委員出席者名簿		
官職	氏名	氏名
陸軍少将	岩井 俊	海 忠
内閣總務課	中川 忠男	復興院
文部省	小島 勲一	宇多 武次
厚生省	宮崎 勇	八田 昌郎
農林省	忍 本利 貞	真宗直三郎
商工省	井野 隆一	今井 秋江郎
大蔵省	林 幸七郎	
内務省	雨 木 知雄	
司法省	宮川 藤吉	
運輸省	野村 政次郎	

終戦連絡中央事務局

0202

RA'-0147

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0221